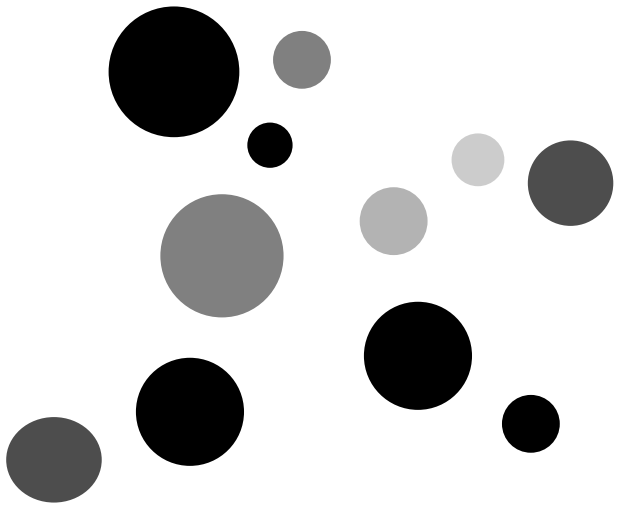
9000 SERIES

MasterJet

JC9000 / 9000NET / 9100 / 9100NET

取扱説明書

MANUAL NO. JC9000-UM-102



GRAPHTEC

はじめに

このたびは、弊社インクジェットプロッタ　マスタージェットシリーズJC9000/JC9100/JC9000NET/JC9100NETをご採用いただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書には本製品の機能と操作方法、および使用上の注意について記載してあります。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後もいつでも使用できるように大切に保管してください。

この取扱説明書の中で⚠と表記されている事項は安全にご使用いただくための注意です。取扱説明書の指示を必ずお守りください。

おことわり

- **本書の内容の一部、または全部を無断で複写、転載することを禁止します。**
- **本書の内容および製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。**
- **本書で記載されている内容以外の操作を行った結果についての影響は、一切責任を負いかねますのでご了承ください。**
- **本書および製品の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤りなどお気付きの点がございましたら、弊社またはお買い上げの販売店にご連絡ください。**
- **本書および製品を運用した結果の影響につきましては、上記の項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。**

商標

Master Jet はグラフテック株式会社の登録商標です。
HP-GL、HP-GL/2、HP RTL は Hewlett-Packard Company の登録商標です。
APPLETALK は Apple Computer Inc. の登録商標です。
WINDOWSは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
NetWare は Novell Inc. の登録商標です。
ETHERNET イーサネットは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

VCCI について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

安全に正しくお使いいただくために！

・ご使用の前に本編をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
・お読みになった後、いつも見られる所に必ず保管してください。
・幼いお子さまには、機器をさわらせないでください。
・この機器は日本国内専用ですので海外では使用しないでください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される内容を示しています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は、注意（警告を含む）をうながす内容があることを示します。具体的な注意喚起内容を、⚠ の中や近くに絵や文章で示します。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為であることを示します。具体的な禁止内容を ⃠ の中や近くに絵や文章で示します。

❗ 記号は、強制（必ずすること）の行為であることを示します。具体的な強制内容を ❗ の中や近くに絵や文章で示します。

安全にお使いいただくために！

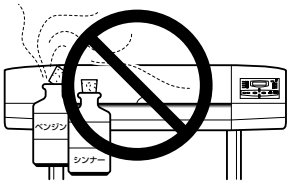
本機を安全にお使いいただくために、下記の項目を必ずお守りください。

■設置について

⚠警告

アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。

●引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。



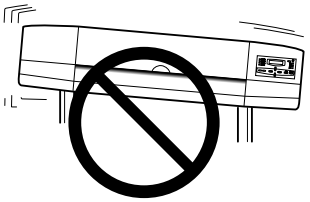
機械の上に次のような物を置かないでください。

●これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
・ネックレスなどの金属物
・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器
万一、これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

⚠注意

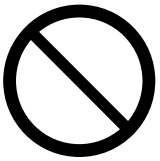
傾いた所など不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。

●倒れたりして、けがの原因になることがあります。



機械の上に重い物をのせないでください。

●置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。



専用スタンドに本機を取り付けてご使用になる際は、キャスターストッパでスタンドを固定してご使用ください。

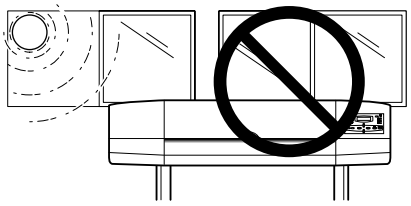
●スタンドを固定していないと、倒れてけがをすることがあります。

機械には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。必ず壁から離してください。

●通気口をふさぐと機械内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

機械を次のような場所に設置しないでください。

●火災や感電の原因になることがあります。
・湿気やほこりの多い場所
・直射日光のあたる場所
・高温の場所
・火気に近い場所、水気のある場所

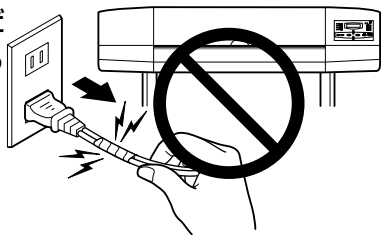


■電源について

⚠警告

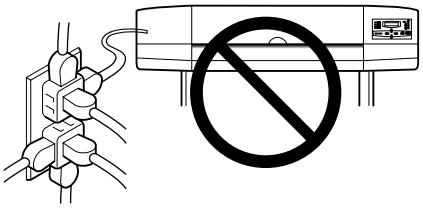
電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。

●傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



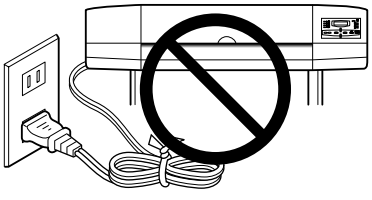
タコ足配線は行わないでください。

●火災や感電の原因になります。



電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。

●火災や感電の原因になります。



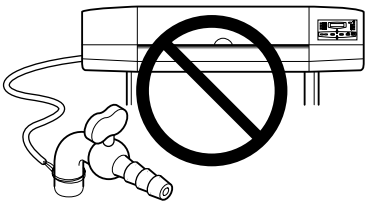
電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。

●しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。

同梱されている電源コード以外は使用しないでください。

●火災や感電の原因になります。

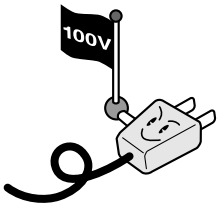
アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。



●［アース線を接続してよいもの］
・コンセントのアース端子
・接地工事（D 種）が行われているアース端子
●［アース線を接続してはいけないもの］
・水道管
配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。
ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管
ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針
落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

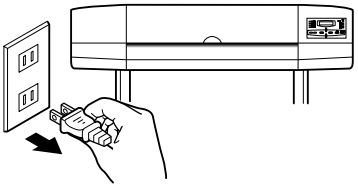
⚠注意

AC100V の電源・電圧で使用してください。



●AC100Vの電源・電圧で使用しないと、火災や感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



●電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

原則的に延長コードは使用しないでください。

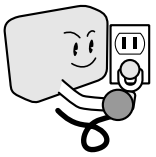
●火災や感電の原因になることがあります。また、使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグのまわりには物を置かないでください。

●非常時に電源プラグが抜けなくなります。

アース線を接続してください。

●アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

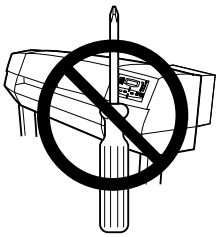


■取り扱いについて

⚠警告

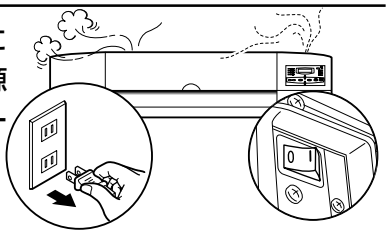
機械を分解したり、改造したりしないでください。

●機械内部には高温の部分があり、火災や感電の原因になります。



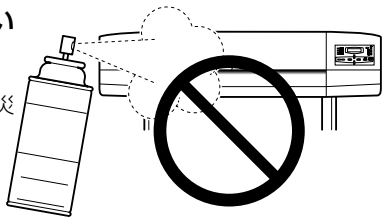
異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

●そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



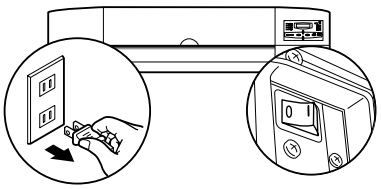
機械の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。

●スプレーのガスが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。



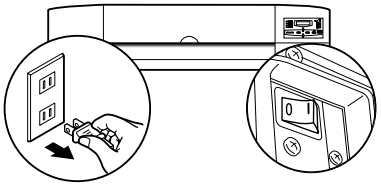
機械を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行なってください。

●電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



メモリを増設するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

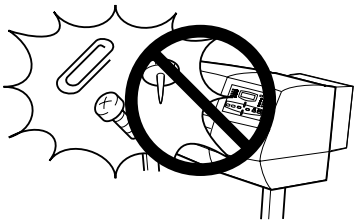
●火災や感電の原因になります。詳細は、「付録B　オプション」を参照ください。



⚠注意

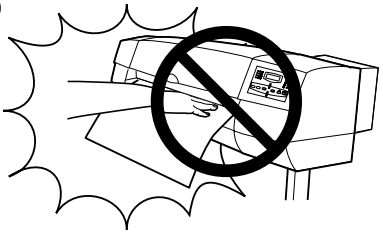
機械内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。

●これらが機械内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。



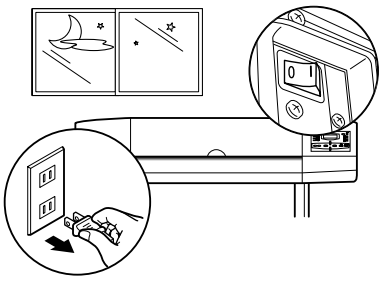
プリント中や用紙をロードしているときは、機械の中に手を入れないでください。

●内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。



夜間など長時間使用しない場合は、安全のため電源スイッチを切ってください。

●また連休などで長時間ご使用になられない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

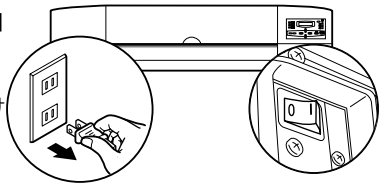


■保守・点検について

⚠警告

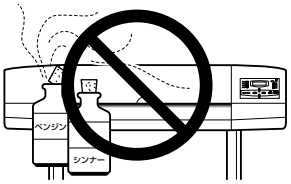
清掃のときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●火災や感電の原因になります。また、清掃中に機械が動くとけがの原因になります。



清掃のときは、中性洗剤を含ませてかたくしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

●引火性溶剤が機械内部の電機部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。



⚠注意

電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。

●ホコリがたまると、火災の原因になることがあります。

清掃など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなど金属物が機械内部にふれないように点検してください。

●けがや感電の原因になることがあります。

紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、つまっている用紙のインクが衣服や手に触れないように取り除いてください。

●衣服や手にインクが着くことがあります。

ロール紙の交換や用紙をセットするとき、紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

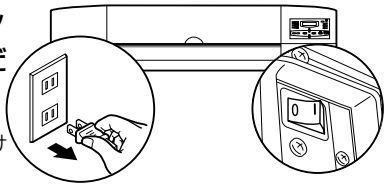
●けがの原因となります。

■消耗品について

⚠警告

クリーナーブレードを交換するときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

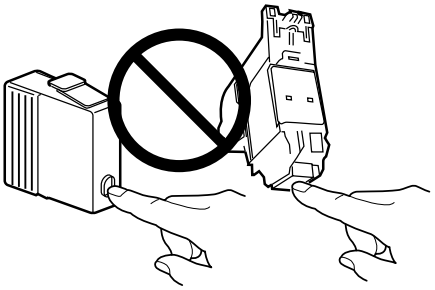
●火災や感電の原因になります。また、交換中に機械が動くとけがの原因となります。



⚠注意

プリント後、プリントヘッドの金属部分には触らないでください。

●熱くなっているため、やけどの原因となることがあります。



インクタンクの開口部やプリントヘッド部には触れないでください。

●インクで手を汚すことがあります。

クリーナーブレード面には触れないでください。

●インクで手を汚すことがあります。

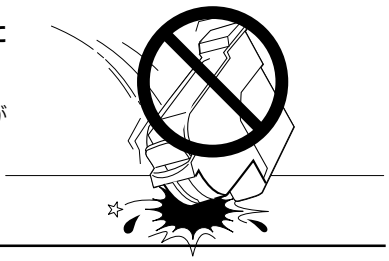
安全のため、プリントヘッドやインクタンクは子供の手の届かないところに保管してください。

●誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、直ちに、医師にご相談ください。

プリントヘッドやインクタンクを落としたり振ったりしないでください。

●インクが漏れたり飛び散ったりして、周囲や衣服を汚すことがあります。

●ヘッド部が破損して使用できなくなる可能性があります。



カッターの刃の部分には触らないでください。

●カッターの刃で指などを切る恐れがあります。

プリントヘッドは消耗品です。

●プリントヘッドは消耗品です。ヘッドクリーニングを行ってもノズルチェックパターンにおいて、正しくプリントされないときは、新しいプリントヘッドと交換してください。詳細は、「7.2　インクタンク／プリントヘッドの交換」を参照ください。

目次

はじめに h-1
安全に正しくお使いいただくために！ i
第 1 章　開梱と設置 1-1
1.1　設置場所の注意 1-1
1.2　開梱と付属品の確認 1-4
1.3　スタンドの組立方法 1-7
1.4　設置と保護部品の取り外し 1-7
1.5　電源コードの取り付け 1-10
第２章　操作準備 2-1
2.1　本体各部の名称 2-1
2.2　電源の投入 2-7
2.3　メニュー操作 2-10
2.4　プリントヘッドとインクタンクの取り付け .2-13
2.5　プリントヘッド位置の調整について 2-22
2.6　用紙のセット方法 2-23
2.7　用紙のモードの切り替え方法 2-31
2.8　用紙の種類の設定方法 2-32
2.9　用紙のサイズとプリント可能領域 2-34
第３章　接続について 3-1
3.1　接続ケーブルについて 3-1
3.2　本機との接続 3-2
3.3　Windows ドライバのインストール 3-4
3.4　パラレルポートとの接続 3-4
3.5　シリアルポートとの接続 3-5

3.6 エミュレーション設定 3-7
3.7 GP-GL 使用時のステップサイズの設定 3-8
3.8 HP-GL 使用時の原点位置の設定 3-10
3.9 EOP タイマー設定 3-12
3.10 セパレータの設定 3-13
3.11 イーサネットインタフェース 3-14
第４章 プリントの基本操作 4-1
4.1 プリントする前に 4-1
4.2 プリントモードの設定 4-1
4.3 プリントする 4-4
4.4 プリント中のメニュー設定 4-6
4.5 メニュー設定について 4-7
4.6 プリントの中止 4-8
4.7 バッファ　クリア 4-9
4.8 リプロット 4-10
4.9 強制プリント 4-11
4.10 強制カット 4-12
第５章 一般メニュー設定 5-1
5.1 マージン設定 5-1
5.2 コピー枚数の設定 5-3
5.3 カッター動作設定 5-5
5.4 乾燥時間設定 5-6
5.5 ペン設定について 5-8
5.6 ペンテーブルの選択 5-9
5.7 ペンテーブルの設定値の変更 5-10
5.8 ペンテーブルの設定値の初期化 5-13
5.9 重ね合わせの設定 5-16
5.10 シェーディング設定 5-18

5.11 オートレイアウト設定 5-19
5.12 オートレイアウト原点設定 5-26
5.13 スケール設定 5-27
5.14 倍率印字設定 5-29
5.15 カイテン設定 5-30
5.16 Yミラー設定 5-32
5.17 距離補正設定 5-34
5.18 レイアウトサイズ設定 5-35
5.19 ユーザーサイズ設定 5-36
5.20 ネスティングタイマー設定 5-37
5.21 オフセット設定 5-38
5.22 プリント領域切り替えの設定 5-39

第6章 システムメニュー設定 6-1

6.1 表示言語設定 6-1
6.2 自動調整モードの設定 6-2
6.3 紙送り調整の設定 6-3
6.4 スクリーニングの設定 6-4
6.5 濃度補正の設定 6-8
6.6 フォント選択の設定 6-14
6.7 設定値の初期化 6-15
6.8 インフォメーション表示 6-17
6.9 メニューマップのプリント 6-18
6.10 カラーパレットのプリント 6-19
6.11 セッテイリストのプリント 6-20
6.12 ノズルチェックのプリント 6-21
6.13 ダンプモード 6-22

第７章 インクタンクとプリントヘッドの交換. 7-1
7.1 インクタンクとプリントヘッドの種類 7-1
7.2 インクタンク／プリントヘッドの交換 7-4
7.3 インクタンクの交換方法 7-8
7.4 プリントヘッドの交換方法 7-12
7.5 プリントヘッドの位置の自動調整 7-16
7.6 自動バンド補正 7-17
第８章 トラブルシューティング..... 8-1
8.1 ワーニング、エラーメッセージが表示されたとき. 8-1
8.2 メッセージ一覧と対処方法 8-3
8.3 紙詰まりしたとき 8-7
8.4 プロッタが正常に動作しないとき 8-11
8.5 きれいにプリントされないとき 8-14
第９章 保守と点検..... 9-1
9.1 ヘッドクリーニング 9-1
9.2 クリーナーブレード 9-4
9.3 カッター 9-7
9.4 ヘッド高さの調整 9-10
9.5 日常の清掃.....9-13
9.6 消耗品 9-15
付録Ａ プロッタの仕様 .....付録 -1
付録Ｂ オプション.....付録 -2
付録Ｃ メニューツリー .....付録 -6
索引.....索引 -1

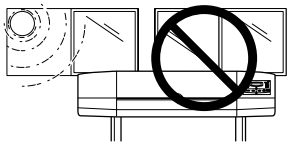
第 1 章　開梱と設置

この章では本機の開梱および設置について説明します。

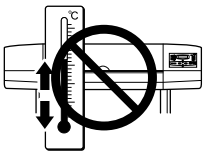
1.1 設置場所の注意

■次のような場所への設置はさけてください。

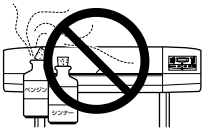
●低温、乾燥または、高温、多湿の場所
たとえば、水道の蛇口、給湯器、加湿器、エアコン、ヒータ、ストーブなどの近く。(温度 15℃～30℃、湿度 20%～80% の環境でご使用ください。)



●直射日光の当たる場所
やむを得ない場合は、カーテンなどで遮光してください。



●温度が急激に変化する場所

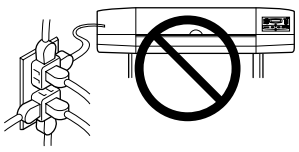


●ホコリ、チリなどの多い場所
●アルコール、シンナーなどの近く

●振動の多い場所
●床が不安定な場所
●エアコンや扇風機の風が直接あたる場所

●機械には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。必ず壁から離してください。
●ラジオや、テレビなどの電子機器の近くに設置した場合、雑音やチラツキなどの受信障害が生じることがあります。別系統の電源を使用しできるだけ離して設置してください。

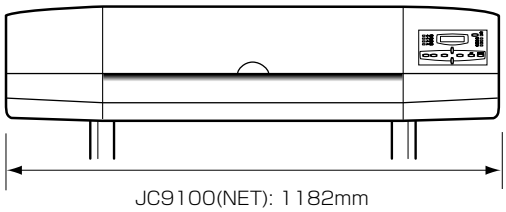
■電源は安全な場所から



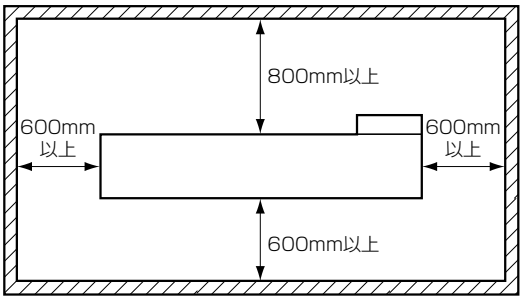
●電源は AC100V のコンセントに接続してください。
●同じコンセントには、他の電気製品を接続しないでください。
●テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。火災の原因になることがあります。
●電源コードを踏みつけたり、重い物をのせたりしないでください。コードが痛み、そのままご使用を続けると火災の原因になります。

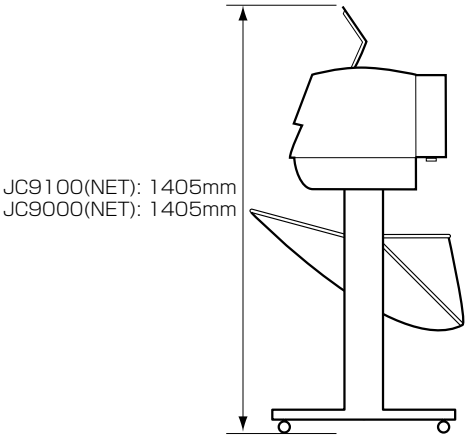
■設置スペースにゆとりを

●機械の前後には操作に十分なスペースをとってください。

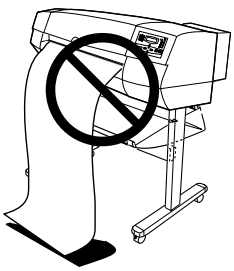


JC9100(NET): 1182mm
JC9000(NET): 1462mm



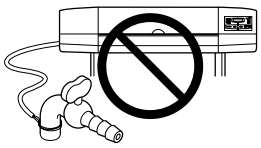


JC9100(NET): 1405mm
JC9000(NET): 1405mm



●機械が動作しているときは用紙が前後に移動します。用紙の移動する範囲に障害物を置かないでください。また、電源コードやインタフェースケーブルなども用紙の移動する範囲から離してください。
●長い用紙を使用しているときに、用紙が床についてしまうと床のチリやホコリが付着して故障の原因になります。用紙が床に着かないように注意してください。また、機械の周囲は常にきれいにしてください。

■アース線の接続を忘れずに



●感電防止のため必ずアース線を接続してください。

＜アース線を接続してもよいもの＞
・コンセントのアース端子
・D種の接地工事が行われているアース端子

＜アース線を接続してはいけないもの＞
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・水道管（配管の途中がプラスチックになっている場合があり、その場合はアースの役目をはたしません。ただし、水道局がアース対象として許可した水道管にはアース線を接続できます。）
・電話線のアースや避雷針（落雷のときに大量の電流が流れ危険です。）

1.2 開梱と付属品の確認

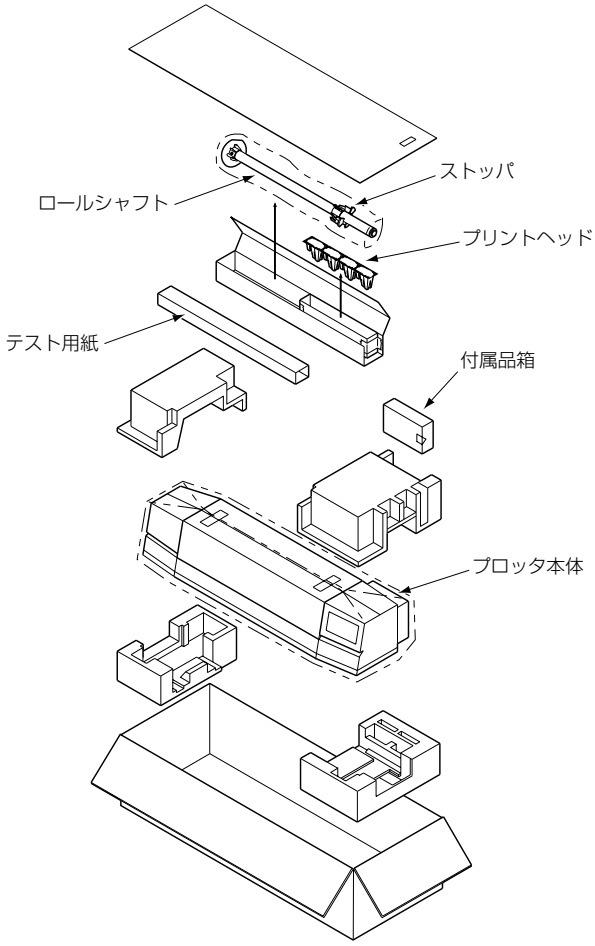
ここでは、本機の開梱と付属品の確認について説明します。

⚠注意

本体の開梱組立作業は必ず二人以上で行ってください。

■開梱

①梱包箱を開け、同梱物がすべてそろっていることを確認してください。

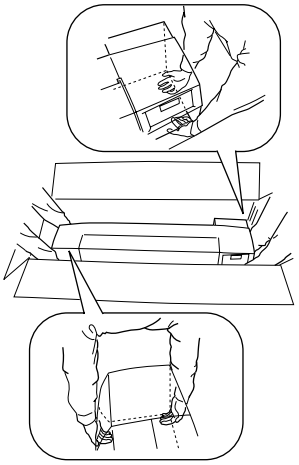


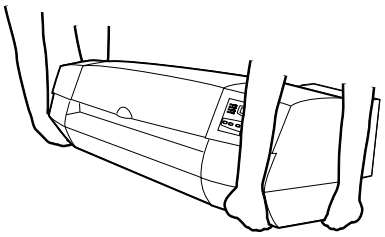
プロッタ本体 ..... × 1
ロールシャフト ..... × 1
ストッパ ..... × 1
プリントヘッド
（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー） ..... ×各 1
付属品箱 ..... × 1
テスト用紙（A1） ..... 10 枚

②本機を梱包箱から取り出します。

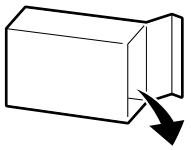
⚠注意

本体を梱包箱から取り出すときは、以下の点に注意してください。
・ビニール袋を開き、図に示す位置に手を差し込んで、本機の底をしっかりと持って取り出してください。
・梱包箱から取り出して本機を持ち上げるときは、必ず図の位置を持ってください。

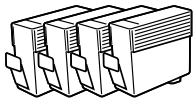




③付属品箱の付属品を確認してください。



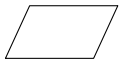
インクタンク



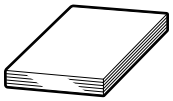
クリーナーブレード

六角レンチ

保証書請求カード

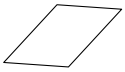


取扱説明書



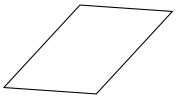
OPS628-UAL
(Windowsドライバ)

Windows
ドライバ説明書

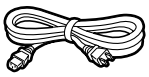


OPS700-JC9-UAL
(ICCプロファイル)

サプライカタログ



電源コード



アース線

RS232Cケーブル用
コア一式

OPS710-UAL※
(Net Connect 95)
※：NET仕様のみ

インクタンク（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）..... ×各 1
クリーナーブレード..... × 1
キャリッジ固定ビス用六角レンチ ..... × 1
（スタンドを設置するときにもこのレンチを使用します。）
保証書請求カード ..... × 1
取扱説明書 ..... × 1
OPS628-UAL（Windows ドライバ）..... × 1
Windows ドライバ説明書..... × 1
OPS700-JC9-UAL（ICC プロファイル）..... × 1
サプライカタログ ..... × 1
電源コード..... × 1
アース線..... × 1
RS232C ケーブル用コア一式 ..... × 1
OPS710-UAL（Net Connect 95）※..... × 1
※：NET 仕様のみ

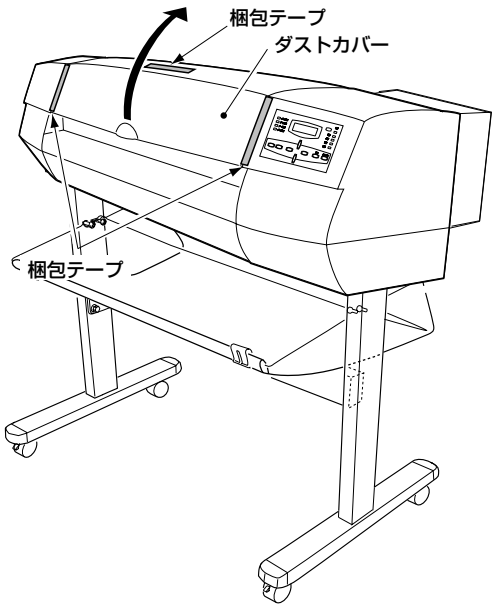
④万が一付属品の不足がありましたら、ご購入先、または弊社営業所まで直ちにご連絡ください。

1.3 スタンドの組立方法

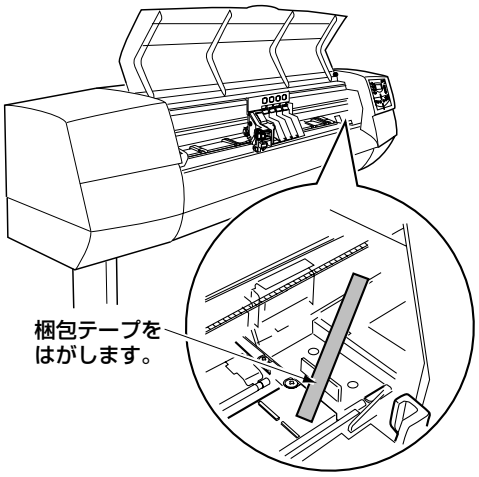
スタンドの組立については、スタンド梱包箱内のスタンド組立説明書を参照してください。

1.4 設置と保護部品の取り外し

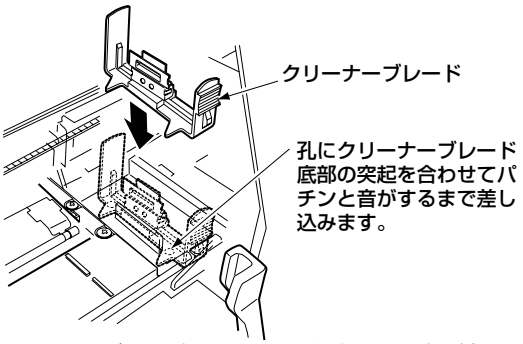
①スタンド組立終了後、スタンドに本機を取り付けてください。
②本機の梱包テープをはがしダストカバーを開きます。



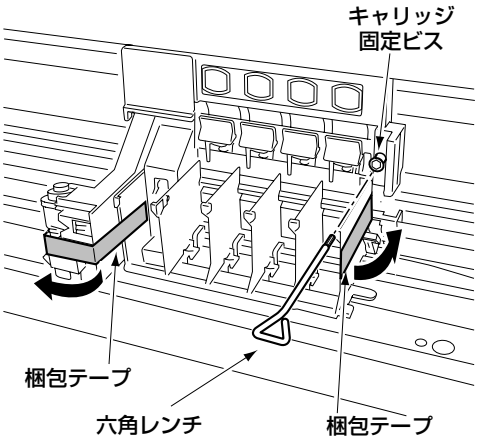
③本機のクリーナーブレード取り付け位置を固定している梱包テープをはがします。



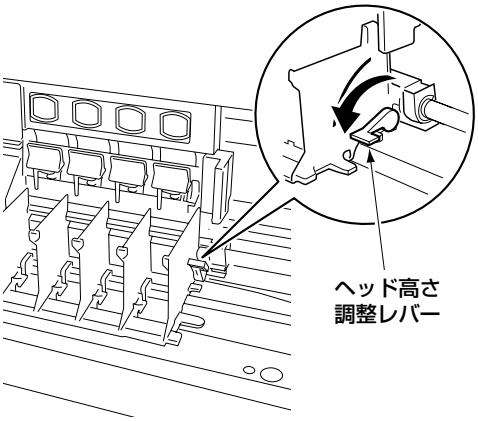
④標準付属品のクリーナーブレードを本機のクリーナーブレード取り付け位置に取り付けます。このときクリーナーブレードの取り付け位置の孔にクリーナーブレード底部の突起を合わせてパチンと音がするまで差し込んでください。



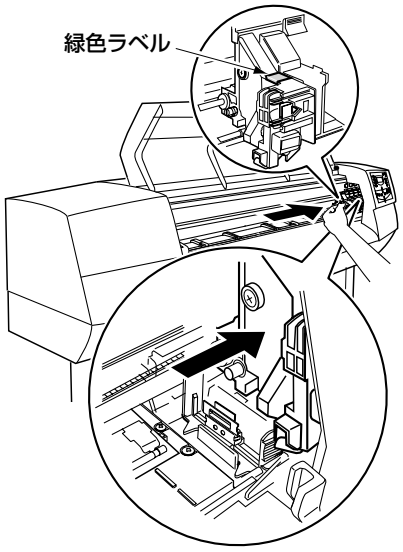
⑤キャリッジを固定している、梱包テープを外します。次にキャリッジ固定ビスを付属の六角レンチで外します。(キャリッジ固定ビスと六角レンチは、本機を移動させるときに再使用しますので大切に保存してください。)



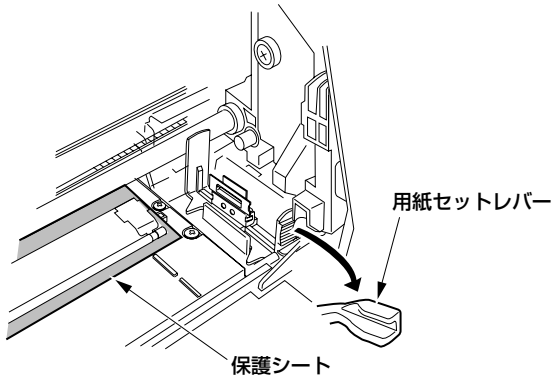
⑥ヘッドの高さ調整レバーを下の位置(矢印の方向)に合わせます。



⑦キャリッジが止まるまで、右方向に手で静かに押して、キャリッジをキャリッジステーションに移動します。この際、キャリッジの緑色ラベルが張られている部分をつまみ、下図のキャリッジステーションに移動させます。



⑧用紙セットレバーを下げピンチローラー部の保護シートを取り除いてください。この際、**キャリッジが確実にキャリッジステーションに移動していないと用紙セットレバーは下がりません。**



⑨用紙セットレバーを上げ、ダストカバーを静かに閉じます。

1.5 電源コードの取り付け

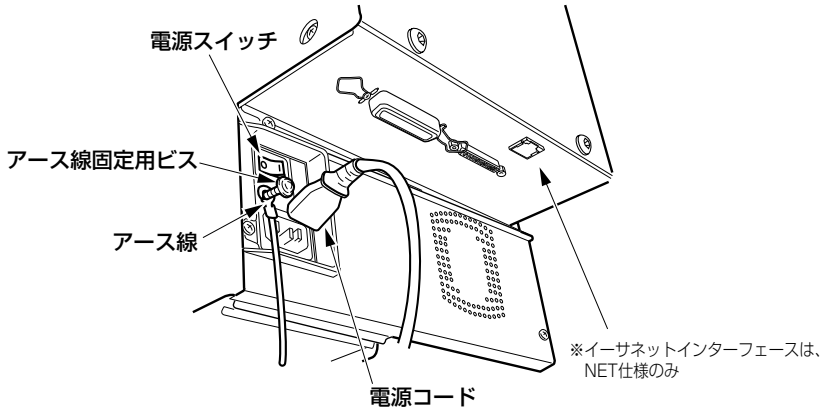
電源コードを本機の背面の電源コネクタに接続します。

⚠注意

●保護部品がすべて取り除かれていることを確認してください。
●電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
●アース線を必ず接続してください。

取り付け

①本体輸送用の保護部品がすべて取り除かれていることを確認してください。
②電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。(“O”側を押した状態)



③本機の後面にあるアース用ビスを外し、付属のアース線をアース接続部に取り付け、本機をアースに接続します。
④電源コードを本機の背面部の電源コネクタに差し込みます。
⑤電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
⑥これで設置の手順は終了です。次のプロッタの準備で、説明する方法に従って、インクカートリッジの取り付け、用紙のセットを行ってください。

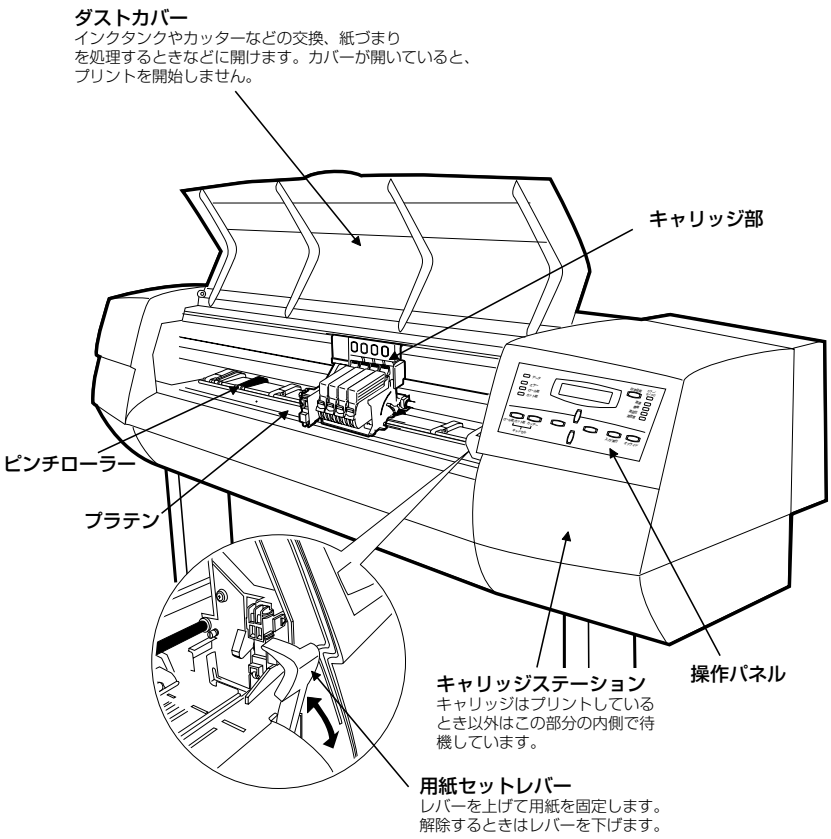
第2章　操作準備

この章では本体各部の名称説明、本機のメニュー操作、インクカートリッジの取り付け、用紙のセット方法について説明します。

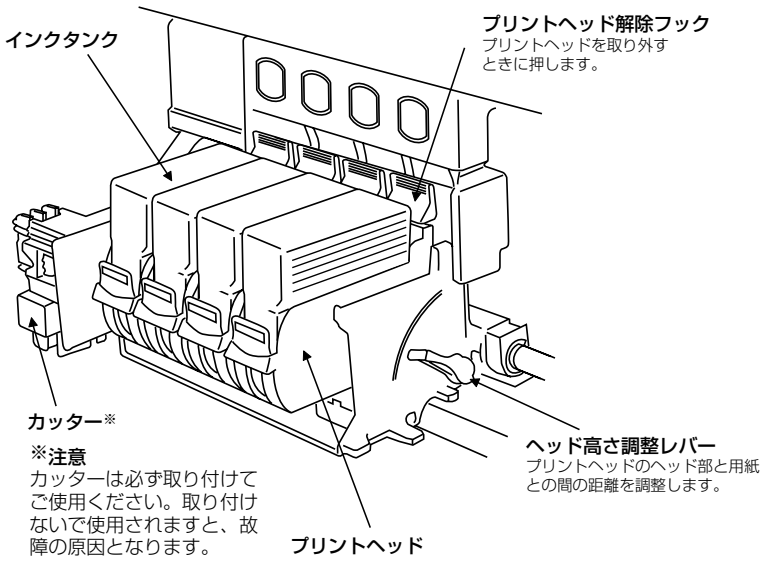
2.1 本体各部の名称

本機の各部の名称と機能について説明します。

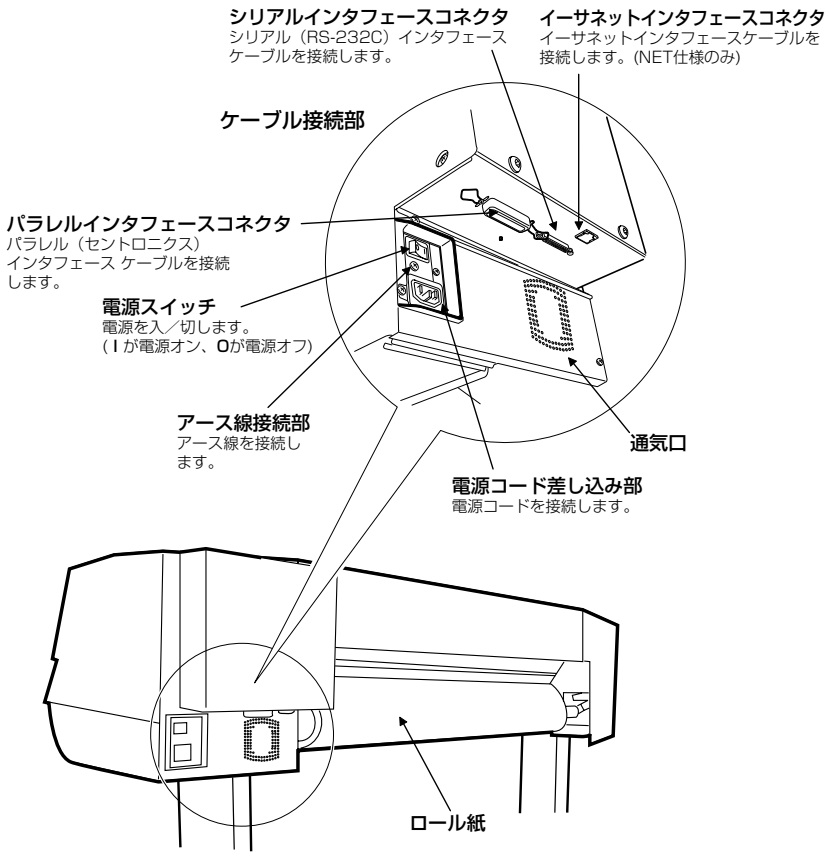
■本体前面部



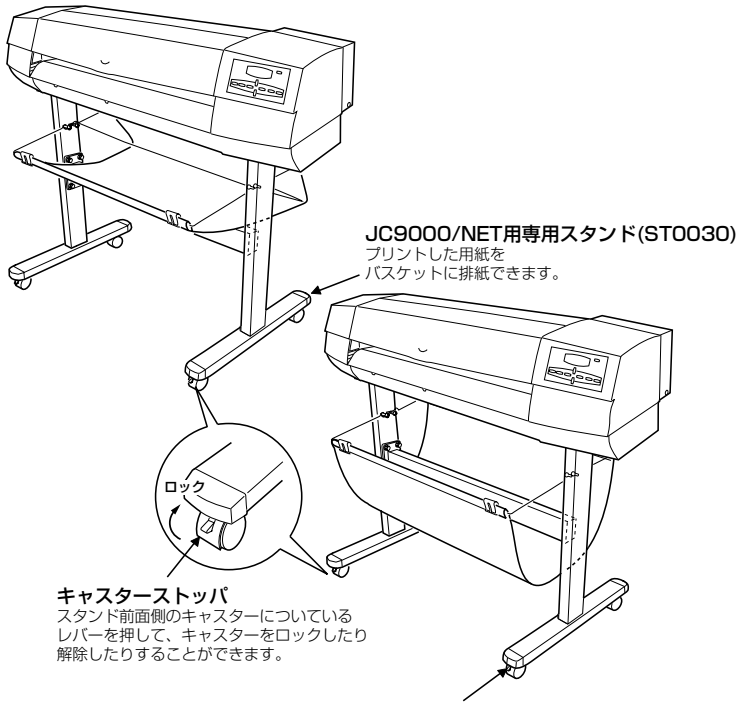
■キャリッジ部


インクタンク
プリントヘッド解除フック
プリントヘッドを取り外す
ときに押します。
カッター※
※注意
カッターは必ず取り付けて
ご使用ください。取り付け
ないで使用されますと、故
障の原因となります。
ヘッド高さ調整レバー
プリントヘッドのヘッド部と用紙
との間の距離を調整します。
プリントヘッド

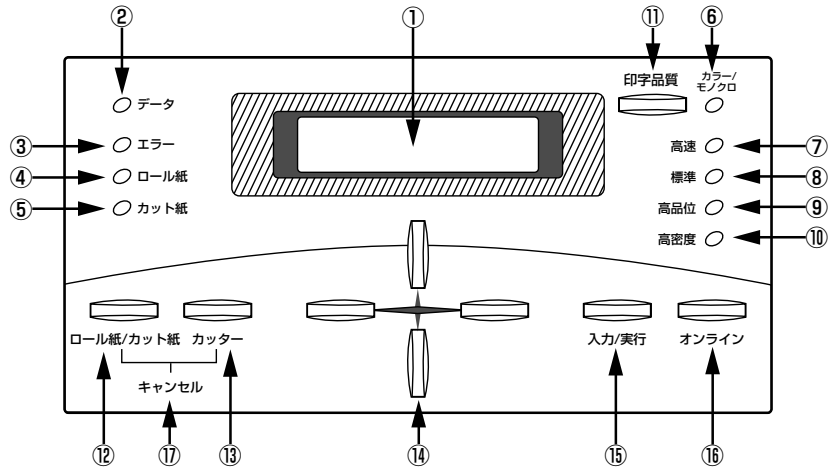
■後面部


シリアルインタフェースコネクタ
シリアル（RS-232C）インタフェース
ケーブルを接続します。
イーサネットインタフェースコネクタ
イーサネットインタフェースケーブルを
接続します。(NET仕様のみ)
ケーブル接続部
パラレルインタフェースコネクタ
パラレル（セントロニクス）
インタフェース ケーブルを接続
します。
電源スイッチ
電源を入／切します。
（I が電源オン、Oが電源オフ）
アース線接続部
アース線を接続し
ます。
通気口
電源コード差し込み部
電源コードを接続します。
ロール紙

■スタンド取り付け時


JC9000/NET用専用スタンド(ST0030)
プリントした用紙を
バスケットに排紙できます。
ロック
キャスターストッパ
スタンド前面側のキャスターについている
レバーを押して、キャスターをロックしたり
解除したりすることができます。
JC9100/NET用専用スタンド(ST0031)
プリントした用紙を
バスケットに排紙できます。

■操作パネル部



①メッセージディスプレイ ..... オンライン／オフライン、エラーメッセージなどのプロッタの状態、および搭載されている各機能のメニュー／パラメータなどを表示します。

②データランプ ..... 受信したデータの処理中に緑色で点滅します。

③エラーランプ ..... エラーが発生すると赤色で点灯します。

重要

●エラー内容についてはメッセージディスプレイに表示されますので、「第８章 トラブルシューティング」を参照ください。

④ロール紙 ..... ロール紙が選択されている時に緑色に点灯します。

⑤カット紙 ..... カット紙が選択されている時に緑色に点灯します。

重要

●④および⑤の切り替えは、⑫の【ロール紙／カット紙】キーにて行います。

⑥カラー／モノクロ ..... プリントモードの選択状況を表示します。カラーモードが選択されている場合に緑色に点灯します。

点灯 ..... カラーが選択されています。

消灯 ..... モノクロが選択されています。

重要

●カラー／モノクロの切り替えは、メニュー画面にて行います。

⑦高速 ..... 高速が選択されている時に緑色に点灯します。
⑧標準 ..... 標準が選択されている時に緑色に点灯します。
⑨高品位 ..... 高品位が選択されている時に緑色に点灯します。
⑩高密度 ..... 高密度が選択されている時に緑色に点灯します。
この印字品質は、モノクロに設定されている場合のみ選択が可能です。

重要

●⑦から⑩のランプには、印字品質の選択状況が表示されます。これらの印字品質の切り替えは、⑪の【印字品質】キーによって行います。

⑪印字品質キー ..... オフライン状態で、印字品質を切り替えるときに押します。このキーを押すことにより、モノクロ選択時は「高速→標準→高品位→高密度→高速・・・」、カラー選択時は「高速→標準→高品位→高速・・・」の順に切り替わります。
選択状況は、⑦から⑩のランプの点灯状況によって確認することができます。
⑫ロール紙／カット紙キー ..... オフライン状態で、用紙モードを切り替えるときに押します。選択状況は、④または⑤のランプの点灯状況によって確認することができます。
⑬カッターキー ..... オフライン状態で、ロール紙をカットする時に押します。印字後のカット、またはロール紙の先端を整えるときに押します。
⑭方向キー ..... 主に、メニュー画面を移動するのに使用します。
上下方向キーは、ロール紙が選択されており、かつオフライン状態の時には、【下矢印】キーで用紙を手前に、【上矢印】キーで戻すことができます。カット紙がセットされている時には、どちらかのキーを押すことにより、用紙が排紙されます。
左右方向キーは、オフライン状態またはポーズ状態の時に、このキーを押すとカートリッジやカッター交換のための位置まで、キャリッジを移動します。
⑮入力／実行キー ..... メニューの設定を実行／入力するときに押します。
⑯オンラインキー ..... プロッタの状態を切り替えるときや、メニュー設定画面を表示させるときに押します。「オンライン／オフライン」の切り替えと、「プロットチュウ／ポーズ」の切り替えを行います。

⑰キャンセルキー ..... 印字動作を強制的に中止させたいときに押します。「プリントチュウ」またはポーズ状態で、【ロール紙／カット紙】キーと【カッター】キーを同時に押すことによって、プロッタがデータ受信中または、印字途中の状態にあっても強制終了をすることが出来ます。

重要

●【オンライン】キーと【キャンセル】キーを除くその他のキーは、オフライン状態またはメニュー設定画面で有効です。オンライン状態のときには無効になります。【オンライン】キーと【キャンセル】キーのみオンライン状態で有効になります。プロッタの状態については「2.3 メニュー操作」を参照ください。

●印字中のラスタデータをキャンセルする場合には、まず、ホストコンピュータ側の送信を中止してから行ってください。(キャンセル後に先頭データの無いラスタデータを受信すると異常描画等になることがあります。)

2.2 電源の投入

⚠警告

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

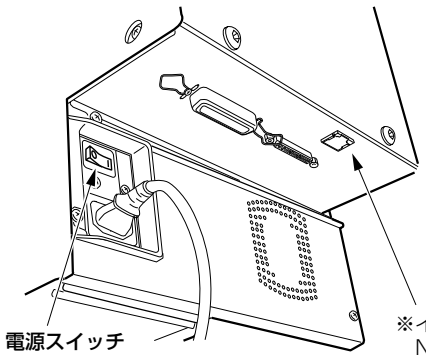
●保護部品がすべて取り除かれていることを確認してください。
●電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。
●アース線を必ず接続してください。
●電源を入れた直後に、キャリッジが移動します。指を挟まないように注意してください。
●必ず用紙セットレバーが上がっていることを確認してください。

重要

●電源を入れるときはダストカバーを開けないでください。カバーを開けるとプロッタは初期化動作を行いません。

■電源を入れる

①電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていることを確認します。
②本体後面の電源スイッチを押し電源を投入します。（“ｌ”側を押した状態）



③電源を投入すると、操作パネルのすべてのランプが２回点滅し、初期化動作を開始します。
メッセージディスプレイには次のメッセージが表示されます。

```
Initializing
```

↓

```
Initializing
      I:Ver.xx.xx
```

↓

```
Initializing
      E:Ver.xx.xx
```

重要

●このメッセージが表示されているときは、絶対に電源を切らないでください。電源を切るとプロッタが正しく動作しなくなるときがあります。万一、誤って電源を切ったときは、しばらくたってから電源を入れ直してください。

④イニシャル動作を終了するとメッセージディスプレイに次のメッセージが表示されます。

プリントヘッドが装着されていない場合

```
エラー！！          _____
［ﾍｯﾄﾞｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ:←→
```

［ﾍｯﾄﾞｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ:←→ｷｰﾖ　ｵｼﾃ　ﾍｯﾄﾞﾖ　ﾄﾘﾂｹﾃ　ｸﾀﾞｻｲ］

と表示し、エラーランプが赤色で点灯します。
【←左または→右方向】キーを押し、キャリッジをヘッド交換位置に移動します。**「2.4　プリントヘッドとインクカートリッジの装着」**を参照して、カートリッジヘッドとインクタンクを装着してください。

プリントヘッドとタンク及び用紙を装着している場合

```
オンライン                KCMY

```

と表示します。オンライン状態になりデータを受信することができます。

用紙をセットしていない場合

```
オフライン                KCMY
［ロールシ　モードﾞ：ロールシ
```

［ロールシ　モードﾞ：ロールシ　ヲ　セット　シテクﾀﾞサイ］
または

```
オフライン                KCMY
［カットシ　モードﾞ：カットシ
```

［カットシ　モードﾞ：カットシ　ヲ　セット　シテクﾀﾞサイ］
と表示します。**「2.6　用紙のセット方法」**を参照して、用紙をセットしてください。

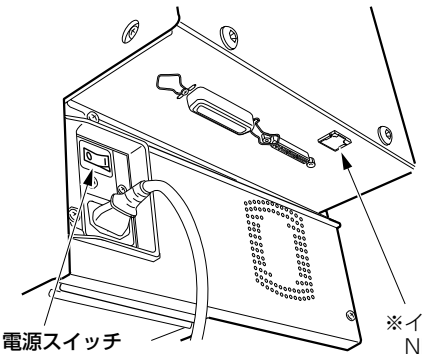
■電源の切りかた

①キャリッジがキャリッジステーションにあることを確認します。

重要

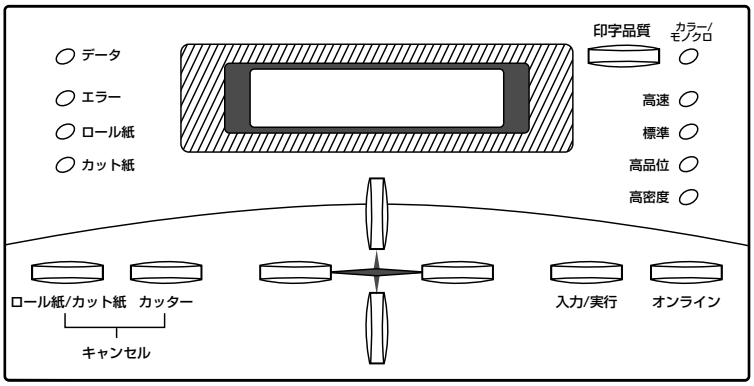
●キャリッジがキャリッジステーションに無いときは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、【←左または→右方向】キーを押して、必ずキャリッジをキャリッジステーションに戻してください。キーを押しても戻らないときは、電源を切った後、手で押してキャリッジステーションに戻してください。

②プロッタ本体後面の左側にある電源スイッチを“O”側に押して、プロッタの電源を切ります。



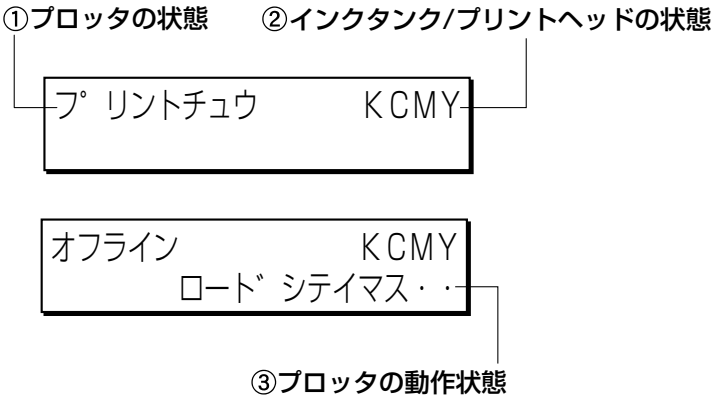
2.3 メニュー操作

本機の操作は、メッセージディスプレイとオンラインキー、方向キー、入力／実行キーにより各種設定を行います。



メッセージディスプレイには、本機の動作状態や、メニュー設定状態、エラーに関する情報が表示されます。

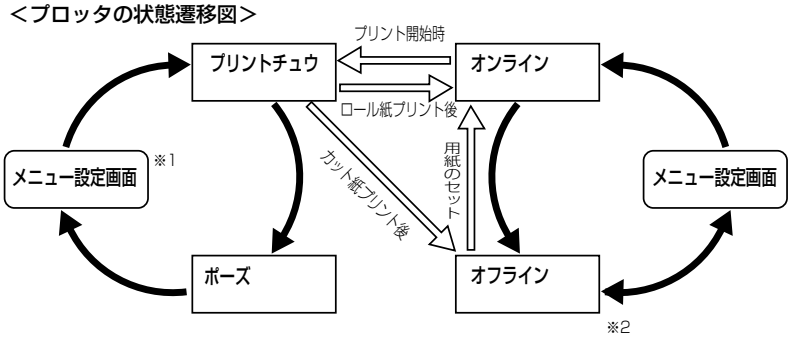
■プロッタの状態



①プロッタの状態

プロッタの状態には、オンライン状態、オフライン状態、プリント状態、ポーズ状態、メニュー設定状態の５つがあります。各状態への移行は、オンラインキーを押すか、データを受信しプリントするなどにより移行します。

＜プロッタの状態遷移図＞



➡（黒矢印）……［オンラインキー］を押したときのプロッタの状態遷移を表しています。
※１……プリント中には設定できないメニューがあります。
※２……プロッタに用紙がセットされていないときは、［オンラインキー］を押しても“オンライン”状態に戻らず、“オフライン”状態に戻ります。

●オンライン状態

用紙がセットされていて、プリント待ちの状態です。プリント開始時に、“プリントチュウ”表示に切り替わります。

●オフライン状態

インクタンクなどの交換や、用紙の送りや戻しができる状態です。この状態では、データを受信することができません。

●プリント状態

プリントしている状態です。プリント終了後、ロール紙を使用しているときは、“オンライン”表示に、カット紙を使用しているときは“オフライン”表示に切り替わります。

●ポーズ状態

プリントを一時中断している状態です。

②インクタンク／プリントヘッドの状態

取り付けられているインクタンク（K：ブラック、C：シアン、M：マゼンタ、Y：イエロー）各色のインク残量やプリントヘッドの状態を表します。

KCMY ..... KCMYの各文字が大文字で表示されている場合、各インクが十分にあることを表示しています。

kcmy ..... kcmyのいずれかの文字が小文字の場合、小文字の色のインクが少なくなっていることを表示しています。新しいインクタンクに交換することをお勧めします。

－（横線） ..... 横線の点灯表示の場合、表示位置の色のインク切れか、インクタンクがセットされていません。

＿（下線） ..... 下線の点灯表示の場合、表示位置の色のインクタンクとプリントヘッドが取り付けられていません。インクタンクとプリントヘッドを取り付けてください。

？ ..... ？表示の場合、表示位置の色のプリントヘッドに異常があるか、破損しているプリントヘッドが取り付けられています。新しいプリントヘッドに交換してください。？の表示が消えない場合は、お買い求めの販売店または、担当サービスにご連絡ください。

重要

●インクの残量表示が小文字の状態でプリントしていても、画像の濃度やサイズによっては途中でインク切れになることがあります。インク切れになった後も、プリント動作を続け、プリント終了後“－”横線表示になります。

③プロッタの動作状態

プロッタが行っている動作をメッセージディスプレイ下段に表示します。

2.4 プリントヘッドとインクタンクの取り付け

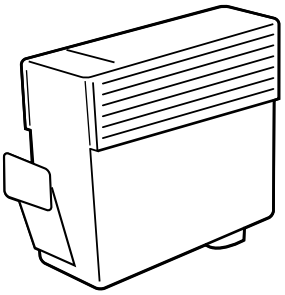
この章ではプリントヘッドとインクタンクの取り付け方法について説明します。
本機には、専用のインクタンクとプリントヘッドが用意されています。これら二つをキャリッジに取り付けてプリントを行います。

重要

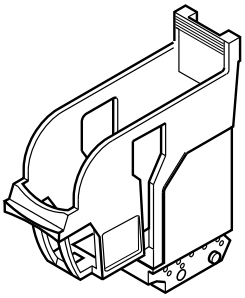
●プリントヘッドとインクタンクは、必ず本機専用のインクタンク（IJ-10025シリーズ）とプリントヘッド（SH-2シリーズ）をご使用ください。

■インクタンクとプリントヘッドについて

ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの各色ごとに、インクタンクとプリントヘッドの二つをキャリッジに取り付けてプリントします。



インクタンク



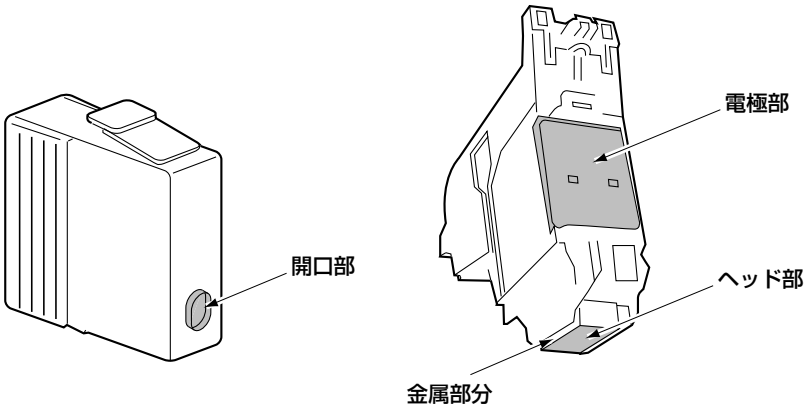
プリントヘッド

インクタンクとプリントヘッドは、４色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）ずつありそれぞれ同じ色で組み合わせて使用します。
このインクタンクと、プリントヘッドの商品名は次の通りです。

	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー
インクタンク	IJ-10025Bk	IJ-10025C	IJ-10025M	IJ-10025Y
プリントヘッド	SH-2Bk	SH-2C	SH-2M	SH-2Y

■インクタンク／プリントヘッドの取り扱い上の注意

プリントの品質は、インクタンクや、プリントヘッドの状態に応じて大きく左右されます。インクタンクやプリントヘッドを取り扱うときは次のことに注意してください。



⚠注意

- ●プリント後、プリントヘッドの金属部分には触らないでください。熱くなっているため、やけどの原因になります。
- ●インクタンクや、プリントヘッドを落としたり、振ったりしないでください。インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。
- ●インクタンクの開口部や、プリントヘッド部には触れないでください。インクで手を汚すことがあります。
- ●安全のため、インクタンクやプリントヘッドは、子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってなめたりインクを飲んだりしたときは、直ちに医師にご相談ください。
- ●プリントヘッドは消耗品です。ヘッドクリーニングを行ってもノズルチェックパターンにおいて、正しくプリントされないときは、新しいプリントヘッドに交換してください。詳細は、「7.2　インクタンク／プリントヘッドの交換」を参照ください。

重要

●インクタンクやプリントヘッドは、お使いになるまで開封しないでください。また、開封後はすぐに本機に取り付けてください。
開封したまま放置しておきますと、ヘッド部が乾燥してきれいにプリントできなくなることがあります。
●インクタンクやプリントヘッドを一時的に置くときは、ヘッド部や開口部を下に向けて置かないでください。ヘッド部や開口部を下に向けて置くと、ヘッド部分に傷がついたり開口部にチリやホコリがついたりして、きれいにプリントできなくなることがあります。
●プリントヘッドのヘッド表面や電極部には触れないでください。機械の故障の原因になります。
●いったん外したオレンジ色の保護キャップや保護テープは、プリントヘッドに取り付けないでください。ヘッド部分に傷がつき、きれいにプリントできないことがあります。
●インクタンクやプリントヘッドを分解しないでください。機械の故障の原因になります。
●使用中のインクタンクは最後まで使い切ってください。万が一途中で外した場合は、必ず後述のヘッドクリーニングを実施してください。
●インクタンクのインクは補充できません。インクが無くなったら新しいインクタンクに交換してください。
●きれいにプリントするため、インクタンクは開封後半年以内に使い切ることをお勧めいたします。
●インクタンクをプリントヘッドに取り付ける際は、インクタンクが室温に十分なじんでから取り付けてください。温度差の大きい場所に保存してあったインクタンクをすぐに取り付けてプリントを行うと、インクのカスレ等きれいにプリントできない場合があります。

プリントヘッドの取り付け方法

⚠注意

すでにインクタンク及びプリントヘッドが取り付けようとする位置にある場合は、「第７章　インクタンクとプリントヘッドの交換」を参照して、プリントヘッドとインクタンクを取り外してください。

①インクタンクとプリントヘッドが取り付けられていない場合は、

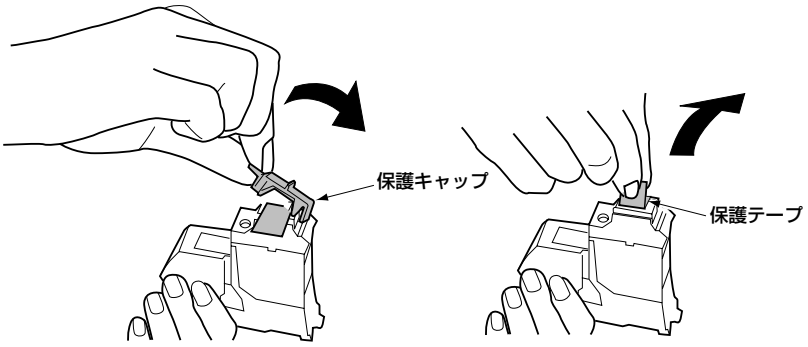
エラー！！
［ﾍｯﾄﾞｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ：←→

［ﾍｯﾄﾞｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ：←→ｷｰﾖ　ｵｼﾃ　ﾍｯﾄﾞﾖ　ﾄﾘﾂｹﾃ　ｸﾀﾞｻｲ］
と表示し、エラーランプが赤色で点灯します。
【←左または→右方向】キーを押し、キャリッジをヘッド交換位置に移動します。

②キャリッジがヘッド交換位置で待機していましたら、ダストカバーを開けます。

③プリントヘッドの包装ケースを開封し、プリントヘッドを取り出します。

④ヘッド部についているオレンジ色の保護キャップと保護テープをはがします。



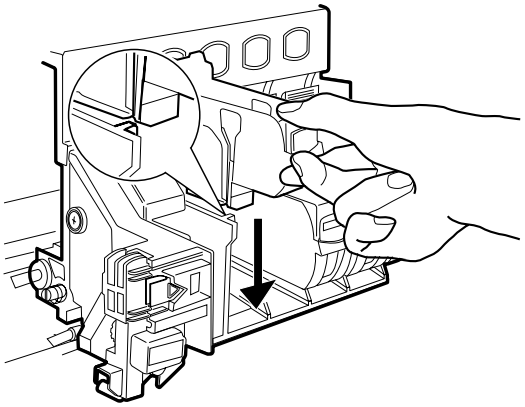
重要

●インクタンクやプリントヘッドを一時的に置くときは、ヘッド部や開口部を下に向けて置かないでください。ヘッド部や開口部を下に向けて置くと、ヘッド部分に傷がついたり開口部にチリやホコリがついたりして、きれいにプリントできなくなることがあります。

●プリントヘッドのヘッド表面や電極部には触れないでください。機械の故障の原因になります。

●いったん外したオレンジ色の保護キャップや保護テープは、プリントヘッドに取り付けないでください。ヘッド部分に傷がつき、きれいにプリントできないことがあります。

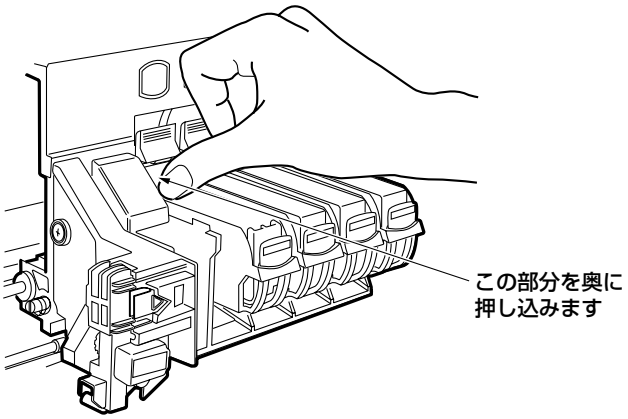
⑥プリントヘッドの色識別シールと同じ色の位置のヘッド取り付け位置に、プリントヘッドの溝をキャリッジの突起にあわせ、キャリッジにプリントヘッドを差し込みます。



⚠注意

プリントヘッドの取り付け位置は、各色毎に決まっています。プリントヘッドをキャリッジに取り付ける際は、プリントヘッドとキャリッジのシールの色を合わせて取り付けてください。シールの色を合わせずに取り付けると、正しい色でプリントされません。

⑦プリントヘッドの下図の位置をカチンという手応えがあるまで指で押し、プリントヘッドをキャリッジに固定します。

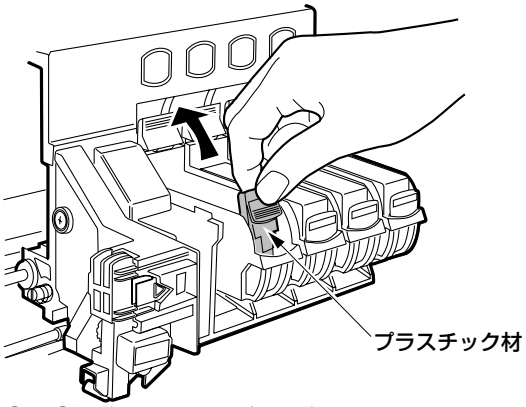


⚠注意

●プリントヘッドを取り付ける際は、上図以外の部分を押さないでください。

●プリントヘッドが正しく取り付けられていないと、きれいにプリントできないことがあります。

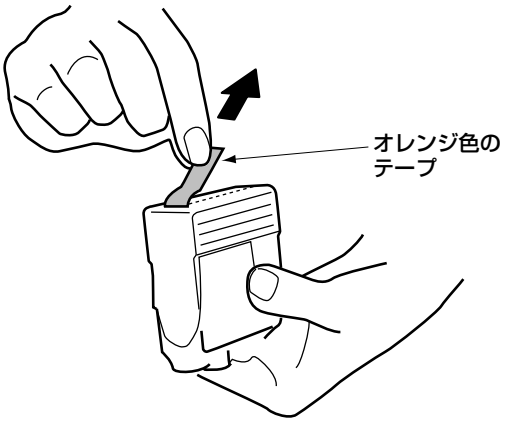
⑧プリントヘッドの内側にあるオレンジ色のプラスチック材を取り外します。プラスチック材のPUSH部分をつまみ、奥に倒すように持ち上げて取り外してください。



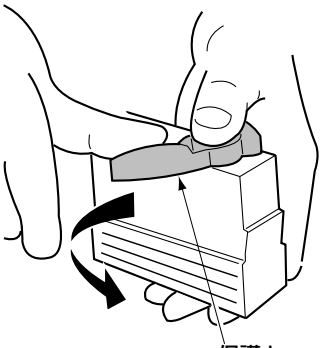
⑨④～⑧操作をすべての色のプリントヘッドについて行います。プリントヘッドの取り付けが終了しましたら、次にインクタンクの取り付けを行います。

インクタンクの取り付け方法

①キャリッジがヘッド交換位置で待機していることを確認します。ヘッド交換位置に待機していない場合は、前述のプリントヘッドの取り付け方法の①を参照し、ヘッド交換位置にキャリッジを待機させてください。
②キャリッジがヘッド交換位置で待機していましたら、ダストカバーを開けます。
③インクタンクが取り付けようとする位置にある場合は、**「7.3.　インクタンクの交換方法」**を参照して、インクタンクを取り外してください。
④新しいインクタンクのオレンジ色のテープを持ち、ミシン目に沿って引っ張り包装ケースを開封します。



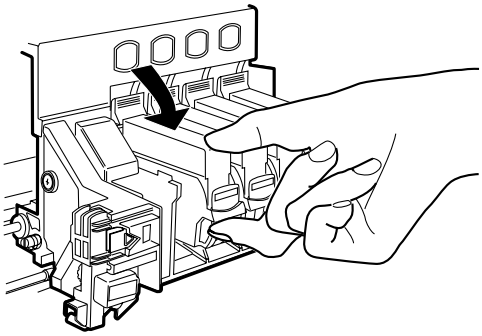
⑤開口部についているオレンジ色の保護キャップのつまみを左回りにゆっくりと回転させて保護キャップを取り外します。



⚠注意

●開封したインクタンクは、すぐにプリントヘッドに取り付けてください。そのまま放置すると、開口部が乾燥して、きれいにプリントできなくなることがあります。
●インクタンクは室温に十分なじんでから取り付けてください。温度差の大きい場所に保存してあったインクタンクをすぐに取り付けてプリントを開始すると、きれいにプリントできない場合があります。

⑥インクタンクの開口部を下向きにして、インクタンクとプリントヘッドの色識別シールと同じ色の位置のプリントヘッドに、インクタンクを取り付けます。インクタンクをプリントヘッドの奥まで差し込んだ後、カチンという手応えがあるまで、インクタンクを親指と人差し指で挟み込んでください。



⚠注意

●取り付け後はプリントヘッドに触れないようにしてください。取り付け位置がズレるときれいにプリントできないことがあります。

●インクタンクの取り付け位置は、各色ごとに決まっています。インクタンクをプリントヘッドに取り付ける際は、インクタンクとプリントヘッドのシールの色を合わせて取り付けてください。シールの色に合わせずに取り付けると、正しい色でプリントされません。

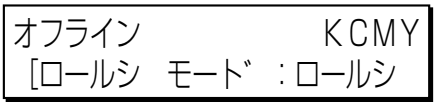
●インクタンクが正しく取り付けられていないと、プリントヘッドにインクが供給されません。

●インクタンクを交換するとき以外に、インクタンクを取り外さないでください。誤って取り外した時は、「ヘッドクリーニング」メニューの「タンクコウカン」を選び、ヘッドクリーニングを行ってください。

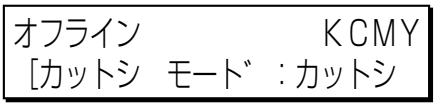
●プリントヘッドは消耗品です。ヘッドクリーニングを行ってもノズルチェックパターンにおいて、正しくプリントされないときは、新しいプリントヘッドに交換してください。詳細は、「7.2　インクタンク／プリントヘッドの交換」を参照ください。

⑦④～⑥操作をすべての色のインクタンクについて行います。インクタンクの取り付けが終了しましたら、プリントヘッドとインクタンクが正しく取り付けられているか、再確認してください。

⑧ダストカバーを静かに閉じます。キャリッジがキャリッジステーションに移動しイニシャル動作を開始します。イニシャル動作を終了すると、
用紙がセットされていない場合は、



［ロールシ　モードﾞ：ロールシ　ヲ　セット　シテクﾀﾞサイ］
または



［カットシ　モードﾞ：カットシ　ヲ　セット　シテクﾀﾞサイ］
と表示されます。
次の**「2.6　用紙のセット方法」**を参照し用紙をセットします。
すでに用紙がセットされていた場合は、プリントヘッド位置の調整が自動的に行われます。（自動調整モードがONの設定の場合のみ、自動的に行われます。）

2.5 プリントヘッド位置の調整について

プリントヘッド位置の調整は、自動調整モードがオンになっている場合で、プリントヘッドの取り付け取り外しを行うと、本機がイニシャライズを終了後に自動的にヘッド位置調整パターンをプリントしてプリントヘッド位置を自動的に調整します。
また、電源がオンの状態でプリントヘッドとインクタンクが外され、再度取り付けられた場合や、電源投入時にプリントヘッドがセットされていない状態で、プリントヘッドとインクタンクを取り付けた後に、本機がイニシャライズを終了すると自動的にヘッド位置調整パターンをプリントしてヘッド位置を自動的に調整します。自動調整モードがオフの場合は、この動作は行いません。
プリントヘッドの自動調整では、A3 以上の用紙をセットしてください。
自動調整モードの切り替え方法は、**「6.2　自動調整モードの設定」**を参照ください。

⚠注意

●新品のプリントヘッドに交換したときや、プリントヘッドを再セットしたときは、必ずプリントヘッドの位置調整を行ってください。（「7.5 プリントヘッドの位置の自動調整」参照。）この調整を行わないと、プリント時に罫線ズレ等が発生し、描画品質が悪くなります。

●新品のプリントヘッドに交換したとき、プリントヘッドを再セットしたときや、使用する用紙の種類を変更したときには、必ず「ジドウバンドホセイ」を行ってください。（「7.6 自動バンド補正」参照。）この調整を行わないと、プリント画像のムラ等が発生し、描画品質が悪くなります。

●プリントヘッドの位置調整後や自動バンド補正後に、ヘッド高さ調整レバーの位置を変更したときには、再度、「プリントヘッドの位置調整」、「ジドウバンドホセイ」を行ってください。（「7.5 プリントヘッドの位置の自動調整」、「7.6 自動バンド補正」参照。）

●弊社推奨の用紙以外をご使用の場合で、プリントヘッドの位置調整、ジドウバンドホセイを実施した場合において、「エラー！E02102 チョウセイ エラー ヨウシヲ トリノゾイテクダサイ」が表示された時は、自動調整ができない用紙です。複写機用途の普通紙をセットしてやり直してください。ただし、画質が最適に保たれない場合があります。

2.6 用紙のセット方法

本機では、ロール紙、またはカット紙が使用できます。（本機の初期設定は、ロール紙モードになっています。ロール紙を使用する場合は、外径が100mm以下で、内径が51mm（2”）のものを使用してください。

重要

●高品質のプリント結果を得るために、弊社推奨の用紙をご使用ください。

●ロール紙は外側がプリントする面になっています。ロール紙をセットするときは、なるべくプリント面に触れないようにしてください。プリントする面に皮膚の脂が付着すると、インクののりが悪くなる場合があります。

ロール紙のセット方法

①用紙がセットされていない場合、

```
オフライン              KCMY
［ロールシ　モードﾞ：ロールシ
```

［ロールシ　モードﾞ：ロールシ　ヲ　セット　シテクﾀﾞサイ］

または

```
オフライン              KCMY
［カットシ　モードﾞ：カットシ
```

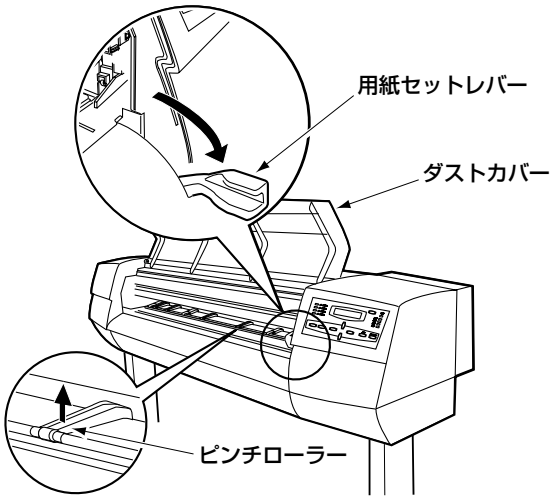
［カットシ　モードﾞ：カットシ　ヲ　セット　シテクﾀﾞサイ］

と表示されます。

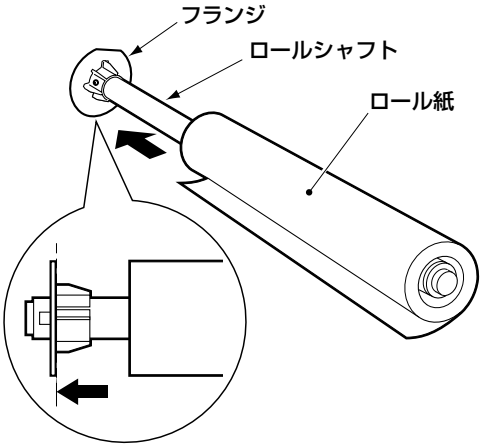
②用紙のモードがカット紙モードの場合、用紙のモードをロール紙モードに切り替えます。**「2.7　用紙のモードの切り替え方法」**参照。すでに使用する用紙モードになっている場合はこの切り替えを行う必要はありません。

③使用する用紙の種類を設定します。設定方法は**「2.8　用紙の種類の設定」**参照。すでに使用する用紙の種類になっている場合はこの設定を行う必要はありません。

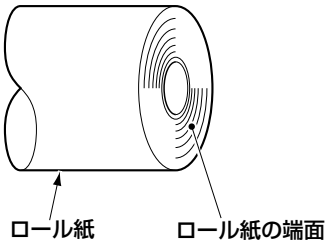
④ダストカバーを静かに開き、用紙セットレバーを下げます。用紙押さえのピンチローラーが上がります。



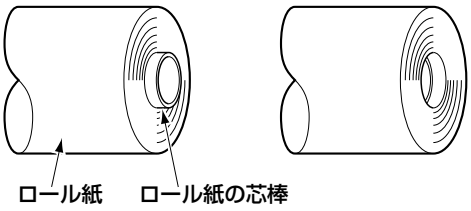
⑤ロール紙の巻き方向に注意して、図のようにロール紙をロールシャフトに差し込みます。ロールシャフトのフランジに突き当たるまでロール紙を差し込んでください。



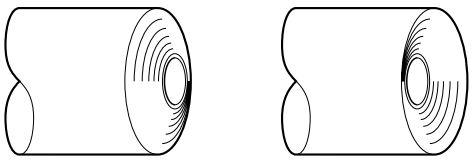
⑥図のようにロール紙の端面がそろっていることを確認します。
＜ロール紙の端面がそろっている＞



＜ロール紙の芯棒が端面からずれている＞



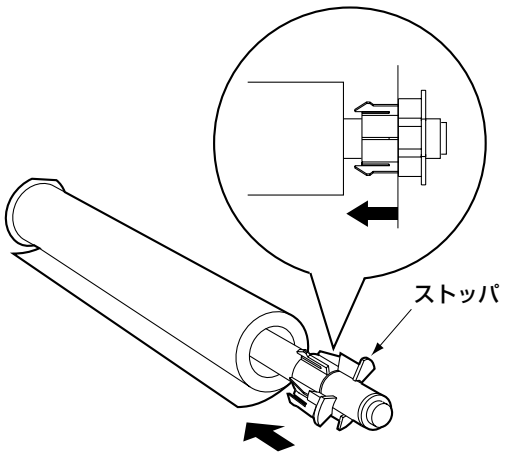
＜ロール紙の巻き取りが乱れている＞



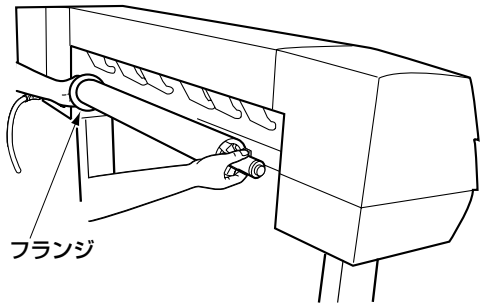
⚠注意

●使用するロール紙の端面がそろっていない場合、正しくプリントできないことがあります。この場合、ロール紙の左右の端面をそろえてください。

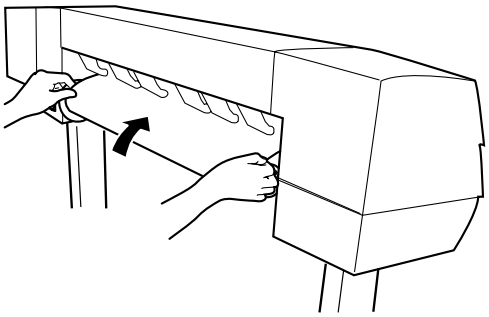
⑦ストッパをロール紙の紙管に突き当たるまで差し込み、ロール紙を固定します。



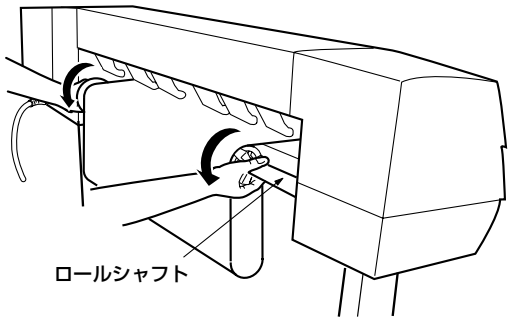
⑧ロール紙シャフトのフランジ側を左側にして、ロール紙を本機に取り付けます。



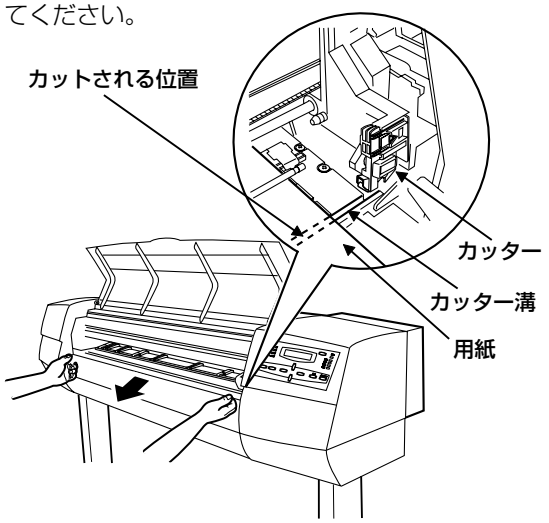
⑨ロール紙を20cmぐらい引き出し、用紙の左右の端をもって、本機の後面からロール紙を差し込みます。ある程度差し込むと吸引システムが働きロール紙が吸着されます。このときロール紙にたるみがなく張りがある状態になるようにロール紙を本機の後面より差し込みます。
＜張りのある状態＞



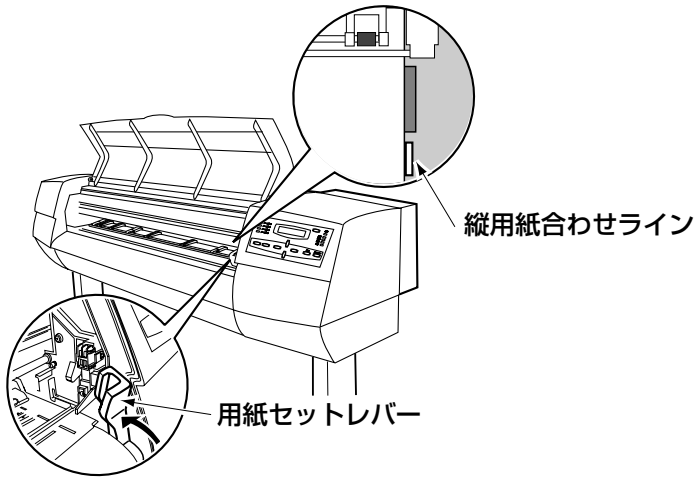
次のようにたるんでいるときは、正しくプリントできないことがあります。たるみがなくなるようにしてロール紙をきちんと巻き取ってください。
＜たるんでいる状態＞



⑩ロール紙の先端（3cmぐらい）または、左右の端を持って静かに手前に引き出します。引き出た用紙はカッター溝から約16ｃｍぐらい手前に引き出してください。



⑫ロール紙に張りをもたせた状態で、ロール紙の端が縦の紙合わせラインと平行になるようにして用紙セットレバーを上げ用紙を固定します。このとき無理にロール紙を引っ張って紙合わせラインに合わせないでください。無理に合わせると斜行の原因になります。



⑬ダストカバーを静かに閉めます。

⑭**【↑上または↓下方向】**キーを押します。

ロール紙の先端が自動的にカットされ、ロール紙の大きさ検出を開始します(オートカットセッテイのカッタードウサの設定により動作は異なります)。また、用紙がすでにセットしている状態で電源を入れたときは、先端部のカットは行われず、用紙の検出を開始します。

用紙の検出を終了するとオンラインが表示され、プリントできる状態になります。用紙検出中に**【↑上または↓下方向】**キーを押すと用紙検出を中止します。

オンライン　　KCMY

用紙の検出時に、セットした用紙がまっすぐにセットされていない場合、メッセージディスプレイに“ヨウシヲ　マッスグニシテクダサイ”というメッセージを表示します。用紙がまっすぐに送られるように、もう一度用紙をセットし直してください。

⚠注意

●用紙を検出しているときは、機械の中に手を入れないでください。内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。

カット紙のセット方法

①用紙がセットされていない場合、

オフライン　　KCMY
[ロールシ　モード゛：ロールシ

［ロールシ　モード゛：ロールシ　ヲ　セット　シテクダ゛サイ］
または

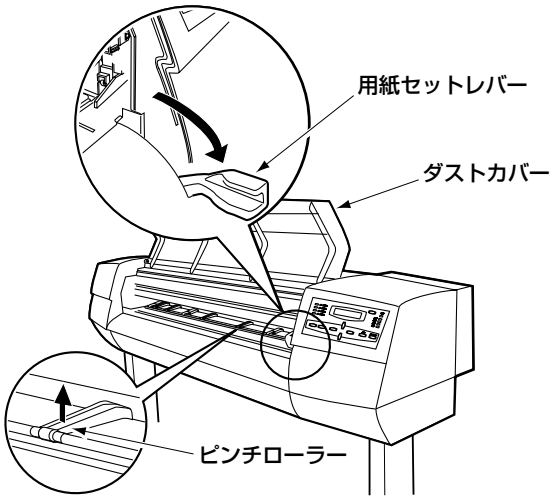
オフライン　　KCMY
[カットシ　モード゛：カットシ

［カットシ　モード゛：カットシ　ヲ　セット　シテクダ゛サイ］
と表示されます。

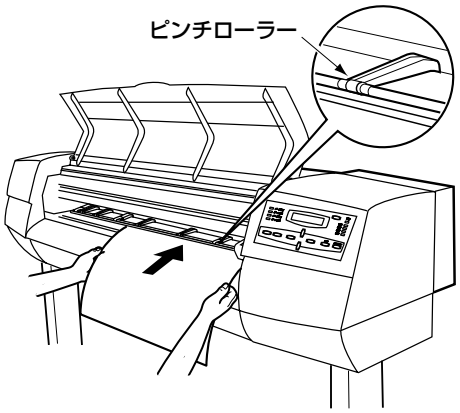
②用紙のモードがロール紙モードの場合、用紙のモードをカット紙モードに切り替えます。**「2.7　用紙のモードの切り替え方法」**参照。すでに使用する用紙モードになっている場合はこの切り替えを行う必要はありません。

③使用する用紙の種類を設定します。設定方法は**「2.8　用紙の種類の設定」**参照。すでに使用する用紙の種類になっている場合はこの設定を行う必要はありません。

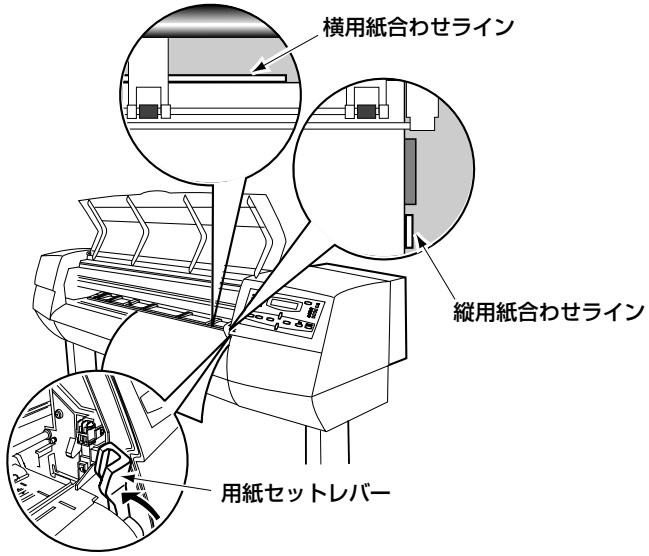
④ダストカバーを静かに開き、用紙セットレバーを下げます。用紙押さえのピンチローラーが上がります。



⑤カット紙のプリント面を上にして用紙の左右の端を持ちピンチローラーの下に用紙を入れます。（Ａ４サイズの用紙は横置きにしてセットしてください。）吸引システムが働き、用紙が吸着されます。



⑥用紙に張りを持たせた状態で、用紙を紙合わせラインの内側に合わせます。縦の紙合わせラインに合わせた後に、横の紙合わせラインに合わせます。



⚠注意

●カット紙をセットするときは、なるべくプリント面に触れないようにしてください。プリントされる面に皮膚の脂が付着すると、インクののりが悪くなる場合があります。

●コンピュータから転送するデータの印字方向とカット紙の方向（縦向き／横向き）を合わせて、用紙をセットしてください。

●カット紙をセットするときは、必ず用紙合わせラインに合わせてください。合わせないと正しく用紙を検出できない場合があります。

⑦用紙セットレバーを上げ用紙を固定します。
⑧ダストカバーを静かに閉めます。
⑨**【↑上または↓下方向】**キーを押します。
カット紙の先端、大きさ検出を開始します。
用紙の検出を終了するとオンラインが表示され、プリントできる状態になります。用紙検出中に**【↑上または↓下方向】**キーを押すと用紙検出を中止します。

オンライン　　KCMY

用紙の検出時に、セットした用紙がまっすぐにセットされていない場合、メッセージディスプレイに“ヨウシヲ　マッスグニシテクダサイ”というメッセージを表示します。用紙がまっすぐに送られるように、もう一度用紙をセットし直してください。

⚠注意

●用紙を検出しているときは、機械の中に手を入れないでください。内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。

2.7 用紙のモードの切り替え方法

ここでは、本機で使用する用紙のモードを設定します。設定を行うには本機をオフライン状態にし、ロール紙を使用するときは、用紙をセットする前にロール紙モードに設定します。またカット紙を使用する場合も同様に、用紙をセットする前にカット紙モードに設定します。

用紙モードの切り替え方法

①**【オンライン】**キーを押して、本機をオフライン状態にします。
②操作パネルの**ロール紙ランプ**と**カット紙ランプ**の状態を確認してください。
ロール紙ランプが点灯している ..... ロール紙が選択されています。
カット紙ランプが点灯している ..... カット紙が選択されています。
③ロール紙／カット紙の切り替えは、操作パネルの**【ロール紙／カット紙】**キーを押すたびに、ロール紙ランプとカット紙ランプが交互に点灯し、用紙モードは切り替わりますので、ご希望の用紙モードが選択された状態でご使用ください。
④**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

2.8 用紙の種類の設定方法

ここでは、本機で使用する用紙の種類を設定します。

重要

●安定した品質のプリントを得るために、弊社推奨の用紙をご使用ください。

●用紙の梱包を開封した後は、湿度変化による用紙の伸縮をさけるため、包装紙でしっかり包んで保管してください。

用紙の種類

本機で使用できる用紙は次の通りです。
通常は普通紙で十分にきれいなプリントを得ることができますが、プリントの用途に合わせて使用する用紙を選択することによりさらに美しいプリント結果を得ることができます。

普通紙 ..... 一般的な線画出力や、テストプリントを行うのに適した安価な用紙です。ただし温度や湿度に対する影響を受けやすく、他の用紙に比べて安定性は劣ります。

コート紙 ..... インクジェット用にコーティングされている用紙です。カラーの線画やイメージ画像を鮮明にプリントします。

フィルム ..... 湿度に対する寸法安定性に優れており、長期保存用の図面のプリントに適しています。精度が要求される図面や密度の高い図面、プリント領域いっぱいの図面のプリントにも適しています。

トレーシングペーパー ..... 湿式複写（ジアゾ複写）と第二原図用原稿に適しており、線画のプリントにおすすめします。経済的な価格ですが、温度や湿度に対する影響を受けやすいため、保存用の図面をプリントする場合には、マットフィルムをご使用することをおすすめします。

用紙種類の設定方法

①**【オンライン】**キーを押し下記のメインメニューを表示させます。

```
メイン　メニュー
　　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ヨウシ　セッテイ　　▽
```

③**【←左または→右方向】**キーを押し、下記の画面を表示させます。

```
ヨウシ　セッテイ
　　ヨウシ　シュルイ　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ヨウシ　シュルイ
　　　フツウシ＊
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すごとに、フツウシ、コートシ、トレーシングペーパー、フィルムの用紙の種類が表示されます。用紙の種類の横に＊印が表示されている用紙が現在の設定値です。**【←左または→右方向】**キーを押し設定したい用紙の種類を表示させます。

⑥**【入力／実行】**キーを押します。下記表示のように用紙の種類の横に＊印が表示されます。この状態では用紙の種類がフツウシになっています。

```
ヨウシ　シュルイ
　　　フツウシ＊
```

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

⚠注意

●使用する用紙の種類を変更した場合には、必ず「ジドウバンドホセイ」を行ってください。（「7.6 自動バンド補正」参照。）

2.9 用紙のサイズとプリント可能領域

本機で使用できる用紙サイズは、次の通りです。

カット紙のサイズ

項目	JC9000/JC9000NET(A0)	JC9100/JC9100NET(A1)
ISO A	A4*1,A3,A2,A1,A0*2	A4*1,A3,A2,A1*2
ISO B	B4,B3,B2,B1*2	B4,B3,B2*2
ANSI	34”×44”*2,22”×34” 17”×22”,11”×17” 8.5”×11”*1	22”×34”*2,17”×22” 11”×17”,8.5”×11”*1
ANSI Arch	36”×48”*2,30”×42”*2 24”×36”,18”×24” 12”×18”,9”×12”*1	24”×36”*2,18”×24” 12”×18”,9”×12”*1

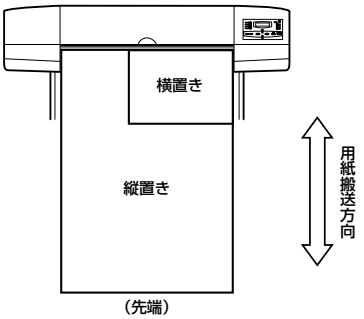
*1：横置きのみプリントできます。*2：縦置きのみプリントできます。

使用できるカット紙の最大用紙サイズは、
JC9000/JC9000NET：幅 914mm　長さ 1,250mm
JC9100/JC9100NET：幅 634mm　長さ 1,250mm
です。
使用できるカット紙の最小用紙サイズは、
JC9000/JC9000NET：幅 250mm　長さ 150mm
JC9100/JC9100NET：幅 250mm　長さ 150mm
です。

ロール紙のサイズ

項目	JC9000/9000NET(A0)	JC9100/9100NET(A1)
ISO A	A2,A1,A0	A2,A1
ANSI Arch	36”,30”,24”	24”

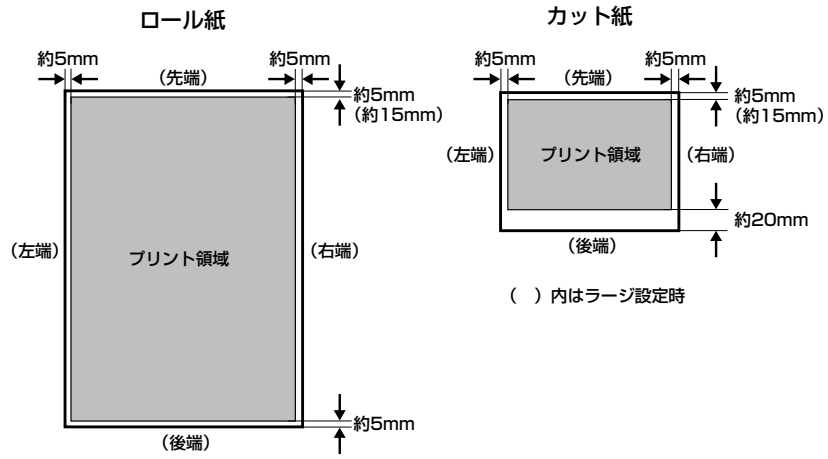
使用できるロール紙の最大幅、最小幅は、カット紙の幅と同じです。
プリントできる長さは、JC9000/JC9100NET,JC9100/JC9100NET ともに 1 回のプリントにつき最大 18m までです。この値は使用するプロッタドライバによって異なることがあります。



プリント可能領域

本機は、プリント品質を保証するために、用紙の先端と後端、および左右両端にマージン（余白）を設けています。マージンを除いたプリント可能領域は下記のようになります。

＜マージンを「ノーマル」に設定している場合＞



＜マージンを「ラージ」に設定している場合＞

ロール紙とカット紙ともに、先端マージン約 15mm になります。後端、右端、左端のマージンは、「ノーマル」に設定している場合と同じです。用紙に占めるベタの量が多い画像をプリントするときや、用紙のカールがきついときは、「ラージ」に設定することをおすすめします。

第3章　接続について

この章では、アプリケーションソフト、及びコンピュータと本機の接続について説明します。

3.1 接続ケーブルについて

本機とコンピュータと接続する場合、コンピュータのプリンタポート（セントロニクス）または、RS-232C ポートを使用して接続します。この場合、本機とコンピュータに適合したケーブルが必要になります。本機にはこの 2 種類のインタフェースに対応しています。また、データを受信したインタフェースに対応して自動で切り替えを行います。
イーサネット搭載モデル（JC9000NET/JC9100NET）には、イーサネット用のインタフェースポートが追加されます。

3.2 本機との接続

パラレル（セントロニクス）インタフェースケーブルとシリアルインタフェースケーブルの接続方法について説明します。

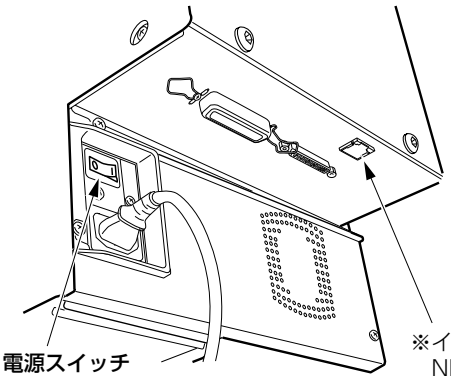
重要

●ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源を切ってください。

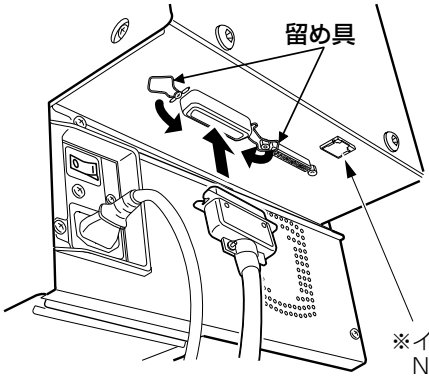
パラレルインタフェースケーブルの接続

本機のパラレルインタフェースコネクタは36ピンメス型コネクタになっています。また、本機のパラレルインタフェースは、IEEE1284準拠のコンパチブルモード、ニブルモード、バイトモード、およびECPモードに対応しています。

①プロッタとコンピュータの電源を切ります。



②パラレルインタフェースケーブルをプロッタ本体後面のコネクタに差し込み、留め具でコネクタを固定します。



③プロッタ側のコネクタを固定したら、コンピュータ側のコネクタにパラレルインタフェースケーブルを差し込みます。

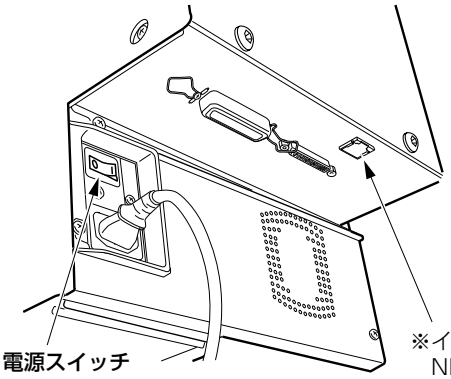
シリアルインタフェースケーブルの接続

本機のシリアルインタフェースコネクタは25ピンのメス型コネクタになっています。本機のシリアルインタフェース（RS-232C）の仕様は、コネクタがD-Sub 25ピンで、データは２ピンで送信され３ピンで受信します。

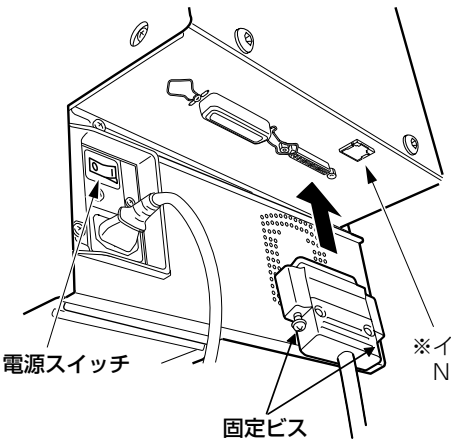
重要

●弊社指定のRS232Cケーブルをご使用の際は、付属のコアを取り付けてご使用ください。（付属の「コア取付説明書」を参照ください。）

①プロッタとコンピュータの電源を切ります。



②シリアルインタフェースケーブルをプロッタ本体後面のコネクタに差し込み、固定ビスでコネクタを固定します。



③プロッタ側のコネクタを固定したら、コンピュータ側のコネクタにシリアルインタフェースケーブルを差し込みます。

3.3 Windows ドライバのインストール

多くのアプリケーションソフトは、Windows 上で動作し、印字するためのイメージデータを作成します。本機にデータを出力する場合、これらのアプリケーションソフトで作成されたイメージデータをドライバソフトにより本機が認識できるデータ形式に変換して、本機に出力します。従って本機にデータを出力するには本機に適合したドライバソフトが必要になります。本機には付属品としてこのWindows用ドライバを用意していますので、このプロッタドライバをコンピュータにインストールします。また、最新の本機用のWindows用プロッタドライバは当社ホームページからダウンロードできます。

http://www.graphtec.co.jp/

プロッタドライバをWindowsのプリンタに追加しアプリケーションソフトの印刷項目で選択できるように設定インストールします。インストール方法については、プロッタドライバの説明ファイルを参照しインストールしてください。

3.4 パラレルポートとの接続

Windows 用プロッタドライバをインストールしましたら、パラレル（セントロニクス）ポート接続した場合、コンピュータのプリンタの接続先を本機とコンピュータを接続したポートにします。本機側の設定は、通常、設定する必要はありません。

3.5 シリアルポートとの接続

シリアルポート（RS-232C）と接続した場合、プロッタ側とコンピュータ側の両方の通信条件の設定を行う必要があります。Windows 側の印刷先ポートで設定した通信条件と同じ設定にプロッタ側の通信条件に設定する必要があります。本機で設定する通信条件には、転送速度（ボーレイト）、データビットとパリティ、ハンドシェイク方法があります。これらの設定をコンピュータ側で設定した内容と同じ設定にします。

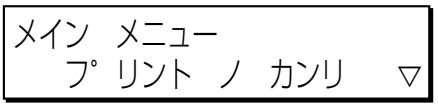
ボーレイト設定 ..... コンピュータとプロッタ間のデータ転送スピード（１秒あたりに送れるビット数）です。本機では、57600、38400、19200、9600、4800、2400 が設定できます。

データビット　パリティ ..... データ長とパリティの設定です。各データの長さ設定とエラー検出用のビットであるパリティの設定を行います。7 none、7 even、7 odd、8 none、8 even、8 odd の設定ができます。

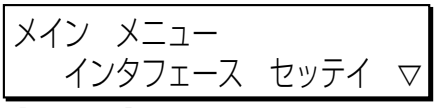
ハンドシェーク ..... コンピュータと本機の間でデータのやり取りを行う際の設定で本機のデータバッファがいっぱいになったときにデータの出力のストップとスタートの開始をどう処理するかを設定します。ハード的にこの処理を行う場合は、ハードウェアにします。またハードウェアで処理できない場合は、Xon/Xoff の設定を行います。

RS-232C の設定方法

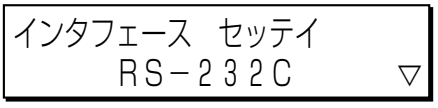
①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。



②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。



③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。



④【↓下方向】キーを押すと下記のように現在の設定値が表示されます。

```
[ 9600] bps
 8none ﾊｰﾄﾞｳｪｱ
```

⑤【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のボーレイトの設定を変更することができます。次のデータ長とパリティの設定を変更したい場合は、【入力／実行】キーを押すとデータ長とパリティの設定に［　］が移動します。

```
  9600 bps
[8none] ﾊｰﾄﾞｳｪｱ
```

⑥【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のデータ長とパリティの設定を変更することができます。次のハンドシェーク設定を変更したい場合は、【入力／実行】キーを押すとハンドシェーク設定に［　］が移動します。

```
  9600 bps
 8none [ﾊｰﾄﾞｳｪｱ]
```

⑦【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のハンドシェーク設定を変更することができます。【入力／実行】キーを押すとボーレイト設定に［　］が移動します。

⑧設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

3.6 エミュレーション設定

本機が認識できるプリントのデータ形式は、GP-GL、HP-GL&HP-GL/2、HP RTL のコマンドデータです。
ドライバやアプリケーションソフトでデータ形式が指定されている場合は、その指定に合わせて設定を変えてください。
HP RTLはラスタデータのみをプリントするときに選択します。HP RTLに設定していて、ラスタとベクタの混在データを受信すると正常にプリントされません。

設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　エミュレーション　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
エミュレーション
　ｺﾏﾝﾄﾞ　ﾌｫｰﾏｯﾄ　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｺﾏﾝﾄﾞ　ﾌｫｰﾏｯﾄ
　HP-GL&HP-GL/2*
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すとエミュレーション設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑥設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

重要

●プロッタの座標原点は、エミュレーションの設定により変わります。詳細は、「3.7　GP-GL 使用時のステップサイズの設定」、「3.8 HP-GL使用時の原点位置の設定」のプロッタの座標原点を参照ください。

3.7 GP-GL 使用時のステップサイズの設定

GP-GL使用時は、プログラムステップサイズの設定が可能です。設定できるステップサイズは、0.1mm、0.05mm、0.025mm、0.01mmの４種類です。

本設定メニューの表示は、**「3.6　エミュレーション設定」**のコマンドフォーマットを**”GP-GL”**に指定している時のみ表示されます。その他の指定では表示されません。

設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　エミュレーション　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
エミュレーション
　ｺﾏﾝﾄﾞ　ﾌｫｰﾏｯﾄ　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
エミュレーション
GP−GL　ｽﾃｯﾌﾟ ｻｲｽﾞ ▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

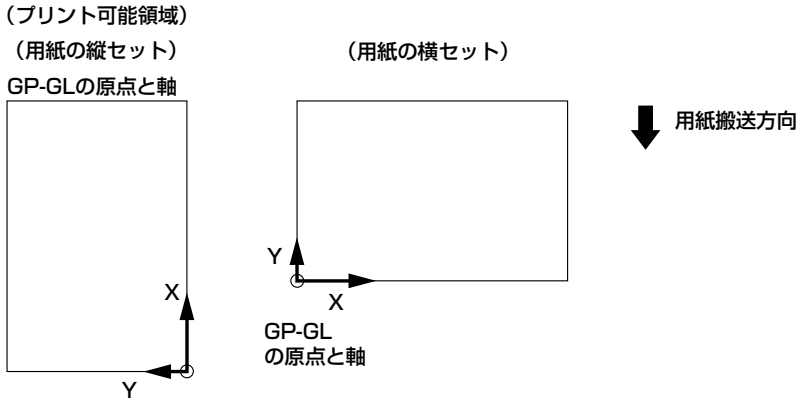
```
GP−GLｽﾃｯﾌﾟ ｻｲｽﾞ
　　0.1mm*
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとGP-GLステップサイズ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑦設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

プロッタの座標原点（GP-GL）

GP-GLが選択されている場合のプロッタの座標原点は、下図のようになります。プロッタの座標系の軸方法は、用紙の長手方向をＸ軸とし、短手をＹ軸とします。



3.8 HP-GL 使用時の原点位置の設定

HP-GL 使用時には、座標原点の位置を”**左下**”、”**中央**”のどちらかに設定することが可能です。
本設定メニューの表示は、**「3.6　エミュレーション設定」**のコマンドフォーマットを”**HP-GL&HP-GL/2**”に指定している時のみ表示されます。その他の指定では表示されません。

重要

●HP-GL/2、HP RTL の場合の座標原点の位置は、固定となります。詳細は、次ページのプロッタの座標原点の図を参照ください。

設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　エミュレーション　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
エミュレーション
　コマンド゛　フォーマット　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
エミュレーション
 HP−GL　ゲ゛ンテンイチ　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

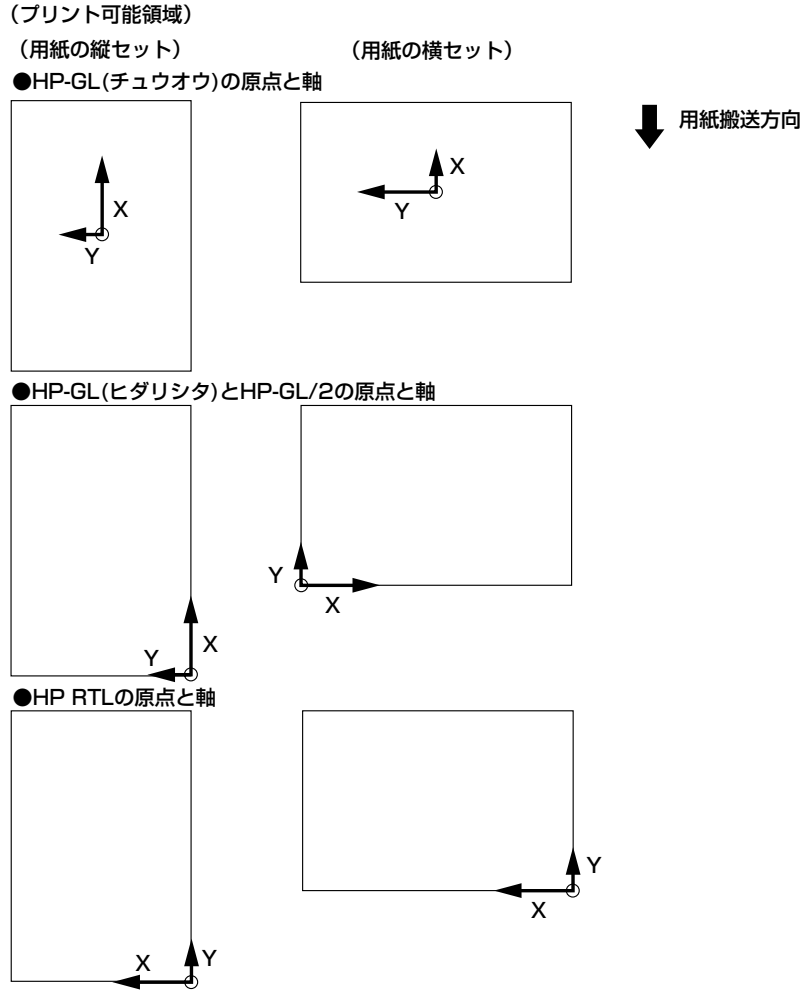
```
HP−GL　ゲ゛ンテンイチ
　　チュウオウ*
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとHP-GL ゲンテンイチ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑦設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

プロッタの座標原点（HP-GL）

HP-GL&HP-GL/2やHP RTLが選択されている場合のプロッタの座標原点は、下図のようになります。



3.9 EOP タイマー設定

この設定は、プロッタがデータの終わりを示すコマンドがないプリントデータを受信した時に、その後データの受信がない状態が、ここで設定する時間を経過すると、その時点をデータの終了と見なし、プリントを開始する時間を設定します。通常この設定は特に設定する必要はありませんが、データの転送が遅く、データがとぎれて途中で出力された場合などは、この設定を大きくすると、出力できることがあります。

設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　RS−232C　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　EOP　タイマー　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
EOP　タイマー
　　30ビ゛ョウ*
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとEOPタイマー設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。設定可能な値は10秒、30秒、1分、2分、5分、10分、30分、60分です。初期値は30秒です。

⑦設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

重要

●オートレイアウト設定が、ネスティング、テイケイハイチ、テイケイハイチ（ラージ）では、ネスティングタイマーが有効になります。

3.10 セパレータの設定

セパレータ（1 図面終了コマンド）を設定します。コンピュータよりデータが連続して出力される場合、プロッタは図面と図面との区切りを判断し、重ね書きを防止する必要があります。この区切りのコマンドをセパレータと呼び、ここでは設定の方法を解説します。
セパレータとして設定できるコマンドは下記のコマンドで、複数指定することが可能です。

GP-GL設定時	Z、F1、FO、JO、H
HP-GL&HP-GL/2、HP RTL設定時	IP、SC、IW、AF、AH、NR、PG、SP、PS、DF、IN、ESC*rC、ESC E

重要

●この機能は、オートレイアウト設定をネスティング、テイケイハイチ、テイケイハイチ（ラージ）に設定した時のみ有効です。

設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　プ゜リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　ＲＳ－２３２Ｃ　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　セパレータ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
セパレータ
　　ＩＰ
```

（※ GP-GL 時は Z）

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとセパレータ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとそのコマンドの横に＊が付き設定値が変更されます。（既に＊がついた状態で選択すると＊が消え、コマンドの設定は無効になります。）

⑦設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

3.11 イーサネットインタフェース

重要

●この内容は、JC9000NETシリーズのイーサネット対応モデルのみに搭載された機能であり、JC9000シリーズには搭載されていません。

本機は、10Base-T/100Base-TX（自動切替）のネットワーク接続を可能にしたイーサネットインタフェースを搭載しております。本機がサポートしているイーサネット規格は下記のとおりです。

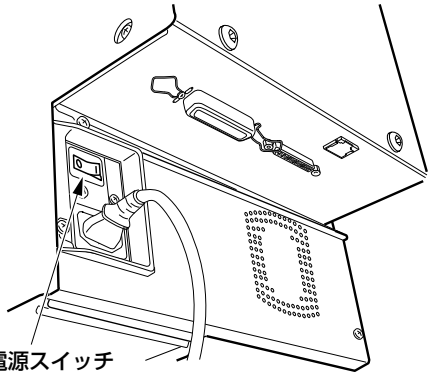
高位層：FTP、lpr

中位層：TCP/IP

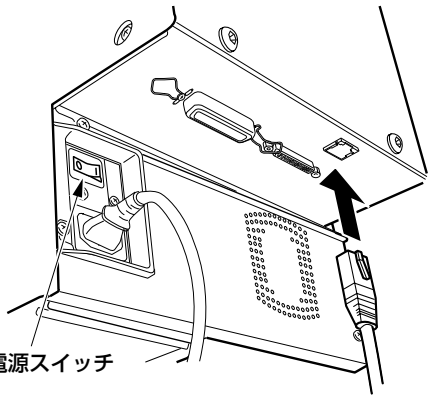
低位層：IEEE802.3

イーサネットインタフェースの接続方法

①プロッタとコンピュータの電源を切ります。



②イーサネットインタフェースケーブルをプロッタ本体後面のコネクタに差し込み、カチッと音がするまで差し込みます。



③プロッタ側のコネクタを固定したら、コンピュータ側のコネクタにイーサネットインタフェースケーブルを差し込みます。

3.11-1　TCP/IP

TCP/IP環境で使用する場合に選択します。コンピュータ側からプロッタ側にFTPコマンド（put）、GPS（ソケットインタフェース）、またはLPRコマンドを使用してデータ転送を行う時に選択します。

TCPポート番号の設定

ソケットインタフェースで使用する場合のTCPポート番号を設定します。TCPポートはGPS用とトランスペアレント形式用の2つを設定することが可能です。

パラメータ ..... 0～65535

TCPポート番号（GPS用）の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　RS－232C　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　TCP／IP　　▽
```

⑥**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
TCP／IP
 TCPﾎﾟｰﾄ(GPS)　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
TCPﾎﾟｰﾄ(GPS)
　　0＊
```

⑧**【←左または→右方向】**キーを押すとTCPポート(GPS用)設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑨設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

TCP ポート番号（トランスペアレント用）の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　ＲＳ－２３２Ｃ　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　ＴＣＰ／ＩＰ　　▽
```

⑥**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ＴＣＰ／ＩＰ
 ＴＣＰﾎﾟｰﾄ(ＧＰＳ)　▽
```

⑦下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ＴＣＰ／ＩＰ
 ＴＣＰﾎﾟｰﾄ(Ｔｒｎｓ.)▽
```

⑧**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ＴＣＰﾎﾟｰﾄ(Ｔｒｎｓ.)
　　０＊
```

⑨**【←左または→右方向】**キーを押すとTCPポート(トランスペアレント用)設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑩設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

インターネットアドレスの設定

インターネットアドレスを設定します。

パラメータ .....IPアドレス

インターネットアドレス（IPアドレス）の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　RS-232C　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　TCP/IP　　▽
```

⑥**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
TCP/IP
 TCPﾎﾟｰﾄ(GPS)　▽
```

⑦下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
TCP/IP
　IPｱﾄﾞﾚｽ　　▽
```

⑧**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ
[　0]　0.　0.　0
```

⑨**【←左または→右方向】**キーを押すと［　］内のIPアドレス設定の表示が変わります。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ
　0.［　0］　0.　0
```

⑩【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のIPアドレス設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ＩＰｱﾄﾞﾚｽ
   0.    0.［   0］    0
```

⑪【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のIPアドレス設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ＩＰｱﾄﾞﾚｽ
   0.    0.    0［   0］
```

⑫【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のIPアドレス設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと先頭の値に［　］が移動します。

⑬設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

サブネットマスクの設定

サブネットマスクを設定します。（サブネットマスクを使用する場合）

パラメータ ..... サブネットマスク

サブネットマスクの設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで【オンライン】キーを押します。

```
ﾒｲﾝ　ﾒﾆｭｰ
  ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
ﾒｲﾝ　ﾒﾆｭｰ
  ｲﾝﾀﾌｪｰｽ　ｾｯﾃｲ　▽
```

③【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｲﾝﾀﾌｪｰｽ　ｾｯﾃｲ
      RS-232C　　▽
```

④下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
ｲﾝﾀﾌｪｰｽ　ｾｯﾃｲ
      ｲｰｻﾈｯﾄ　　▽
```

⑤【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｲｰｻﾈｯﾄ
      TCP/IP　　▽
```

⑥【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
TCP／IP
 TCPﾎﾟｰﾄ(GPS)    ▽
```

⑦下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
TCP／IP
  ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ      ▽
```

⑧【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
[   0]   0.   0.   0
```

⑨【←左または→右方向】キーを押すと［ ］内のサブネットマスク設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［ ］が移動します。

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  0.[   0]   0.   0
```

⑩【←左または→右方向】キーを押すと［ ］内のサブネットマスク設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［ ］が移動します。

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  0.   0.[   0]   0
```

⑪【←左または→右方向】キーを押すと［ ］内のサブネットマスク設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［ ］が移動します。

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  0.   0.   0[   0]
```

⑫【←左または→右方向】キーを押すと［ ］内のサブネットマスク設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと先頭の値に［ ］が移動します。

⑬設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

ゲートウェイアドレスの設定

ネットワーク上のゲートウェイアドレスを設定します。ゲートウェイアドレスは２つまで設定が可能です。
なお、ゲートウェイアドレスを２つ設定した場合は、ゲートウェイアドレス１が優先されます。アドレス２のゲートウェイは、アドレス１がダウンしたり、ネットワークからのルーティング情報により切り替わります。

パラメータ ..... ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレス１の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　RS-232C　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　TCP/IP　　▽
```

⑥**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
TCP/IP
 TCPﾎﾟｰﾄ(GPS)　▽
```

⑦下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
TCP/IP
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ1　▽
```

⑧**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ1
[　0]　0.　0.　0
```

⑨【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス１設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ1
   0.［  0］   0.   0
```

⑩【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス１設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ1
   0.   0.［  0］   0
```

⑪【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス１設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ1
   0.   0.   0［  0］
```

⑫【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス１設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと先頭の値に［　］が移動します。

⑬設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

ゲートウェイアドレス２の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで【オンライン】キーを押します。

```
ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
  ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾉ ｶﾝﾘ    ▽
```

②下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ
  ｲﾝﾀﾌｪｰｽ ｾｯﾃｲ ▽
```

③【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｲﾝﾀﾌｪｰｽ ｾｯﾃｲ
      RS-232C    ▽
```

④下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
ｲﾝﾀﾌｪｰｽ ｾｯﾃｲ
      ｲｰｻﾈｯﾄ     ▽
```

⑤【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｲｰｻﾈｯﾄ
      TCP/IP     ▽
```

⑥【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
TCP／IP
 TCPﾎﾟｰﾄ(GPS)    ▽
```

⑦下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
TCP／IP
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ2   ▽
```

⑧【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ2
[   0]   0.   0.   0
```

⑨【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス２設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ2
  0.[   0]   0.   0
```

⑩【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス２設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ2
  0.   0.[   0]   0
```

⑪【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス２設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと次の値に［　］が移動します。

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ2
  0.   0.   0[   0]
```

⑫【←左または→右方向】キーを押すと［　］内のゲートウェイアドレス２設定の表示が変わります。選択した設定で【入力／実行】キーを押すと先頭の値に［　］が移動します。

⑬設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

TCP/IP ジョブタイムアウト時間の設定

データ転送途中で、交信が途絶えた場合のコネクション維持時間を 60 ～ 999 秒で設定します。ただし、0 秒を設定するとタイマ監視を行いません。

パラメータ ..... 0、60 ～ 999 秒

TCP/IP ジョブタイムアウト時間の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　RS－232C　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　TCP／IP　　▽
```

⑥**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
TCP／IP
 TCPﾎﾟｰﾄ(GPS)　▽
```

⑦下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
TCP／IP
 ｼﾞｮﾌﾞ　タイムアウト　▽
```

⑧**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｼﾞｮﾌﾞ　タイムアウト
　　240s＊
```

⑨**【←左または→右方向】**キーを押すとジョブタイムアウト設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑩設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

3.11-2　IPX/SPX

NetWare 環境で使用する場合に選択してください。

NetWare 用プロトコルの設定

NetWare 用のプロトコルを設定します。
パラメータ ..... ムコウ、ユウコウ

NetWare 用プロトコルの設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　ＲＳ－２３２Ｃ　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　ＴＣＰ／ＩＰ　　▽
```

⑥下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
イーサネット
　　ＩＰＸ／ＳＰＸ　　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ネットウェア
　　プ゛ロトコル　　▽
```

⑧**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
プ゛ロトコル
　　ユウコウ＊
```

⑨**【←左または→右方向】**キーを押すとNetWare プロトコル設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑩設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

以降の NetWare 環境の設定の表示は、**「NetWare 用プロトコル」**が**”ユウコウ”**の場合に表示されます。**”ムコウ”**の場合は表示されません。

NetWare 本体名の設定

NetWare 本体名を設定します。

パラメータ ..... 14 文字以内の文字列

NetWare 本体名の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　ＲＳ－２３２Ｃ　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　ＴＣＰ／ＩＰ　　▽
```

⑥下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
イーサネット
　　ＩＰＸ／ＳＰＸ　　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ネットウェア
　　ﾌﾟﾛﾄｺﾙ　　▽
```

⑧下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ネットウェア
　　マイ　ネーム　　▽
```

⑨**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
マイ　ネーム
　[ＧＩＦ＊＊＊＊　　]
```

⑩【←左または→右方向】キーを押すとカーソル位置の１文字の表示が変わります。入力したい文字を表示し、１文字づつ【入力／実行】キーで確定してください。
設定した値を大幅に変更したい場合は、「田」キャラクタを表示して【入力／実行】キーで確定してください。以降のキャラクタはクリアされ、カーソルは文字列の先頭に戻ります。
「田」キャラクタは英文字の後ろ（【→右方向】）、または数字の前（【←左方向】）の特殊記号の間にあります。
⑪設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

プリンタモードの設定

NetWare環境においてプロッタをプリントサーバとして使用するか、リモートプリンタとして使用するかを選択します。

パラメータ ..... リモートプリントモード、プリントサーバモード

プリンタモードの設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで【オンライン】キーを押します。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　ＲＳ－２３２Ｃ　　▽
```

④下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

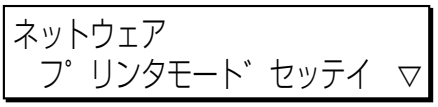
```
イーサネット
　　ＴＣＰ／ＩＰ　　▽
```

⑥下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

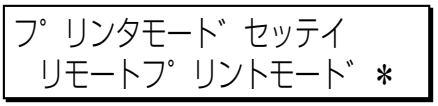
```
イーサネット
　　ＩＰＸ／ＳＰＸ　　▽
```

⑦【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

⑧下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。



⑨【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。



⑩【←左または→右方向】キーを押すとプリンタモード設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で【入力／実行】キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑪設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

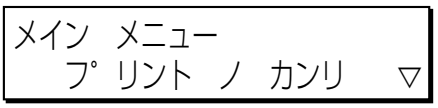
プリントサーバ名の設定

リモートプリントモード時のプリントサーバ名を設定します。
本設定メニューの表示は、**「プリンタモードの設定」**が**”リモートプリントモード”**に指定されている場合に表示にします。

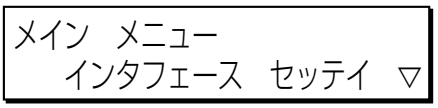
パラメータ ..... 47 文字以内の文字列

プリントサーバ名の設定方法

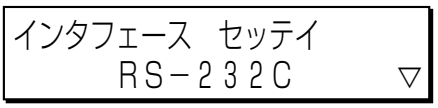
①下記のメインメニュー表示になるまで【オンライン】キーを押します。



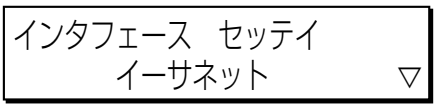
②下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。



③【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。



④下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

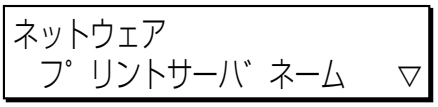


⑤【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

⑥下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。

⑦【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

⑧下記の表示になるまで【←左または→右方向】キーを押します。



⑨【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

⑩【←左または→右方向】キーを押すとカーソル位置の１文字の表示が変わります。入力したい文字を表示し、１文字づつ【入力／実行】キーで確定してください。
設定した値を大幅に変更したい場合は、「田」キャラクタを表示して【入力／実行】キーで確定してください。以降のキャラクタはクリアされ、カーソルは文字列の先頭に戻ります。
「田」キャラクタは英文字の後ろ（【→右方向】）、または数字の前（【←左方向】）の特殊記号の間にあります。

⑪設定した値でよければ【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

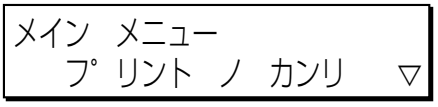
ファイルサーバ名の設定

プリントサーバモード時のファイルサーバ名を設定します。
本設定メニューの表示は、**「プリンタモードの設定」**が**”ファイルサーバモード”**に指定されている場合に表示にします。

パラメータ ..... 47 文字以内の文字列

ファイルサーバ名の設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで【オンライン】キーを押します。



②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　ＲＳ－２３２Ｃ　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　ＴＣＰ／ＩＰ　　▽
```

⑥下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
イーサネット
　　ＩＰＸ／ＳＰＸ　　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ネットウェア
　　ﾌﾟﾛﾄｺﾙ　　▽
```

⑧下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ネットウェア
　ファイルサーﾊﾞﾈｰﾑ　　▽
```

⑨**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ファイルサーﾊﾞﾈｰﾑ
［AＡＡＡＡＡＡＡＡＡＡＡＡＡ→
```

⑩**【←左または→右方向】**キーを押すとカーソル位置の１文字の表示が変わります。入力したい文字を表示し、１文字づつ**【入力／実行】**キーで確定してください。

設定した値を大幅に変更したい場合は、「**田**」キャラクタを表示して**【入力／実行】**キーで確定してください。以降のキャラクタはクリアされ、カーソルは文字列の先頭に戻ります。

「**田**」キャラクタは英文字の後ろ（**【→右方向】**）、または数字の前（**【←左方向】**）の特殊記号の間にあります。

⑪設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

3.11-3　AppleTalk

⚠注意

MacOS7.6 以上での動作保証はしておりません。

AppleTalk で使用する場合に選択します。

AppleTalk 用プロトコルの設定

AppleTalk 用プロトコルを設定します。
パラメータ ..... ムコウ、ユウコウ

AppleTalk 用プロトコルの設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　インタフェース　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インタフェース　セッテイ
　　RS-232C　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
インタフェース　セッテイ
　　イーサネット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
イーサネット
　　TCP/IP　　▽
```

⑥下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
イーサネット
　AppleTalk　　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
AppleTalk
　　ムコウ*
```

⑧**【←左または→右方向】**キーを押すとAppleTalk用プロトコル設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定で**【入力／実行】**キーを押すとその設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑨設定した値でよければ**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

第4章　プリントの基本操作

この章では、基本的なプリントの操作について説明します。

4.1 プリントする前に

プリントする前に、よいプリント結果を得るために以下の項目を設定する必要があります。

●使用する用紙と種類の設定（2.7 章、2.8 章を参照）
●プリントモードの設定

4.2 プリントモードの設定

プリントモードの設定では、印字品質とカラー／モノクロの切り替えを行います。それぞれプリント品質の要求に応じて設定する必要があります。

印字品質

標準 ..... 通常はこの「標準」に設定してプリントします。

高品位 ..... 「標準」に比べて、作図時間はかかりますが、図面をより鮮明にプリントできます。

高密度 ..... 「高品位」に比べて、作図時間はかかりますが、線画の図面をより細かくきれいにプリントできます。
この設定は、モノクロモードに設定されている時に選択できるモードで、カラーモードが設定されている時は選択できません。「カラー／モノクロ」ランプが消灯していれば、モノクロモードです。

高速 ..... 「標準」より印字結果は若干粗くなりますが、短い時間で作図ができます。画像品質よりも速さを優先するときに選択します。

カラー／モノクロ　キリカエ

操作パネルの「カラー／モノクロ」ランプが、点灯している場合はカラーモード、消灯している場合はモノクロモードが選択されています。

カラー ..... カラーデータを受信したときに、カラーでプリントします。

モノクロ ..... モノクロでプリントします。カラーデータを受信したときは、各色に対応したグレースケールでプリントします。（ラインシェーディングの設定が”ハイ”の場合）

印字品質の設定方法

重要

●「高密度」の設定は、モノクロモードに設定されている時のみ有効になります。カラーが設定されている時は選択出来ません。

①**【オンライン】**キーを押して、本機をオフライン状態にします。

②印字品質の設定状況は、操作パネルの**印字品質ランプ**の状態により確認できます。

高速ランプが点灯している .....「高速」が選択されています。
標準ランプが点灯している .....「標準」が選択されています。
高品位ランプが点灯している .....「高品位」が選択されています。
高密度ランプが点灯している .....「高密度」が選択されています。

③操作パネルの**【印字品質】**キーによって行います。「印字品質ランプ」は、**【印字品質】**キーを押すたびに切り替わりますので、ご希望の印字品質のランプが点灯している状態でお使いください。

④**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

カラー／モノクロ　キリカエの設定方法

①下記のメインメニュー表示になるまで**【オンライン】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
  カラー／モノクロ　キリカエ　▽
```

②**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
カラー／モノクロ　キリカエ
          カラー＊
```

③**【←左または→右方向】**キーを押すとカラー／モノクロ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

カラー／モノクロの設定状況は操作パネルでも確認ができます。カラー／モノクロランプが点灯していればカラーモードが、消灯していればモノクロモードが選択されています。

④**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

4.3 プリントする

使用する用紙の設定とプリントモードの設定、用紙のセットができましたらプリントできます。

重要

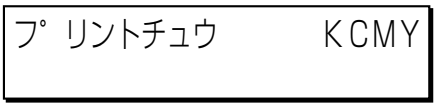
●プリントする前に、インク及び用紙の残量を確認してください。プリントの途中でインクや用紙がなくなると、画像がかすれたり、画像が欠けたりすることがあります。

●長期間、本体にセットしたままの用紙の先端は、種類によって変質したり、しわが発生する場合があります。このようなときは、用紙の先端をカットし直してからプリントしてください。

●プリント中はダストカバーを開けないでください。カバーを開けるとプリントを停止しますので、プリントがとぎれ画像品質の低下の原因になります。

①メッセージディスプレイに“オンライン”が表示されていることを確認します。（表示されていないときは**【オンライン】**キーを押し“オンライン”にします。）

②コンピュータからデータを転送します。コンピュータからデータを転送すると、データランプが緑色で点滅します。プリントを開始する時点で、次のメッセージに切り替わります。



データを転送してからプリントが始まるまでの時間は、コンピュータ、アプリケーションソフト、データの内容や「ネスティングタイマー」、「EOPタイマー」などの設定により異なります。

重要

●プリント中は、機械の中に手を入れないでください。内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。

③プリントを終了すると用紙が排出されます。
（「カンソウ　ジカン」機能が設定されている時は設定時間が経過してから用紙が排出されます。）

＜ロール紙使用時＞

プリントを終了すると、自動的に用紙をカットします。（「オートカット　セッテイ」で「カッター　ドウサ」が「オートカット」になっている場合）この設定以外は、用紙はカットされずに次のプリントができる状態で停止しています。

＜カット紙使用時＞

メッセージディスプレイに“カットシ　モード：カットシ　ヲ　セットシテクダサイ”というメッセージが表示されます。続けてカット紙にプリントするときは、カット紙をセットします。

重要

●プリントが終了するまで、用紙を取り外さないでください。
●インクが乾燥するまでは、プリント面をさわらないでください。
●プラテン上にインクが付着した場合は、水を含ませてよく絞った布で拭き、さらに乾拭きしてください。
●カット後の用紙に、チリやホコリが付着しないようにご注意ください。チリやホコリの付着防止のため、専用スタンドをご使用になることをおすすめいたします。

4.4 プリント中のメニュー設定

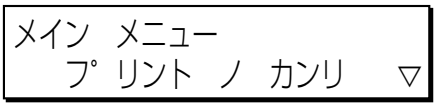
プリント中のメニューの設定は次の手順で行います。
また、プリント中に設定できるメニューは一部制限されます。

重要

●プリント中にメニュー設定を行う場合、プロッタの動作を停止させなくてはなりません。プリント動作を途中で止めると、画像品質が低下することがあります。

操作方法

①プリント中に**【オンライン】**キーを２回押して、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。（**【オンライン】**キーを１回押すと“ポーズ”が表示されもう１回押すとメニュー設定画面が表示されます。このときプロッタはプリント動作を停止し、しばらくしてキャリッジがキャリッジステーションに戻ります。）



②**【方向】**キーで設定するメニューを選択し**【入力／実行】**キーを押し選択項目を入力します。（選択が実行されると設定値の横に＊印が表示されます。）

③**【オンライン】**キーまたは、**【↑上方向】**キーを押して、メニューの設定を終了します。（**【オンライン】**キーを押すとすべてのメニューの設定を終了しプリントを開始します。**【↑上方向】**キーを押すと一つ前のメニュー設定画面に戻り、続けて他のメニューの設定ができます。

4.5 メニュー設定について

メニュー設定は、本機の動作状態により設定できるメニューが制限されます。各動作状態で、設定できるメニューは下記の通りです。○印の設定は、プリント中でも設定することができます。またRの表示はロール紙がセットされている場合に設定できる項目です。Cの表示は、カット紙がセットされている場合に設定できる項目です。Bの表示は、ベクタデータ受信時のみ設定できます。

メインメニュー	サブメニュー	プリント中	備考
プリントノカンリ	バッファ　クリア	○	
	リプロット	×	B
	キョウセイ　プリント	×	
ヘッドクリーニング		○	
チョウセイ　ジッコウ		×	
カラー／モノクロ　キリカエ		×	
ヨウシ　セッテイ	ヨウシ　シュルイ	×	
	マージン	×	
	コピー　マイスウ	×	
オート　カット　セッテイ	カッター　ドウサ	○	
	カンソウ　ジカン	○	
エミュレーション	コマンド　フォーマット	×	
	GP-GL　ステップサイズ	×	
	HP-GL　ゲンテンイチ	×	
ペン　セッテイ	ペン　テーブル　ノ　センタク	×	
	ペン　テーブル　ノ　ヘンコウ	×	
	ペン　テーブル　ノ　ショキカ	×	
ライン　ノ　セッテイ	ライン　ノ　カサネ　アワセ	×	
	ラインシェーディング	×	
ズケイ　ノ　ハイチ	オートレイアウト	×	R、B
	オートレイアウト　ゲンテン	×	R
	スケール	×	
	バイリツ　インジ	×	C
	カイテン	×	B
	Yミラー	×	
	キョリホセイ	×	
	レイアウト　サイズ	×	R
	ユーザーサイズ	×	R
	ネスティングタイマー	×	R、B
	オフセット	×	
	プリントリョウイキキリカエ	×	R
インタフェース　セッテイ	RS-232Cセッテイ	×	
	イーサネット	×	(NET仕様)
	EOPタイマー	○	
	セパレータ	×	
システム　セッテイ	Language（ゲンゴ）	○	
	ジドウ　チョウセイ　モード	○	
	カミオクリ　チョウセイ	○	
	スクリーニング	○	B
	ノウドホセイ	○	B
	フォント　センタク	○	B
	セッテイ　ノ　ショキカ	×	
	インフォメーション	○	
ナイブプリント		×	

4.6 プリントの中止

プリントを中止する場合は、下記の手順で行います。

操作方法

①プリント中またはポーズ中に、**【用紙モード】**キーと**【カッター】**キーを同時に押してください。

②メッセージディスプレイに次のメッセージが表示され、プリントを中止します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ          KCMY
    ｷｬﾝｾﾙ  ｼﾃｲﾏｽ. .
```

③「キャンセル」の処理が終了すると、オンライン状態に戻ります。

重要

●【オンライン】キーと【キャンセル】キーを除くその他のキーは、オフライン状態またはメニュー設定画面で有効です。オンライン状態のときには無効になります。【オンライン】キーと【キャンセル】キーのみオンライン状態で有効になります。プロッタの状態については「2.3 メニュー操作」を参照ください。

●印字中のラスタデータをキャンセルする場合には、まず、ホストコンピュータ側の送信を中止してから行ってください。(キャンセル後に先頭データの無いラスタデータを受信すると異常描画等になることがあります。)

メモ

次のようなときも同じ手順で行います。

・「リプロット」の中止
・「コピーマイスウ」のプリントの中止
・「カンソウ　ジカン」機能の中止

4.7 バッファ　クリア

現在処理中のすべての動作を中止し、プロッタのメモリ内にあるデータをすべて消去します。

操作方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。（プリント中は**【オンライン】**キーを１回押すと“ポーズ”が表示されもう１回押すとメニュー設定画面が表示されます。このときプロッタはプリント動作を停止し、しばらくしてキャリッジがキャリッジステーションに戻ります。）

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②**【↓下方向】**キーを押して下記の表示にします。

```
ﾌﾟリント　ノ　カンリ
　　ﾊﾞｯファ　ノ　クリア
```

③**【入力／実行】**キーを押すと、「バッファ　ノ　クリア」の右横に“＊”印が表示された後、バッファをクリアするとオンライン状態になります。

重要

●印字中のラスタデータをキャンセルする場合には、まず、ホストコンピュータ側の送信を中止してから行ってください。（キャンセル後に先頭データの無いラスタデータを受信すると異常描画等になることがあります。）

4.8 リプロット

最後にプリントしたデータをもう一度プリントすることができます。ただし、データの内容によってはプリントできない場合があります。

＜リプロットできないデータ＞

・エミュレーション設定が「HP RTL」に設定されている時のラスタデータ
・ベクタデータとラスタデータが混在しているデータ
・バッファメモリより大きなデータ

重要

カット紙を用いてリプロットモードを使用する際は、下記の点に注意してご使用ください。

●セットする用紙は、印字するデータの大きさに対して、十分な有効作図範囲を確保してください。

本機は、用紙の有効作図範囲を自動認識するため、用紙の取り付け状況(斜行等)により、有効作図範囲が多少の伸縮をする恐れがあります。よって、有効作図範囲が確保されていない、あるいは余裕がないデータを出力する場合、用紙の取り付け方によっては、オフスケールを生じ、データの欠損が生じる可能性があります。すると、複数枚出力したデータの間でデータの欠損状況が異なり、同一の出力結果を得る事はできません。

●複数枚の同一縮尺の図面を出力したい場合は、オートスケールは使用しないでください。

上記注意事項と同じ理由から、出力データの縮尺が若干ではありますが変化する可能性があります。すると、複数枚出力したデータ間での縮尺が異なり、同一の出力結果を得る事はできません。

操作方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②**【↓下方向】**キーを押して下記の表示にします。

```
プ゛リント　ノ　カンリ
　　バ゛ッファ　ノ　クリア
```

③**【←左または→右方向】**キーを押し下記の表示にします。

```
プ゛リント　ノ　カンリ
　　　リプ゛ロット
```

④**【入力／実行】**キーを押すと、「リプロット」の右横に“＊”印が表示された後、リプロットを開始します。

4.9 強制プリント

この操作は、プリント待ちになっているデータを強制的にプリントします。EOPタイマーやネスティングタイマー中のプリント待ちデータの強制出力を行います。

操作方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②**【↓下方向】**キーを押して下記の表示にします。

```
ﾌﾟリント　ノ　カンリ
　　ﾊﾞｯﾌｧ　ノ　クリア
```

③**【←左または→右方向】**キーを押し下記の表示にします。この表示はデータバッファにプリントデータがない場合には表示されません。

```
ﾌﾟリント　ノ　カンリ
　　キョウセイ　ﾌﾟリント
```

④**【入力／実行】**キーを押すと、「キョウセイ　プリント」の右横に“＊”印が表示された後、プリントを開始します。

4.10 強制カット

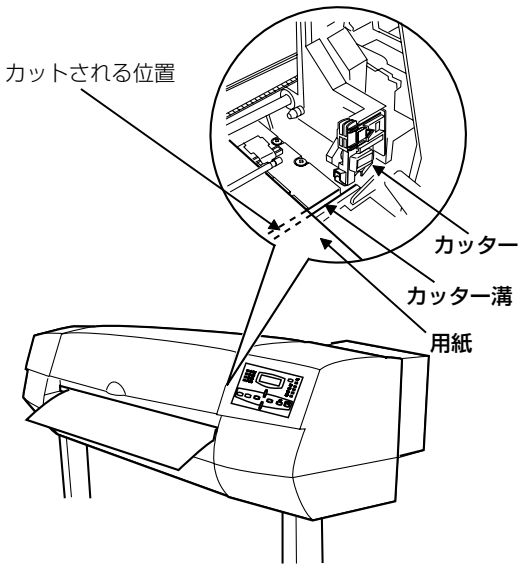
マニュアル操作でロール紙をカットします。ロール紙をセットしていない場合この操作を行うことはできません。ロール紙の先端が折れたり汚れたりしているときや、「オートカット　セッテイ」で「カットライン」や「カットシナイ」の設定にしているときなどで、必要に応じてカットしたい場合この操作を行い用紙をカットすることができます。

操作方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、“オフライン”状態にします。（プリント中は、**【オンライン】**キーを１回押すと“ポーズ”が表示され、このときプロッタはプリント動作を停止し、しばらくしてキャリッジがキャリッジステーションに戻ります。）

オフライン　　KCMY

②**【↑上または↓下方向】**キーを押し、カットしたい位置まで用紙を送ります。



③操作パネルから**【カット】**キーを押してください。
オンライン状態で選択した場合は、プロッタは用紙カット終了後にオンライン状態に戻ります。

⚠注意

●カッターが動作しているときは、ダストカバーを開けないでください。

メモ

●プリント中に強制カットを行ったときは、プリントを中止して用紙をカットします。

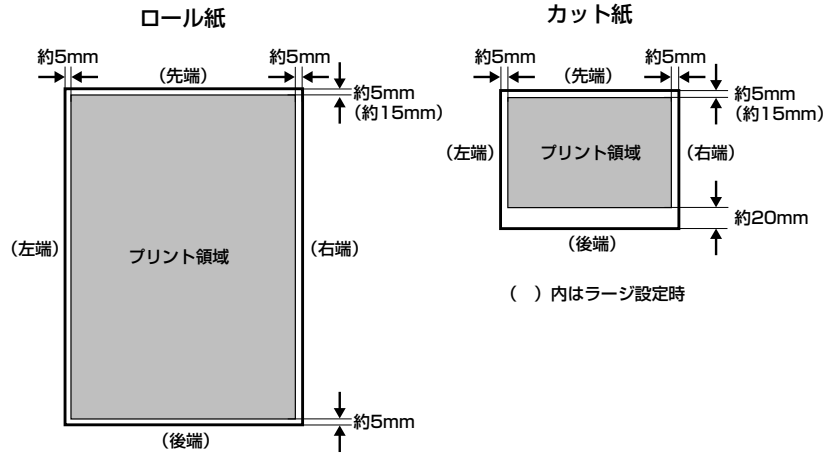
●カット品質を保持するため、カッター溝から用紙の先端までの長さが80mm以上になるように用紙を送ってからカットする場合があります。

第5章　一般メニュー設定

この章では、本機で設定できる各種の一般的に設定するメニュー設定について説明します。

5.1 マージン設定

この設定は、用紙の余白を設定する機能です。設定には、「ノーマル」と「ラージ」設定があり、「ノーマル」を選択した場合は、用紙の先端マージンが約5mmになります。また、「ラージ」を選択した場合は、用紙の先端マージンが約 15mm になり、プリントできる領域が狭くなります。インクにより用紙がカールしたりしわになるような場合、プリント品質を保持するためにマージン設定を「ラージ」にすると、よいプリント結果を得ることができます。左右方向のマージンは「ラージ」、「ノーマル」とも約 5mm です。



設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ヨウシ　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ヨウシ　セッテイ
　　ヨウシ　シュルイ　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ヨウシ　セッテイ
　　マージ゛ン　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
マージ゛ン
　　ノーマル*
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとマージン設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.2 コピー枚数の設定

この設定は、コピーする枚数を設定します。１～99 枚まで設定することができます。（初期値：1）

重要

カット紙を用いてコピーモードを使用する際は、下記の点に注意してご使用ください。

●セットする用紙は、印字するデータの大きさに対して、十分な有効作図範囲を確保してください。

本機は、用紙の有効作図範囲を自動認識するため、用紙の取り付け状況(斜行等)により、有効作図範囲が多少の伸縮をする恐れがあります。よって、有効作図範囲が確保されていない、あるいは余裕がないデータを出力する場合、用紙の取り付け方によっては、オフスケールを生じ、データの欠損が生じる可能性があります。すると、複数枚出力したデータの間でデータの欠損状況が異なり、同一の出力結果を得る事はできません。

●複数枚の同一縮尺の図面を出力したい場合は、オートスケールは使用しないでください。

上記注意事項と同じ理由から、出力データの縮尺が若干ではありますが変化する可能性があります。すると、複数枚出力したデータ間での縮尺が異なり、同一の出力結果を得る事はできません。

設定方法

①下記の表示になるまで【**オンライン**】キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで【**←左または→右方向**】キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ヨウシ　セッテイ　　▽
```

③【**↓下方向**】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ヨウシ　セッテイ
　　ヨウシ　シュルイ　　▽
```

④下記の表示になるまで【**←左または→右方向**】キーを押します。

```
ヨウシ　セッテイ
　　コピ゛ーマイスウ　　▽
```

⑤【↓**下方向**】キーを押し下記の画面を表示させます。

⑥【←**左または→右方向**】キーを押すとコピーマイスウ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ【**入力／実行**】キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑦【**オンライン**】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.3 カッター動作設定

この設定では、プリント終了時のカッターの動作の仕方を設定します。
カッター動作設定には以下の設定があります。

「オートカット」..... プリント終了後自動的にロール紙をカットします。

「カットライン」..... プリント終了後、ロール紙をカットせずカットラインを描きます。

「カットシナイ」..... プリント終了後、ロール紙をカットしないで次のプリント開始位置まで用紙を送ります。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。（プリント中は**【オンライン】**キーを１回押すと“ポーズ”が表示されもう１回押すとメニュー設定画面が表示されます。このときプロッタはプリント動作を停止し、しばらくしてキャリッジがキャリッジステーションに戻ります。）

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　オートカット　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
オートカット　セッテイ
　　カッター　ドﾞウサ　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
カッター　ドﾞウサ
　　オートカット＊
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すとカッター動作設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑥**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

メモ

プリント中に「オートカット」に切り替えた場合は、現在プリント中の次のデータからこの設定が有効になります。

5.4 乾燥時間設定

この設定では、(ロール紙モード使用時の) プリント終了後のインクの乾燥時間を設定します。乾燥時間設定には、以下の設定があります。

「オフ」..... プリント終了後のインクの乾燥時間を設定しない。プリント終了後すぐに次の動作が始まります。

「オート」..... 「印字品質」と「ヨウシ　シュルイ」の設定の組み合わせによりプリント終了後、自動的にインクの乾燥時間を設定します。

30秒～60分..... 30秒、1分、2分、5分、10分、20分、30分、40分、50分、60分のインク乾燥時間の設定ができます。

＜オート設定時の乾燥時間＞

	印字品質	
ヨウシ　シュルイ	**高速**	**標準、高品位、高密度**
フツウシ	0分	約30秒
コートシ	0分	0分
トレーシングペーパー	0分	約2分
フィルム	0分	約7分

インクが乾燥するまでの時間は、用紙の種類や本機を使用している環境によって多少変化します。
乾燥を途中で中止したいときは、「キャンセル」操作すると乾燥時間を中止します。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。（プリント中は**【オンライン】**キーを１回押すと“ポーズ”が表示されもう１回押すとメニュー設定画面が表示されます。このときプロッタはプリント動作を停止し、しばらくしてキャリッジがキャリッジステーションに戻ります。）

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　オートカット　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
オートカット　セッテイ
　　カッター　ドﾞウサ　　▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
オートカット　セッテイ
　　カンソウ　ジﾞカン　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
カンソウ　ジﾞカン
　　　　３０ビﾞョウ＊
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すと乾燥時間設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.5 ペン設定について

本機では、16本の仮想的なペンを用意しており、それぞれのペンについてペン幅、色、線の端部と結線部の処理を自由に設定することができます。この16本のペンの組み合わせをペンテーブルといい、このペンテーブルを３つまで設定することができます。また、このペン設定の内容は、設定リストをプリントして確認することができます。

ペン設定には以下の設定項目があり、この組み合わせにより自由に設定することができます。

- **ペンテーブルの選択**
- **ペンテーブルの変更**
  - ペン番号の変更
  - ペン幅の変更
  - 色の変更
  - つなぎの変更
- **ペンテーブルの初期化**

5.6 ペンテーブルの選択

ペンテーブルの選択では、設定されているペンテーブルを選択します。
選択できるペンテーブルは次の通りです。

「ソフトウェア」..... アプリケーションソフト側の設定に従います。

「テーブル１」..... ペンテーブル１に設定されているペン設定を使用します。

「テーブル２」..... ペンテーブル２に設定されているペン設定を使用します。

「テーブル３」..... ペンテーブル３に設定されているペン設定を使用します。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ﾍﾟﾝ　ｾｯﾃｲ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ﾍﾟﾝ　ｾｯﾃｲ
ﾍﾟﾝﾃｰﾌﾞﾙ　ﾉ　ｾﾝﾀｸ▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ﾍﾟﾝﾃｰﾌﾞﾙ　ﾉ　ｾﾝﾀｸ
　　ｿﾌﾄｳｪｱ*
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すとペンテーブル設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑥**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.7 ペンテーブルの設定値の変更

ペンテーブルの設定値の変更では、各ペンテーブルごとのペン番号にペン幅、色、つなぎの設定の変更を行うことができます。

ペン番号

0～15のペン番号が選択できます。(HP-GLのエミュレーションを処理している場合、０～８番ペンまでの設定の選択になります。)

ペン幅

選択したペン番号のペン幅を設定します。設定できるペン幅は1～31です。ペン幅の（太さ）は31種類（1～31ドット）あり、設定値はドットの数で表示されます。
各ドットとペン幅（太さ）の関係は下表のようになっています。

ドット数	ペン幅 およその太さ	ドット数	ペン幅 およその太さ
1	0.07mm/0.003インチ	17	1.19mm/0.047インチ
2	0.14mm/0.005インチ	18	1.26mm/0.050インチ
3	0.21mm/0.008インチ	19	1.33mm/0.052インチ
4	0.28mm/0.011インチ	20	1.40mm/0.055インチ
5	0.35mm/0.014インチ	21	1.47mm/0.058インチ
6	0.42mm/0.017インチ	22	1.54mm/0.061インチ
7	0.49mm/0.019インチ	23	1.61mm/0.063インチ
8	0.56mm/0.022インチ	24	1.68mm/0.066インチ
9	0.63mm/0.025インチ	25	1.75mm/0.069インチ
10	0.70mm/0.028インチ	26	1.82mm/0.072インチ
11	0.77mm/0.031インチ	27	1.89mm/0.074インチ
12	0.84mm/0.033インチ	28	1.96mm/0.077インチ
13	0.91mm/0.036インチ	29	2.03mm/0.080インチ
14	0.98mm/0.039インチ	30	2.10mm/0.083インチ
15	1.05mm/0.042インチ	31	2.17mm/0.085インチ
16	1.12mm/0.044インチ		

表の数値は理論値です。インクのにじみ等により、実際に使用する用紙によってペン幅は変化します。

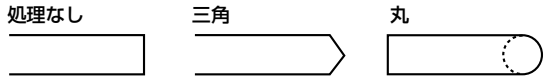
ペン色

選択したペン番号のペン色を設定します。設定できる範囲は０番～255番です。(カラーパレットは、本機の内部プリントの、カラーパレットをプリントしてください。)

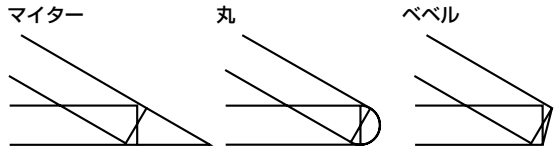
つなぎ

選択したペン番号のつなぎ方を設定します。
線の端部と結線部の処理の仕方は次のとおりです。

＜線の端部＞



＜結線部＞



つなぎは線の端部と結線部の組み合わせ（９種類）で設定します。組み合わせに対する設定値は次のとおりです。

設定値	線の端部	結線部
1	処理なし	マイター
2	三角	マイター
3	丸	マイター
4	処理なし	丸
5	三角	丸
6	丸	丸
7	処理なし	ベベル
8	三角	ベベル
9	丸	ベベル

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ﾍﾟン　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ﾍﾟン　セッテイ
ﾍﾟンテーブﾞル　ノ　センタク▽
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ﾍﾟン　セッテイ
ﾍﾟンテーブﾞル　ノ　ヘンコウ▽
```

⑤【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ﾍﾟﾝﾃｰﾌﾞﾙ ﾉ ﾍﾝｺｳ
    ﾃｰﾌﾞﾙ 1      ▽
```

⑥【←左または→右方向】キーを押すごとにペンテーブル１～３が選択できます。変更したいペンテーブルの表示の時に【↓下方向】キーを押し下記の表示にします。

```
ﾍﾟﾝ:[  1]ﾊﾊﾞ:   1
ｲﾛ:     1 ﾂﾅｷﾞ:  6
```

⑦下記の表示の時に【←左または→右方向】キーを押すと、ペン番号が変更できます。変更したペン番号でよければ【入力／実行】キーを押します。ペン幅の項目に［ ］が移動します。

```
ﾍﾟﾝ:[  1]ﾊﾊﾞ:   1
ｲﾛ:     1 ﾂﾅｷﾞ:  6
```

⑧下記の表示の時に【←左または→右方向】キーを押すと、ペン幅が変更できます。変更したペン幅でよければ【入力／実行】キーを押します。ペン色の項目に［ ］が移動します。

```
ﾍﾟﾝ:    1 ﾊﾊﾞ:[  1]
ｲﾛ:     1 ﾂﾅｷﾞ:  6
```

⑨下記の表示の時に【←左または→右方向】キーを押すと、ペン色が変更できます。変更したペン色でよければ【入力／実行】キーを押します。つなぎの項目に［ ］が移動します。

```
ﾍﾟﾝ:    1 ﾊﾊﾞ:   1
ｲﾛ:[    1]ﾂﾅｷﾞ:  6
```

⑩下記の表示の時に【←左または→右方向】キーを押すと、つなぎが変更できます。変更したつなぎでよければ【入力／実行】キーを押します。ペン番号の項目に［ ］が移動します。

```
ﾍﾟﾝ:    1 ﾊﾊﾞ:   1
ｲﾛ:     1 ﾂﾅｷﾞ:[6]
```

⑪続けて他のペンの設定を変更する場合は、⑦～⑩の手順を繰り返します。

⑫設定を終了する場合は、【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.8 ペンテーブルの設定値の初期化

この機能は、ペンテーブルの各設定値を初期化する機能です。
ペンテーブルの初期化は、「ペンセッテイ」メニューの「ペンテーブル　ノセンタク」メニューを、「ソフトウェア」に設定している場合と「テーブル１～３」に設定している場合で異なり、次のように設定されています。
＜ソフトウェア設定＞

エミュレーション	ペン	ハバ	イロ	ツナギ
HP-GL/2エミュレーション動作時の初期値	0	5	0	1
	1	5	1	1
	2	5	2	1
	3	5	3	1
	4	5	4	1
	5	5	5	1
	6	5	6	1
	7	5	7	1
	8	5	8	1
	9	5	9	1
	10	5	10	1
	11	5	11	1
	12	5	12	1
	13	5	13	1
	14	5	14	1
	15	5	15	1
HP-GLエミュレーション動作時の初期値	0	5	0	6
	1	5	1	6
	2	5	2	6
	3	5	3	6
	4	5	4	6
	5	5	5	6
	6	5	6	6
	7	5	7	6

HP-GLのエミュレーションを処理している場合、コンピュータから送信されたデータで８番ペン以降のペンが指定された場合、上記の１番～７番ペンまでの設定が順に割り当てられます。
GP-GLのエミュレーションを処理している場合、「テーブル 1」の設定がそのまま有効になります。

<ペンテーブル１～３設定>

ペン	ハバ	イロ	ツナギ
0	3	0	6
1	1	1	6
2	2	2	6
3	3	3	6
4	4	4	6
5	5	5	6
6	6	6	6
7	7	7	6
8	8	8	6
9	9	9	6
10	10	10	6
11	11	11	6
12	12	12	6
13	13	13	6
14	14	14	6
15	15	15	6

コンピュータから送信されたデータで16番ペン以降のペンが指定された場合、上記の１番～15番ペンまでの設定が順に割り当てられます。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ペ゛ン　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ペ゛ン　セッテイ
ペ゛ンテーブ゛ル　ノ　センタク▽
```

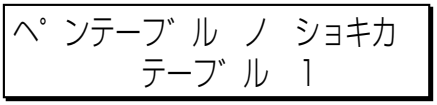
④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ペ゛ン　セッテイ
ペ゛ンテーブ゛ル　ノ　ショキカ▽
```

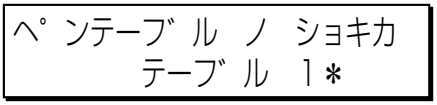
⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ペ゛ンテーブ゛ル　ノ　ショキカ
　　テーブ゛ル　1
```

⑥【←左または→右方向】キーを押すごとにペンテーブル１～３の各テーブルとすべてのテーブルの選択できます。初期化したいペンテーブルを表示させます。



⑦【入力／実行】キーを押します。テーブルの横に＊印が表示しペンテーブルを初期化します。



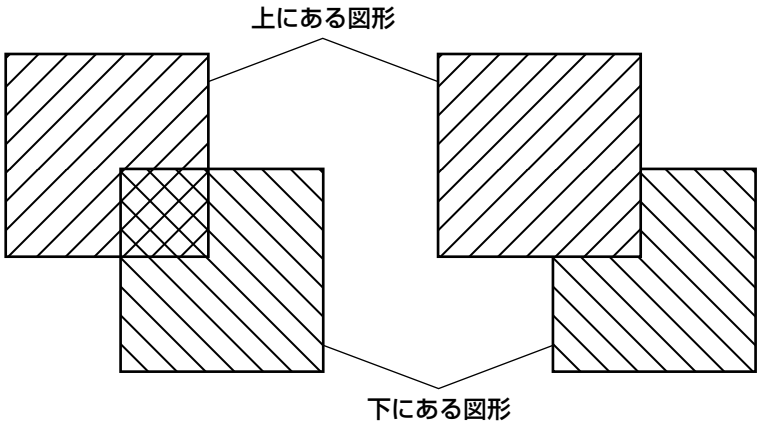
⑧設定を終了する場合は、【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.9 重ね合わせの設定

この機能は、図形が重なったときの色の処理方法を設定します。

オーバーレイ ..... 図形が重なったときに後から重ねた色でプリントします。

マージ ..... 図形が重なったときに、前の色と後から重ねた色を混ぜ合わせてプリントします。



設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ライン　ノ　セッテイ　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ライン　ノ　セッテイ
　ライン　ノ　カサネアワセ　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ライン　ノ　カサネアワセ
　　オーバ゛ーレイ＊
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すごとに「オーバーレイ」、「マージ」が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。
⑥設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.10 シェーディング設定

シェーディングの設定は、カラーデータをグレースケールでプリントするときの線データの色の処理方法を設定します。

ハイ ..... 「カラー／モノクロ　キリカエ」メニューで「モノクロ」に設定しているとき、受信したカラーデータを各色に対応したグレースケールでプリントします。

イイエ ..... 「カラー／モノクロ　キリカエ」メニューで「モノクロ」に設定しているとき、受信したカラーデータ内にある線データを単色のブラックに置き換えてプリントします。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ライン　ノ　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ライン　ノ　セッテイ
　ライン　ノ　カサネアワセ　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ライン　ノ　セッテイ
 ライン　シェーﾃﾞｨﾝｸﾞ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ライン　シェーﾃﾞｨﾝｸﾞ
　　　　ハイ＊
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとに「ハイ」、「イイエ」が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、**【入力／実行】**キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑦設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.11 オートレイアウト設定

オートレイアウト設定では、図面のレイアウト方法を設定します。また、この設定は用紙がロール紙の場合に設定できます。

重要

●ラスタデータ、またはラスタ、ベクタデータ混在データを出力する場合は、必ずオートレイアウト設定をオフにしてください。

オフ	図面のオートレイアウト（ネスティング、ヨウシセーブ、テイケイ　ハイチ）を行いません。「スケール」、「カイテン」、「Ｙミラー」の設定を反映してプリントします。
ネスティング	用紙の送り量が少なくなるように、図面に自動回転をかけ複数の図面を横並びに配置しプリントします。データを受信し続ける時間は、「ネスティングタイマー」メニューの設定に従います。ただし、タイマーカウント中でも、横並びの配置が終了した時点でプリントを開始します。
ヨウシセーブ	用紙の送り量が少なくなるように、図面に自動回転をかけ、最小限のマージンをとって配置しプリントします。
テイケイ　ハイチ	用紙の送り量が少なくなるように、図面に自動回転をかけ、図面が入る最小の規格サイズを用いて図面を配置しプリントします。
テイケイ　ハイチ（ラージ）	処理内容は、上記「テイケイ ハイチ」設定とほぼ同様ですが、この設定を行い、用紙幅が定形紙より大きいロール紙を使用する事により、描画可能範囲を定形サイズに一致させる事が出来ます。（カットされるサイズは、任意の余白が付加され定形サイズより大きくなります）

重要

オートレイアウト機能は、出力するデータ内に図面サイズ指定コマンド(PS)が存在すると、そのコマンドを元に図面サイズを判定し、オートレイアウトを行います。よって、このコマンドが存在するか否かによって出力結果が大きく変わりますので、次の点に注意してご使用ください。

●PSコマンドを含む作図データでオートレイアウト機能を使用する場合、オートレイアウト原点の設定内容と若干のズレが生じる事があります。

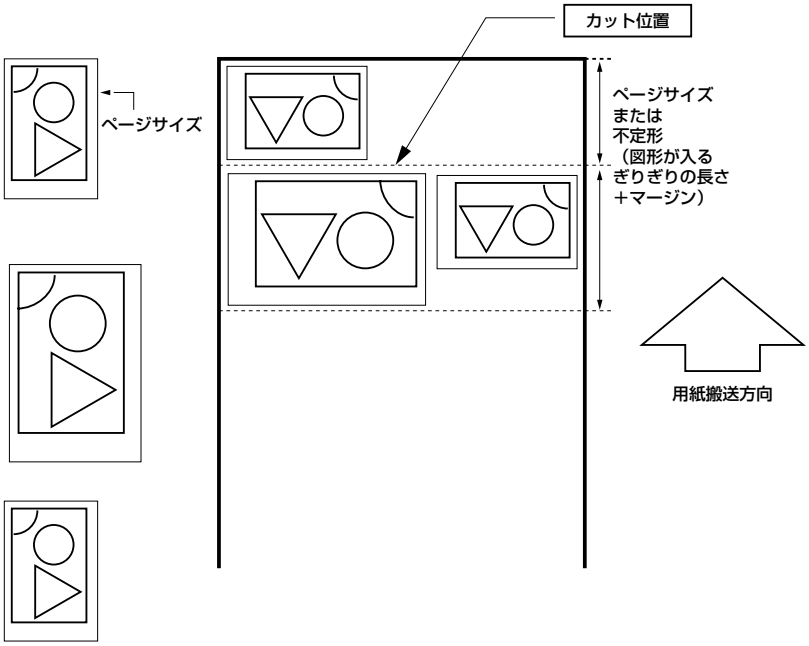
出力するデータ内にPS コマンド(図面サイズ指定コマンド)が存在する場合、本機はそのPS コマンドの指定を基に図面のサイズを判定します。よって、オートレイアウト原点もそのPS コマンドの指定に依存します。つまり、このPS コマンドの指定と図面データ間にズレがある場合（図面データの中央とPS コマンドの中央、または、図面データの左下とPS コマンドの左下が同一点ではない場合)、オートレイアウト原点で設定した内容と出力結果との間にズレが生じます。このような場合は、セパレータの設定でPS を選択して下さい。すると、データのサイズ判定はPSの指定に依存せず、図面データの大きさに依存しますので、オートレイアウト原点の設定内容に準じた結果を得る事ができます。ただし、PS コマンド基準のサイズ判定より、図面サイズ基準のサイズ判定の方が時間がかかるため、多少出力されるまでの時間が伸びる可能性があります。

●ラスタデータ及びラスタデータを含むデータは、オートレイアウト機能が使用できません。この場合は、「カイテン ﾃﾞ ｷマセン」のエラーメッセージが表示されます。

＜ネスティングのプリント例＞

コンピュータ上で設定した用紙サイズの設定に従って、図面を横並びに配置します。ネスティングでは、データに自動回転がかかるため「カイテン」メニューの設定は反映されません。「スケール」、「Ｙミラー」の設定は、反映されます。また、コンピュータ上でプリントする画像の解像度の設定や、プリントモードの設定が異なるデータは、互いに隣に配置されません。

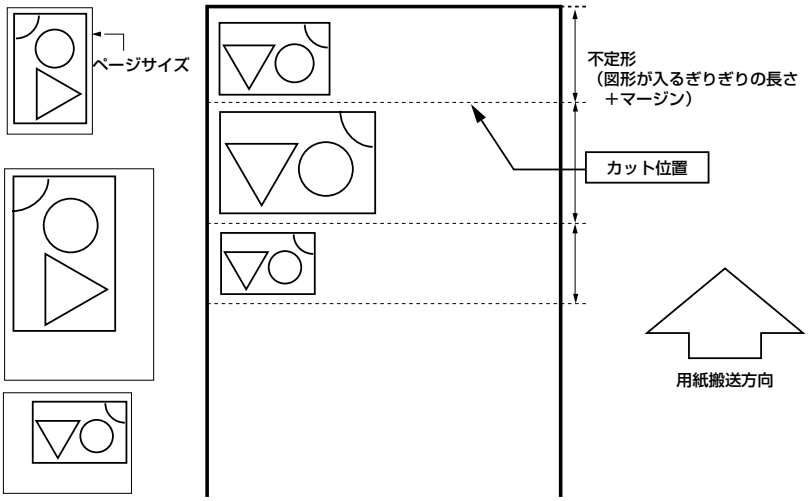
「オート　レイアウト」メニューを「ネスティング」、「ヨウシ　セーブ」、「テイケイ　ハイチ」に設定してプリントする場合、データが大きくなったり複雑になったりして正しくプリントされないことがあります。このようなときは、メモリの増設をおすすめします。



＜ヨウシセーブのプリント例＞

コンピュータ上で設定した用紙関連の設定は無効になります。「スケール」、「Ｙミラー」の設定は反映されますが、データに自動回転がかかるため「カイテン」メニューの設定は反映されません。

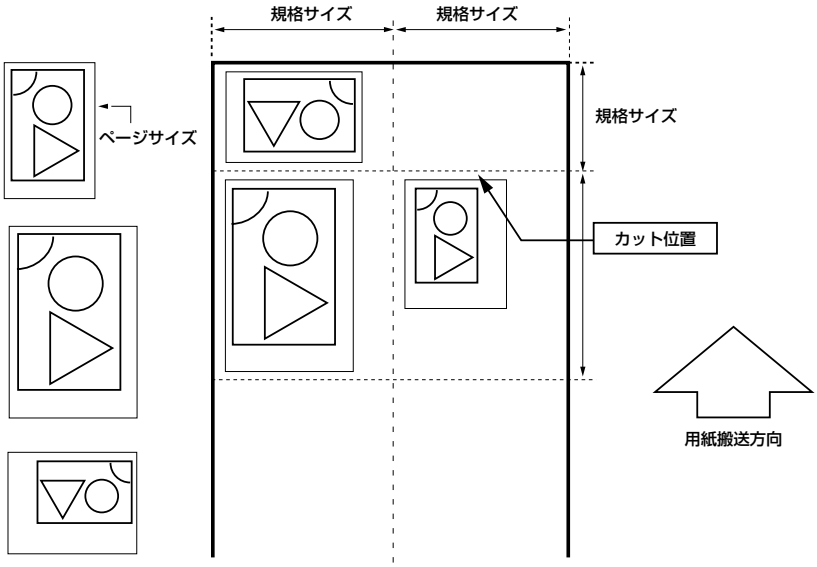
「オート　レイアウト」メニューを「ネスティング」、「ヨウシ　セーブ」、「テイケイ　ハイチ」に設定してプリントする場合、データが大きくなったり複雑になったりして正しくプリントされないことがあります。このようなときは、メモリの増設をおすすめします。



＜テイケイハイチのプリント例＞

図面が入る最小の規格サイズを用いて図面を配置します。規格サイズの用紙系列は、「レイアウトサイズ」メニューで設定している用紙系列に従い、図面はオートレイアウト原点の設定に従って配置されます。「スケール」、「Ｙミラー」の設定は反映されますが、データに自動回転がかかるため「カイテン」メニューの設定は反映されません。

「オート　レイアウト」メニューを「ネスティング」、「ヨウシ　セーブ」、「テイケイ　ハイチ」に設定してプリントする場合、データが大きくなったり複雑になったりして正しくプリントされないことがあります。このようなときは、メモリの増設をおすすめします。

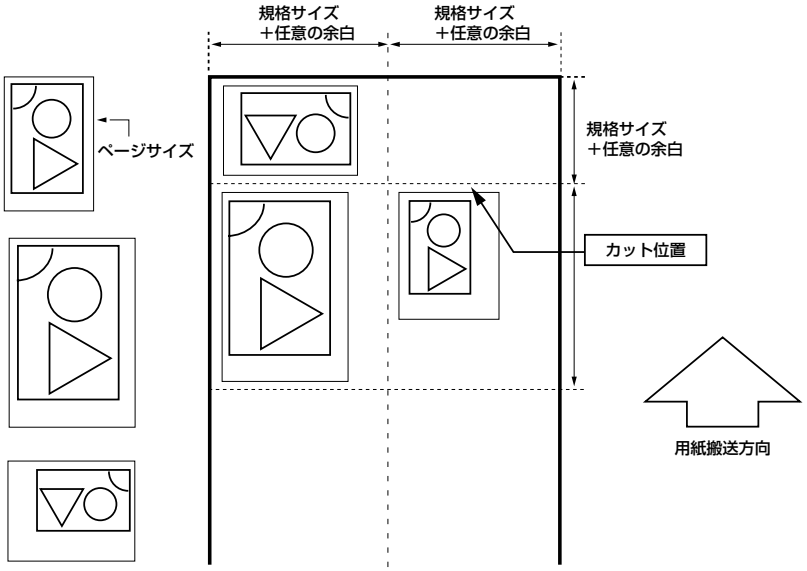


＜テイケイハイチ(ラージ)のプリント例＞

前述の「テイケイ　ハイチ」とほぼ同じで、図面が入る最小の規格サイズを用いて図面を配置します。規格サイズの用紙系列は、「レイアウトサイズ」メニューで設定している用紙系列に従い、図面はオートレイアウト原点の設定に従って配置されます。「スケール」、「Ｙミラー」の設定は反映されますが、データに自動回転がかかるため「カイテン」メニューの設定は反映されません。

カットされるサイズは、任意の余白が付加され、定形サイズより大きくなります。

「オート　レイアウト」メニューを「ネスティング」、「ヨウシ　セーブ」、「テイケイ　ハイチ」に設定してプリントする場合、データが大きくなったり複雑になったりして正しくプリントされないことがあります。このようなときは、メモリの増設をおすすめします。



設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ズ゛ケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（この表示はロール紙モードの時のみ表示されます。）

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（この表示はロール紙モードの時のみ表示されます。）

```
オート　レイアウト
　　　　オフ*
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すごとに各レイアウトの設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑥設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.12 オートレイアウト原点設定

この設定は、「オートレイアウト」メニューで「テイケイハイチ」及び「テイケイハイチ（ラージ）」を選択している時の原点位置を設定します。設定できる原点位置は、ヨウシサイズ、MAX-MIN左下、MAX-MIN中央です。また、この設定は用紙がロール紙の場合に設定できます。

ヨウシサイズ ..... コンピュータから出力されるコマンドの座標値と用紙の座標値が一致します。

MAX-MIN 左下 ..... 図面データの最小値を用紙の左下に配置します。

MAX-MIN 中央 ..... 図面の最大値／最小値に合わせて図面を用紙中央に配置します。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ｽﾞｹｲ　ﾉ　ﾊｲﾁ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（この表示はロール紙モードの時のみ表示されます。）

```
ｽﾞｹｲ　ﾉ　ﾊｲﾁ
　　ｵｰﾄ　ﾚｲｱｳﾄ　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｽﾞｹｲ　ﾉ　ﾊｲﾁ
 ｵｰﾄﾚｲｱｳﾄ　ｹﾞﾝﾃﾝ▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｵｰﾄﾚｲｱｳﾄ　ｹﾞﾝﾃﾝ
　　ﾖｳｼｻｲｽﾞ　＊
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すごとにオートレイアウト原点の設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑥設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.13 スケール設定

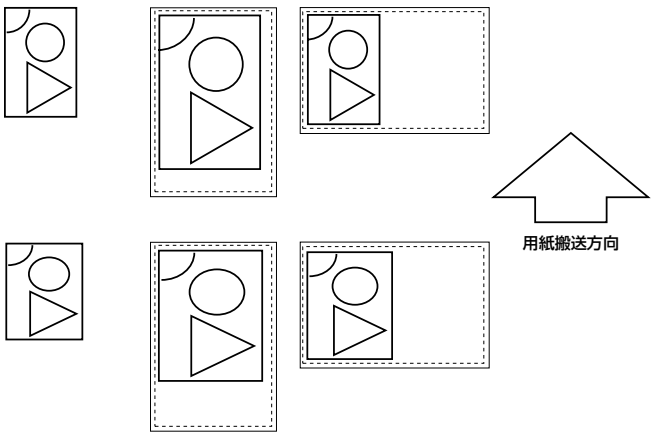
スケール設定では、図面の縮小／拡大の設定をします。

オート ..... セットしているカット紙の大きさに合わせて、図面の大きさを自動的に拡大／縮小してプリントします。この設定は、カット紙をセットしている時のみ設定できます。

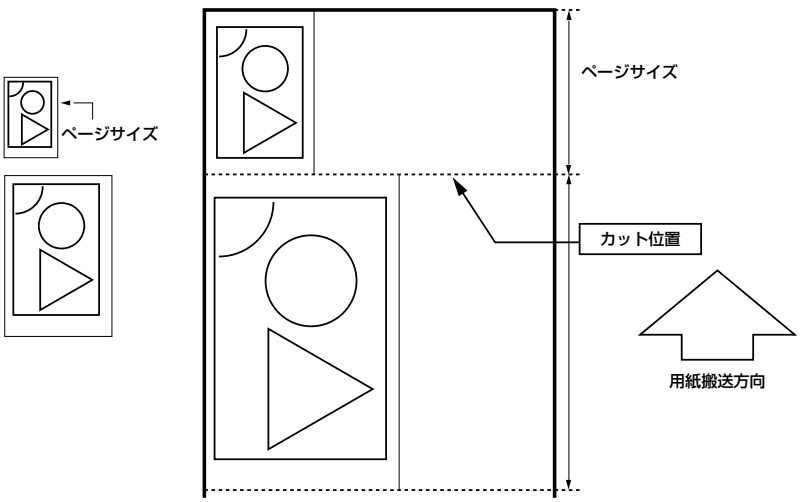
1%～999% ..... 図面の拡大／縮小するときの倍率を設定します。

＜スケールのプリント例＞

・オート



・1～999%



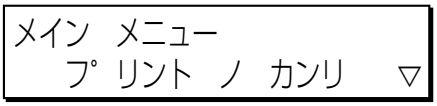
「オートレイアウト」メニューで「オフ」以外に設定している場合は、倍率をかけた図面にレイアウト機能を反映してプリントします。

重要

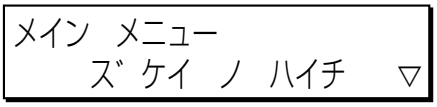
●ラスタデータを縮小した場合、データ欠損を起こす場合があります。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

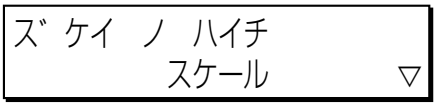


②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

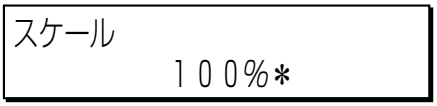


③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。



⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。



⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとにスケールの設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。（カット紙をセットしている場合のみ「オート」が表示されます。

【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、**【入力／実行】**キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

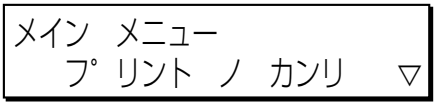
⑦設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.14 倍率印字設定

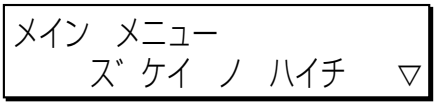
この設定は、「スケール」メニューで「オート」を選択しているときの自動的に拡大／縮小された倍率を図面に印字する設定を行います。また、この設定は用紙がカット紙の場合に設定できます。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。



②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。



③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（この表示はロール紙モードの時のみ表示されます。）

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すごとに倍率印字の設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、**【入力／実行】**キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑥設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.15 カイテン設定

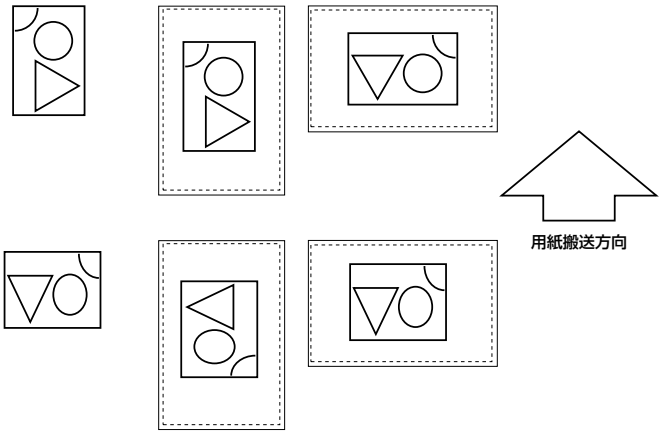
カイテン設定では、図面の回転の設定をします。ラスタデータ及び、ベクタ、ラスタ混在データでは、この処理は行えません。

オート ..... セットしているカット紙の向きに合わせて、図面を自動的に回転してプリントします。回転方向は時計回りです。この設定は、カット紙をセットしている時のみ設定できます。

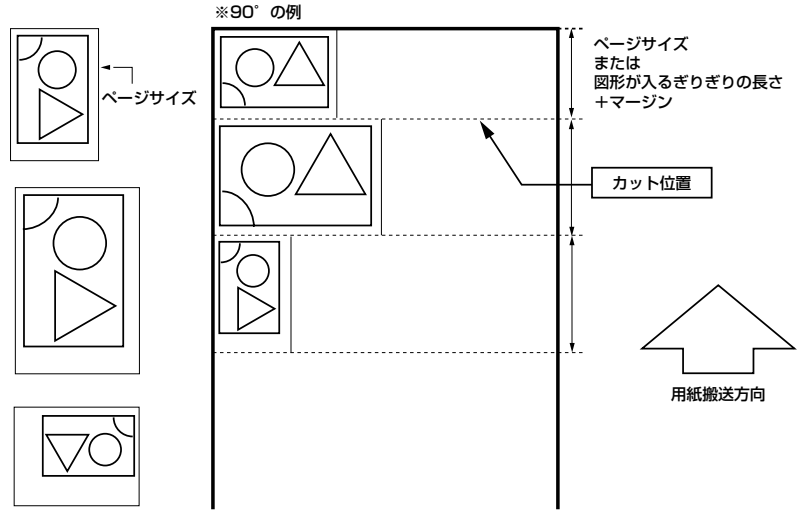
0°、90°、180°、270° ..... 図面を回転させるときの角度を設定します。「オートレイアウト」メニューを「オフ」以外に設定しているときは、回転角度の設定は無効になります。

＜カイテンのプリント例＞

・オート



・90°



設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ズ゛ケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　カイテン　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
カイテン
　　0゜＊
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとにカイテンの設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑦設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

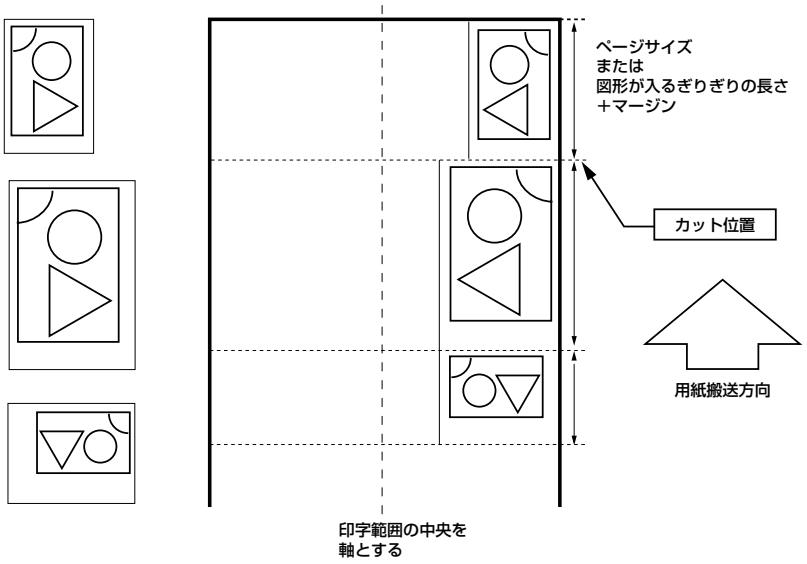
5.16 Ｙミラー設定

Ｙミラー設定では、図面の左右反転の設定をします。

オフ ..... 図面を左右反転しないでプリントします。

オン ..... 図面を左右反転してプリントします。

＜Ｙミラーのプリント例＞



設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ズ゛ケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　　Ｙミラー　　▽
```

⑤【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

⑥【←左または→右方向】キーを押すごとにＹミラーの設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。

⑦【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑧設定を終了する場合は、【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.17 距離補正設定

この設定は、ベクタデータの図面に対して距離の補正を行う機能です。ラスタデータに対しては距離補正を行うことはできません。使用する用紙の種類によって線分の長さが異なる場合があります。この場合、この機能を使い補正を行います。設定できる補正値は、-0.99%～+0.99%の範囲で、0.01%ごとに設定できます。例えば補正値を0.05%に設定すると1m（1000mm）の線分が 1000 × 0.05% = 0.5mm と増えて変化し 1000.5mm になります。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ズ゛ケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　キョリホセイ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
キョリホセイ
X=［0.00］Y=　0.00%
```

（紙送り方向をX、紙幅方向をYとします）

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとに［　］内のX軸の距離補正の設定を変更することができます。次にY軸の距離補正の設定を変更したい場合は、**【入力／実行】**キーを押すと、Y軸の距離補正の設定に［　］が移動します。

```
キョリホセイ
X=　0.00%Y=［0.00］
```

⑦**【←左または→右方向】**キーを押すごとに［　］内のY軸の距離補正の設定を変更することができます。**【入力／実行】**キーを押すと、X軸の距離補正の設定に［　］が移動します。

⑧設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.18 レイアウトサイズ設定

レイアウトサイズ設定では、図面をレイアウトするときの基準となる用紙系列を設定します。「オートレイアウト」メニューで「ネスティング」または「テイケイ　ハイチ」を選択しているとき、ここで設定した用紙系列を用いて、図面を配置します。また、ユーザーサイズを選択した場合は、「ユーザーサイズ」メニューで設定している用紙サイズを用いて図面をレイアウトします。
設定できる系列は、ISO-A、JIS- B、ANSI　ARCH、ANSI、ユーザーサイズです。また、この設定はロール紙をセットしている時のみ設定できます。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ｽﾞケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

```
ｽﾞケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｽﾞケイ　ノ　ハイチ
　　レイアウト　サイｽﾞ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
レイアウト　サイｽﾞ
　　　ＩＳＯ－Ａ＊
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとにレイアウトサイズの設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑦設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.19 ユーザーサイズ設定

ユーザーサイズ設定では、図面を特殊サイズの用紙長さにプリントしたいときの、用紙長さと用紙幅を設定します。
設定できる長さは 8cm ～ 1800cm まで 1mm 単位で設定できます。
また、幅は JC9000/JC900NET では 8cm～91.4cm まで、JC9100/JC9100NET では 8cm～62.7cm まで 1mm 単位で設定できます。また、この設定はロール紙をセットしている時のみ設定できます。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ｽﾞケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

```
ｽﾞケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｽﾞケイ　ノ　ハイチ
　　ユーザ゛ーサイズ゛　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ナガ゛サ=［　118.9］cm
ハバ゛=　　84.1　cm
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとに長さの設定表示を変更できます。設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。次に幅の表示に［　］が移動し、**【←左または→右方向】**キーを押すごとに幅の設定表示を変更できます。設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。

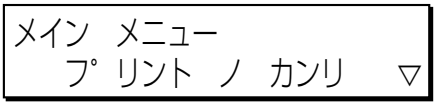
⑦設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.20 ネスティングタイマー設定

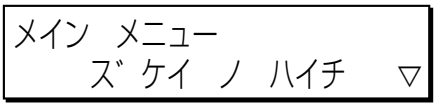
この設定は、「オートレイアウト」メニューで、「ネスティング」、及び「テイケイハイチ」、「テイケイハイチ（ラージ）」を選択しているときの横に並べるデータの受信待ち時間の設定です。設定した時間内にネスティングされるデータが受信されないと、プリントを開始します。また、ラスタデータ及び、ベクタ、ラスタ混在データでは、この処理は行えません。設定できる時間は、30秒、1分、2分、5分、10分、30分、60分です。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。



②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。



③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとにネスティングタイマーの設定が表示されます。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑦設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.21 オフセット設定

この設定は、座標原点を移動するときに設定します。設定範囲はＸ軸、Ｙ軸ともに -999 ～ +999 まで 1mm 単位で設定できます。

重要

●スケール設定をオートにした場合、またはオートレイアウト設定をオフ以外にした場合は、無効になります。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ｽﾞケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

```
ｽﾞケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｽﾞケイ　ノ　ハイチ
　　　オフセット　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
オフセット
X=［　　0］Y=　　0
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すごとに［　］内のＸ軸のオフセットの設定を変更することができます。次にＹ軸のオフセットの設定を変更したい場合は、**【入力／実行】**キーを押すと、Ｙ軸のオフセットの設定に［　］が移動します。

```
オフセット
X=　　0　　Y=［　　0］
```

⑦**【←左または→右方向】**キーを押すごとに［　］内のＹ軸のオフセットの設定を変更することができます。**【入力／実行】**キーを押すと、Ｘ軸のオフセットの設定に［　］が移動します。

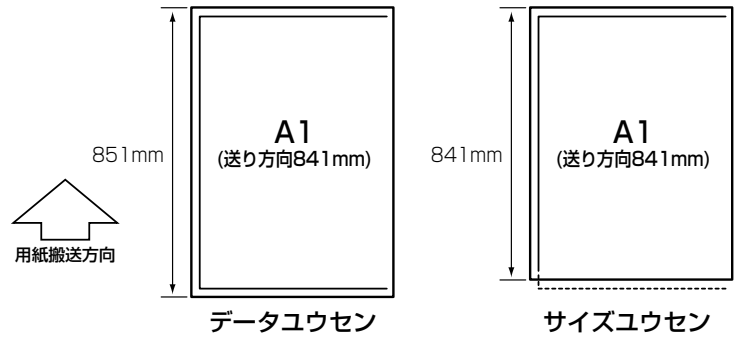
⑧設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

5.22 プリント領域切り替えの設定

この設定は、ロール紙を使用した場合の用紙搬送方向のプリント可能領域の大きさを切り替えます。
ご使用のCADシステムによってはロール紙でデータを出力した場合、ドライバソフトで指定した長さよりも出力の長さが長くなる場合があります。(例えば、ドライバでJIS A1の縦置きに指定しても、出力の長さが841mmではなく851mmになる場合等です。)
出力の用紙搬送方向のプリント領域を、プリント可能領域（マージンを除いたサイズ）か、用紙のサイズ（JIS系列等の規格で定められたサイズ）で出力するかを選択します。

データユウセン ..... データを優先したプリント領域に設定します。出力の長さがドライバソフトの指定通りになるよりも、紙送り方向のデータがすべて出力された方が良い場合に選択します。出力の長さは、CAD側で指定した値にマージンを加算した長さになります。

サイズユウセン ..... サイズを優先したプリント領域に設定します。紙送り方向のデータがすべて出力されるよりも、出力の長さをドライバの指定通りにしたい場合に選択します。ただし、データの後端はマージン分、切れる可能性があります。



重要

●この機能は、オートレイアウト設定をオフにした場合にのみ有効になります。ネスティング、カイテンなどのレイアウト機能を有効にした場合は、無効になります。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ズ゛ケイ　ノ　ハイチ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。（カット紙がセットされている場合はスケールの表示になります。）

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
　　オート　レイアウト　　▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ズ゛ケイ　ノ　ハイチ
プ゛リントリョウイキキリカエ　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
プ゛リントリョウイキキリカエ
　　デ゛ータユウセン*
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとプリント領域切り替え設定の表示が変わります。設定値の横に＊印が表示されているのが現在の設定状態です。
【←左または→右方向】キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑦設定を終了する場合は、**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

第6章 システムメニュー設定

この章では、システムに関係する特殊なメニュー設定について説明します。

6.1 表示言語設定

この設定は、メッセージディスプレイに表示する言語を設定します。
設定できる言語は、カタカナ、English(mm)です。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ｼｽﾃﾑ　ｾｯﾃｲ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ｼｽﾃﾑ　ｾｯﾃｲ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）
　　ｶﾀｶﾅ＊
```

⑤**【←左または→右方向】**キーを押すと言語設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

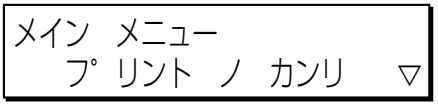
⑥**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.2 自動調整モードの設定

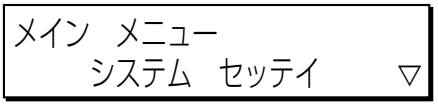
この設定は、プリントヘッドを交換した後に、自動的にヘッドの位置調整を行うか行わないかの設定を行います。オンに設定するとヘッド交換後自動的にヘッド位置調整を開始します。オフの場合は自動的に調整を行いません。

設定方法

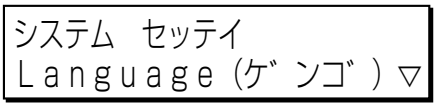
①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。



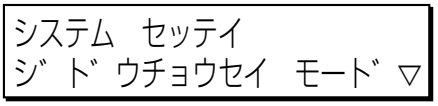
②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。



③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。



④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。



⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すと「オン」、「オフ」設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.3 紙送り調整の設定

この設定は、プリント中の紙送り調整の設定を行います。紙送り調整には、以下の設定があります。

バンドアワセメユウセン ..... プリント中の用紙送りの正確さよりもプリントする画像のムラを少なくすることを優先したい場合に設定します。用紙に占めるベタの割合が多い画像をプリントするときに、ムラやスジを少なくすることを重視したい場合に設定します。

ナガサユウセン ..... プリント中の用紙送りの正確さを、優先させるときに設定します。線画の図面などのプリントで距離や長さの正確さを重視したいときに選択します。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　カミオクリ　チョウセイ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
カミオクリ　チョウセイ
　ﾊﾞﾝﾄﾞアワセメ　ユウセン＊
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとカミオクリチョウセイ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.4 スクリーニングの設定

この設定は、中間調の色のスクリーニング（ドットの置き方）の設定を行います。それぞれの設定の特長をよく理解し、ご使用の環境下において、より良いディザパターンを選択してください。スクリーニングの設定には以下の設定があります。

●ディザリングの設定
●サイセンデイザの設定

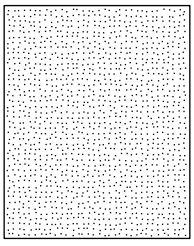
6.4-1　ディザリングの設定

この設定は、中間調の色のスクリーニング（ドットの置き方）の設定を行います。ご使用の環境下において、より良いディザパターンを選択してください。スクリーニングの設定には以下の設定があります。

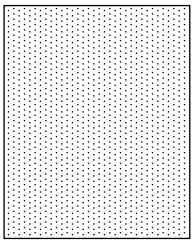
ディザ 1 ..... 塗りつぶされた部分の濃度の均一を極力保ちながら、出来るだけドットを不規則に置いていきます。こちらを選択すると、中間調の色の細線を使用する場合、線の印字される部分によっては、線分の欠損や色合いや太さが変わって見えたりするのを防ぐことができます。ただし、中間調で塗りつぶされた部分の濃度に、印字場所等による色ムラが若干生じます。

ディザ 2 ..... 塗りつぶされた部分の濃度が均一になるようにドットを規則的に置いていきます。こちらを選択すると、中間調で塗りつぶされた部分の濃度が均一に表現されるため、印字場所等による色ムラが生じません。ただし、中間調の色の細線を使用する場合、線の印字される部分によっては、線分の欠損や色合いや太さが変わって見えたりする可能性があります。

＜例 . 中間調の色で塗りつぶした場合＞

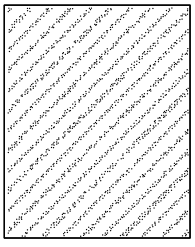


ディザ1

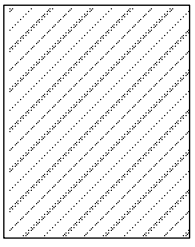


ディザ2

＜例 . 中間調の色で線分を引いた場合＞



ディザ1



ディザ2

重要

●この機能は、ベクタデータのみに有効な機能で、ラスタデータには使用できません。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　　スクリーニングﾞ▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
スクリーニングﾞ
　　ﾃﾞｨｻﾞリングﾞ　　▽
```

⑥**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ﾃﾞｨｻﾞリングﾞ
　　ﾃﾞｨｻﾞ１＊
```

⑦**【←左または→右方向】**キーを押すとディザリング設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑧**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.4-2　サイセンディザの設定

この設定は、中間色の細線におけるドットの置き方を規則的に配列し、点線近似するための機能です。サイセンディザの設定には以下の設定があります。

注意

●ここでの細線とは、カラー／モノクロともに高速／標準／高品位を選択の際の１・２ドット線、または、モノクロ高密度を選択の際の１～５ドット線に相当する約０．２mmよりも細い線を表します。

オフ ..... 細線のスクリーニングが『ディザリングの設定』で設定されているドットの配列に依存します。
オンの状態と比較すると、色の分解能が多くなります。よって、ハッチング塗り潰しなどで、多数の塗り潰し表現を行い有効です。また、間隔の狭いハッチング塗り潰しコマンドによって面で塗り潰し表現を行う場合に、普通に面で塗り潰したのと同様の結果が得られます。
ただし、ディザ１が選択されている場合は、中間色の細線の欠損や色合いや太さが変わって見えたりするのを防ぐ事が出来ますが、ドットが不規則に配置されます。
ディザ２が選択されている場合は、中間色の細線を印字する際に欠損が生じたり、色合いや太さが変わって見えたりする事があります。

オン ..... 細線の濃度がより均一になるようにドットを規則的に置いていきます。
中間調で塗り潰された細線の濃度が均一に表現されるため、印字場所等による色ムラが生じません。
ただし、オフの状態と比較すると色の分解能が少なくなります。よって、ハッチング塗り潰しなどで多数の塗り潰し表現を行いたい場合に、濃度差が生じなくなる可能性があります。

重要

●この機能は、ベクタデータのみに有効な機能で、ラスタデータには使用できません。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　　スクリーニング゛　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
スクリーニング゛
　　ﾃﾞｨｻﾞ ﾘﾝｸﾞ゛　　▽
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
スクリーニング゛
　　サイセンﾃﾞｨｻﾞ　　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
サイセンﾃﾞｨｻﾞ
　　オフ*
```

⑧**【←左または→右方向】**キーを押すとサイセンディザ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑨**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.5 濃度補正の設定

この設定は、印字色のカラーカーブ、線の強調、黒色の濃度の設定を行います。ご使用の環境下において、より良い濃度補正を選択してください。濃度補正の設定には以下の設定があります。

●カラーカーブの設定
●クロノノウドの設定
●センノキョウチョウの設定

6.5-1　カラーカーブの設定

この機能はプロッタ側でカラーカーブを変更できる機能です。
CAD側の指定した色をプロッタの出力結果により近い色で反映させるために設けられた機能であり、JC9000は計算上直線的なカラーカーブをデフォルトで持っておりますが、使用するCADやモニタ等によってカラーカーブが微妙に異なって見える事があります。
その場合、この設定値を変更する事によって、より近い色に合わせて下さい。

	明るい		初期値		暗い
クロ	-16	←←←←←←	0	→→→→→→	+22

	薄い		初期値		濃い
カラー	-16	←←←←←←	0	→→→→→→	+22

重要

●この機能は、ベクタデータのみに有効な機能で、ラスタデータには使用できません。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

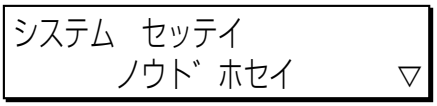
②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

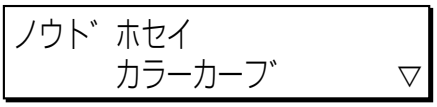
③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ゲ゛ンゴ゛）▽
```

④【←左または→右方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

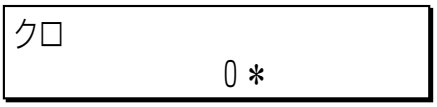


⑤【←左または→右方向】キーを押し下記の画面を表示させます。



⑥【↓下方向】キーを押し下記の画面を表示させます。

⑦【←左または→右方向】キーを押して、”クロ”、または”カラー”を選択し、設定したい色の所で、【↓下方向】キーを押すと、カラーカーブの設定値の表示になります。



表示した設定が現在の設定値です。【←左または→右方向】キーを押すとカラーカーブ設定値が変わります。選択した設定値でよければ【入力／実行】キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑧【オンライン】キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.5-2　クロノノウドの設定

この設定は黒の濃度をよりあげる為に設けられた機能であり、機能の特長を十分ご理解の上ご活用下さい。
用紙の特性（特に透過性の高い用紙）によって、通常よりインク量を多くしないと黒が薄く見える事があります。そのような時に、黒のインクに対してマゼンタ・シアン・イエローの３色のインクを混色させる事により、黒の濃度を更にあげる事ができるのがこの機能です。
インク量を意図的に増やしますので用紙によってはインクダレやコックリングの原因になる事をご理解頂き、十分に試し描きを行った上で、設定値を決定して下さい。線分が主体のデータでは比較的気になりませんが、特に黒ベタの塗り潰しデータを使用する場合は注意が必要です。
ただし、モノクロ高密度においてはカラーインクを乗せずに黒インクの量のみを２倍に増やします。よって、その他のモードの様に細かいステップでの切り替えではなく、下記の表のように２段階での切り替わりになります。
この設定は、選択されている用紙によってこの機能の使用できる印字モードが異なります。ご使用の場合は、下記の表を参考にし印字モードを選択して下さい。また、用紙の種類や作図データの内容によっても変わり、下記の表はあくまでも目安としてお使いになり、使用前には使用メディアとの相性を確認してからご使用下さい。

＜用紙選択と印字モードの組み合わせによる機能使用の可否＞

		印字モード						
		モノクロ				カラー		
		高速	標準	高品位	高密度	高速	標準	高品位
用紙選択	普通紙	×	×	○	◎	×	×	○
	コート紙	×	×	○	◎	×	○	○
	トレーシング紙	×	○	○	◎	×	○	○
	フィルム	×	○	○	◎	×	○	○

＜パラメータの設定値に対するインク量の互換表＞

記号	パラメータ												
	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
×	100												
○	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
◎	100						200						

注意

●濃度を上げた時は、乾燥時間を多くとるようにしてください。（乾燥時間の設定は、「乾燥時間設定 」を参照してください。）

重要

●この機能は、ベクタデータのみに有効な機能で、ラスタデータには使用できません。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　　ノウド゛ホセイ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ノウド゛ホセイ
　　カラーカーブ゛　　▽
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ノウド゛ホセイ
　　クロ　ノ　ノウド゛　　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
クロ　ノ　ノウド゛
　　１００％　＊
```

⑧**【←左または→右方向】**キーを押すとクロノノウド設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑨**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.5-3　センノキョウチョウの設定

この設定は、細線をよりはっきりと印字したい場合に使用します。線の太さは見た目の濃度に影響を及ぼし、細線を使用すると印字結果の濃度が薄く感じられる事があります。この様な場合、この機能を使用する事によって使用されている線分の線幅を一括で１ドット分太くする事ができます。すると、濃度の薄く感じられていたものを濃くする事ができます。
この設定で、以下のような設定があります。

イイエ ..... 細線の細さを重視して印字します。
細線がより細くシャープに印字できます。
ただし、細線を多く使用している図面にて、全体の濃度が薄く感じられる事があります。

ハイ ..... 細線の濃度を重視して印字します。
細線を多く使用している図面でも、濃度が希薄になるのを防ぐ事ができます。
ただし、細線が指定のペン幅より１ドット分太くなります。

重要

●この機能は、ベクタデータのみに有効な機能で、ラスタデータには使用できません。
●この機能は、下記の条件でのみ有効になります。
CAD側でペン幅が指定されているHP-GL2のデータで、本体設定のペン設定をソフトウェアに指定している場合。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ゲ゛ンゴ゛）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　　ノウド゛ホセイ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ノウド゛ホセイ
　　カラーカーブ゛　　▽
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ノウド゛ホセイ
　センノキョウチョウ　▽
```

⑦**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
センノキョウチョウ
　　イイエ*
```

⑧**【←左または→右方向】**キーを押すとセンノキョウチョウ設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押します。その設定値の横に＊が付き設定値が変更されます。

⑨**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.6 フォント選択の設定

この設定は、各エミュレーション設定（GP-GL、HP-GL、HP-GL/2）での出力フォントを指定する機能です。
選択項目は、オフ、ＦＮ＄１３０、ＦＮ＄１４０、ＦＮ＄１２０です。オフの場合はコマンドでの文字選択に依存します。
ＦＮ＄１３０、ＦＮ＄１４０、ＦＮ＄１２０を選択すると、Roman8などの１バイト文字の場合、データでフォントが選択されていても、フォント選択の設定で指定されたフォントで印字されます。（漢字,ひらがな、カタカナ等はそのまま出力されます。）

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　　フォント　センタク　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
フォント　センタク
　　　オフ*
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとフォント選択の設定の表示が変わります。設定値の横に＊が付いている設定が現在の設定値です。**【←左または→右方向】**キーを押し設定したい状態の表示にして、
【入力／実行】キーを押します。選択した表示の横に＊印が表示され設定値が変更されます。

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.7 設定値の初期化

この機能は、メニューで設定した内容を初期値に戻します。ただし、用紙モード（ロール紙／カット紙）の設定や、「システムセッテイ」メニューの「Language（ゲンゴ）」の設定値は現在設定されている値のままです。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ｹﾞﾝｺﾞ）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　セッテイ　ノ　ショキカ　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
セッテイ　ノ　ショキカ
　　　イイエ
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すと「ハイ」、「イイエ」の表示が変わります。初期化する場合は、「ハイ」の表示し**【入力／実行】**キーを押すと初期化されます。初期化しない場合は、「イイエ」の表示し**【入力／実行】**キーを押します。その選択した項目の横に＊が付き実行されます。

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

＜初期値一覧＞

項目	初期値	項目	初期値
印字品質	ヒョウジュン	ネスティングタイマー	30ビョウ
カラー／モノクロ	カラー	オフセット	X：0mm Y：0mm
ロール紙／カット紙	設定値	プリントリョウイキキリカエ	データユウセン
ヨウシシュルイ	フツウシ	ボーレイト	9600
マージン	ノーマル	データビット−パリティ	8none
コピーマイスウ	1	ハンドシェイク	ハードウェア
カッタードウサ	オートカット	EOPタイマー	30ビョウ
カンソウ　ジカン	30ビョウ	セパレータ	なし
エミュレーション	HP-GL&HP-GL/2	Language(ゲンゴ)	設定値
GP-GLステップサイズ	0.1mm	ジドウチョウセイモード	オン
HP-GLゲンテンイチ	チュウオウ	カミオクリチョウセイ	バンドアワセメユウセン
ペンテーブル　ノ　センタク	ソフトウェア	ディザリング	ディザ1
ライン　ノ　カサネアワセ	マージ	サイセンディザ	オフ
ラインシェーディング	オン	カラーカーブ	クロ　：0 カラー：0
オートレイアウト	オフ	クロノノウド	100%
オートレイアウト ゲンテン	ヨウシサイズ	センノキョウチョウ	イイエ
スケール	100%	フォント　センタク	オフ
バイリツインジ	ハイ		
カイテン	0°		
Yミラー	オフ		
キョリホセイ	X：0.00% Y：0.00%		
レイアウト サイズ	ISO A		
ユーザーサイズ（ナガサ）	機種依存 118.9cm (JC9000) 84.1cm (JC9100)		
ユーザーサイズ（ハバ）	機種依存 84.1cm (JC9000) 59.4cm (JC9100)		

6.8 インフォメーション表示

この機能は、本機のファームウェアのバージョンおよびメモリ容量を表示します。

設定方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　システム　セッテイ　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
Ｌａｎｇｕａｇｅ（ゲ゛ンゴ゛）▽
```

④**【←左または→右方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
システム　セッテイ
　　インフォメーション　　▽
```

⑤**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
インフォメーション
Ｉ／Ｃ：　　Ｖｅｒ．＊＊＊＊＊
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すと「I/C:Ver」、「I/Boot:Ver」、「E/C:Ver」、「E/Boot:Ver」、「E/Slv:Ver」、「Memory」の表示が変わります。「Memory」は容量を表示します。

⑦**【オンライン】**キーを押し設定を終了しデータ受信可能な状態にします。

6.9 メニューマップのプリント

この機能は、本機のメニュー一覧をプリントします。

設定方法

① A4 サイズ以上の用紙をセットしてください。

②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ナイブ゛プ゛リント　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ナイブ゛プ゛リント
　　メニューマップ゛
```

⑤**【入力／実行】**キーを押します。「メニューマップ」の横に＊が付きメニューマップをプリントします。

⑥プリントを終了するとデータ受信可能な状態になります。

6.10 カラーパレットのプリント

この機能は、本機のカラーパレットをプリントします。カラーパレットは、本機の「プリント　モード」メニューの「カラー／モノクロ　キリカエ」設定をカラーに設定することにより、256 色のカラーパレットをプリントします。モノクロの場合は、256段階のグレースケールのパレットをプリントします。

設定方法

① A4 サイズ以上の用紙をセットしてください。

②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ナイブ゛プ゛リント　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ナイブ゛プ゛リント
　　メニューマップ゛
```

⑤下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ナイブ゛プ゛リント
　　カラーパ゛レット
```

⑥**【入力／実行】**キーを押します。「カラーパレット」の横に＊が付きカラーパレットをプリントします。

⑦プリントを終了するとデータ受信可能な状態になります。

6.11 セッテイリストのプリント

この機能は、本機のメニューの設定内容をプリントします。メニューの設定状態を確認することができます。

設定方法

①A4 サイズ以上の用紙をセットしてください。

②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゜リント　ノ　カンリ　　▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ナイブ゛プ゜リント　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ナイブ゛プ゜リント
　　メニューマップ゜
```

⑤下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ナイブ゛プ゜リント
　　セッテイ　リスト
```

⑥**【入力／実行】**キーを押します。「セッテイリスト」の横に＊が付きセッテイリストをプリントします。

⑦プリントを終了するとデータ受信可能な状態になります。

＜JC9000NET シリーズの場合＞

JC9000NET シリーズの場合は、イーサネットインタフェースの設定内容を含め、２ページ分をプリントします。

A4のカット紙でプリントする場合、1ページ分のプリントを終了すると、下記の表示になります。

```
オフライン　　　KCMY
［カットシ　モード゛：カットシ
```

［ｶｯﾄｼ　ﾓｰﾄﾞ゛：ｶｯﾄｼ　ﾖ　ｾｯﾄ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ］

プリントした用紙を取り除き、新しい用紙をセットしてください。

6.12 ノズルチェックのプリント

この機能は、本機のノズル不吐検出パターンをプリントします。ノズルの不吐検出を確認することができます。

設定方法

①A4 サイズ以上の用紙をセットしてください。

②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン  メニュー
   ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾉ ｶﾝﾘ    ▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン  メニュー
     ﾅｲﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ    ▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ﾅｲﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
       ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
```

⑤下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ﾅｲﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
       ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ
```

⑥**【入力／実行】**キーを押します。「ノズルチェック」の横に＊が付きノズル不吐検出パターンをプリントします。

⑦プリントを終了するとデータ受信可能な状態になります。

6.13 ダンプモード

このモードにすると受信したデータのダンプリストを出力します。

設定方法

①A4 サイズ以上の用紙をセットしてください。

②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟﾘﾝﾄ　ﾉ　ｶﾝﾘ　　▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ﾅｲﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ﾅｲﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
　　ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
```

⑤下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ﾅｲﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
　ﾀﾞﾝﾌﾟﾓｰﾄﾞ　(ｽﾍﾞﾃ)
```

⑥**【←左または→右方向】**キーを押すとダンプモード設定の表示が変わります。

スベテ ..... プリントデータ全データのダンプを行います。

H&T ..... プリントデータの先頭1024バイト、末尾1024バイトのダンプを行います。ただし、転送データが 1024 バイト以下の場合、先頭の分だけダンプを行います。

選択した設定値でよければ**【入力／実行】**キーを押すと、ダンプモードになります。

```
ﾀﾞﾝﾌﾟﾓｰﾄﾞ　　KCMY
```

⑦プリントするデータをコンピュータより送信すると、ダンプリストのプリントを開始します。

カット紙モードの場合は、1 枚プリントを終了すると下記の表示になりますので、プリントした用紙を取り除き新しい用紙をセットしてください。セットした後、ダンプリストのプリントを再開します。

```
ｵﾌﾗｲﾝ　　KCMY
[ｶｯﾄｼ　ﾓｰﾄﾞ：ｶｯﾄｼ
```

[ｶｯﾄｼ　ﾓｰﾄﾞ：ｶｯﾄｼ　ﾖ　ｾｯﾄ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ]

⑧転送されるデータによってダンプリストの出力枚数は、異なります。

⑨ダンプリストをプリントし終わると、自動的にダンプモードが解除され、通常のオンラインの状態になります。

第7章　インクタンクとプリントヘッドの交換

この章では、本機で使用できるインクタンクとプリントヘッドの種類と取り扱い上の注意、交換の目安と交換方法について説明します。

7.1 インクタンクとプリントヘッドの種類

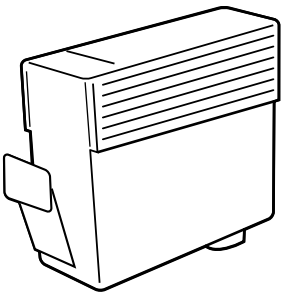
本機には、専用のインクタンクとプリントヘッドが用意されています。これら二つをキャリッジに取り付けてプリントを行います。

重要

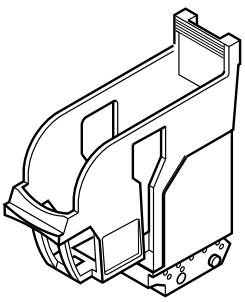
●プリントヘッドとインクタンクは、必ず本機専用のインクタンク（IJ-10025シリーズ）とプリントヘッド（SH-2シリーズ）をご使用ください。

■インクタンクとプリントヘッドについて

ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの各色ごとに、インクタンクとプリントヘッドの二つをキャリッジ取り付けてプリントします。



インクタンク



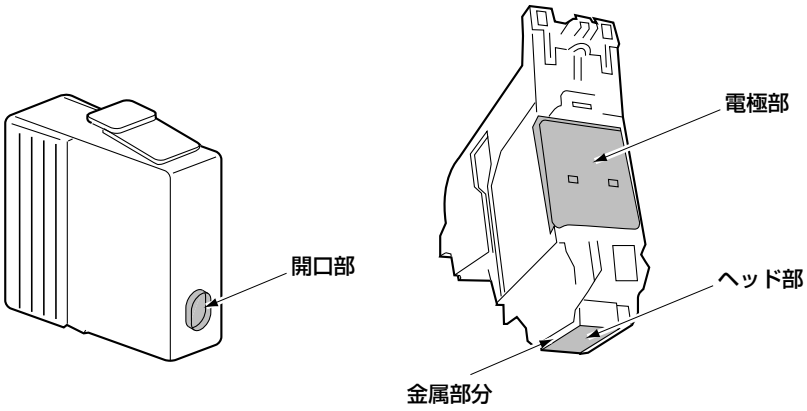
プリントヘッド

インクタンクとプリントヘッドは、４色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー）ずつありそれぞれ同じ色で組み合わせて使用します。
このインクタンクと、プリントヘッドの商品名は次の通りです。

	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー
インクタンク	IJ-10025Bk	IJ-10025C	IJ-10025M	IJ-10025Y
プリントヘッド	SH-2Bk	SH-2C	SH-2M	SH-2Y

■インクタンク／プリントヘッドの取り扱い上の注意

プリントの品質は、インクタンクや、プリントヘッドの状態に応じて大きく左右されます。インクタンクやプリントヘッドを取り扱うときは次のことに注意してください。



⚠注意

●プリント後、プリントヘッドの金属部分には触らないでください。熱くなっているため、やけどの原因になります。

●インクタンクや、プリントヘッドを落としたり、振ったりしないでください。破損して使用できなくなったり、インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

●インクタンクの開口部や、プリントヘッド部には触れないでください。インクで手を汚すことがあります。

●安全のため、インクタンクやプリントヘッドは、子供の手の届かないところへ保管してください。誤ってなめたりインクを飲んだりしたときは、直ちに医師にご相談ください。

●プリントヘッドは消耗品です。ヘッドクリーニングを行ってもノズルチェックパターンにおいて、正しくプリントされないときは、新しいプリントヘッドに交換してください。詳細は、「7.2　インクタンク／プリントヘッドの交換」を参照ください。

重要

●インクタンクやプリントヘッドは、お使いになるまで開封しないでください。また、開封後はすぐに本機に取り付けてください。
開封したまま放置しておきますとヘッド部が乾燥してきれいにプリントできなくなることがあります。
●インクタンクやプリントヘッドを一時的に置くときは、ヘッド部や開口部を下に向けて置かないでください。ヘッド部や開口部を下に向けて置くと、ヘッド部分に傷がついたり開口部にチリやホコリがついたりして、きれいにプリントできなくなることがあります。
●プリントヘッドのヘッド表面や電極部には触れないでください。機械の故障の原因になります。
●いったん外したオレンジ色の保護キャップや保護テープは、プリントヘッドに取り付けないでください。ヘッド部分に傷がつき、きれいにプリントできないことがあります。
●インクタンクやプリントヘッドを分解しないでください。機械の故障の原因になります。
●インクタンクのインクは補充できません。インクが無くなったら新しいインクタンクに交換してください。
●きれいにプリントするため、インクタンクは開封後半年以内に使い切ることをお勧めいたします。

7.2 インクタンク／プリントヘッドの交換

インクがなくなりそうなときや、インクがあるのにプリントした画像がかすれているときは、インクタンクやプリントヘッドを交換します。

インクタンクとプリントヘッドの交換の目安

●メッセージを見て交換する

メッセージディスプレイにはインクの残量やプリントヘッドの状態が表示されます。
インク残量表示は、インクの残量によって次のように変化します。メッセージディスプレイの表示を目安にして、インクタンクやプリントヘッドを交換してください。

KCMY ..... KCMY の各文字が大文字で表示されている場合、各インクが十分にあることを表示しています。

kcmy ..... kcmy のいずれかの文字が小文字の場合、小文字の色のインクが少なくなっていることを表示しています。新しいインクタンクに交換することをお勧めします。

－（横線） ..... 横線の点灯表示の場合、表示位置の色のインク切れか、インクタンクがセットされていません。

＿（下線） ..... 下線の点灯表示の場合、表示位置の色のインクタンクとプリントヘッドが取り付けられていません。インクタンクとプリントヘッドを取り付けてください。

？ ..... ？表示の場合、表示位置の色のプリントヘッドに異常があるか、破損しているプリントヘッドが取り付けられています。新しいプリントヘッドに交換してください。？の表示が消えない場合は、お買い求めの販売店または、担当サービスにご連絡ください。

重要

●インクの残量表示が小文字の状態でプリントしていても、画像の濃度やサイズによっては途中でインク切れになることがあります。インク切れになった後も、プリント動作を続け、プリント終了後“－”横線表示になります。

●プリント中にインク切れになるのを防ぐために、プリントする前にインクの残量を確認してください。

●インクがなくなりそうなときは早めにインクタンクを交換することをおすすめします。

●プリントヘッドは消耗品です。ヘッドクリーニングを行ってもノズルチェックパターンにおいて、正しくプリントされないときは、新しいプリントヘッドに交換してください。詳細は、「7.2　インクタンク／プリントヘッドの交換」を参照ください。

●プリント結果を見て交換する

メッセージディスプレイの表示を見ても各色のインクが十分に残っているのに、プリントした画像がかすれていたり、インクが出てこないときは、ヘッドの目詰まり、またはプリントヘッドの寿命やクリーナーブレードの寿命が考えられます。このようなときは、次の操作を行ってください。

①ヘッドのクリーニングを行います。

②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　ﾌﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ヘッﾄﾞ クリーニングﾞ　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ヘッﾄﾞ クリーニングﾞ
　スﾍﾞテ　ノ　ヘッﾄﾞ
```

⑤カラー画像をプリントしているときは、上記の表示のときに**【入力／実行】**キーを押します。すべてのヘッドのクリーニングを行います。モノクロ画像をプリントしているときは、上記の表示のときに**【←左または→右方向】**キーを押し下記の表示にして、**【入力／実行】**キーを押し、ブラックヘッドのクリーニングを行います。

```
ヘッﾄﾞ クリーニングﾞ
　　ﾌﾞラック
```

⑥ヘッドのクリーニングを終了したら、本機に用紙をセットします。（A4サイズ以上の用紙をセットしてください。）
⑦ノズルチェックパターンのプリントを行います。
⑧下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

⑨下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　　ナイプ゛プ゛リント　　▽
```

⑩**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

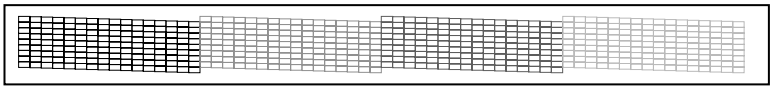
```
ナイプ゛プ゛リント
　　メニューマップ゛
```

⑪下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

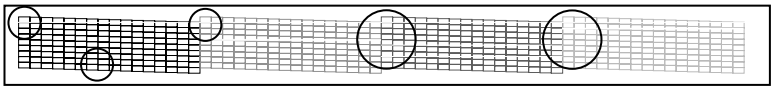
```
ナイプ゛プ゛リント
　　ノズ゛ル　チェック
```

⑫**【入力／実行】**キーを押します。「ノズル　チェック」の横に＊が付きノズルチェックをプリントします。
⑬ノズルチェックパターンをプリントしたら用紙セットレバーを下げプリントした用紙を取り出します。
⑭プリントされたノズルチェックパターンを見て白スジ（格子の抜け）がないことを確認します。

＜白スジがない状態＞



＜白スジがある状態＞



⑮プリントされたノズルチェックパターンを見て白スジ（格子の抜け）がないときは、ヘッドの目詰まりが解消されたのでプリントを再開することができます。
白スジ（格子の抜け）があるときは再度①～⑥のヘッドのクリーニング、または①～⑫のヘッドのクリーニングとノズルチェックパターンのプリントを連続して３回繰り返します。
⑯最後にプリントされたノズルチェックパターンを見て白スジ（格子の抜け）がないことを確認します。プリントされたノズルチェックパターンを見て白スジ（格子の抜け）がないときは、ヘッドの目詰まりが解消されたのでプリントを再開することができます。

⑰まだ白スジ（格子の抜け）があるときは、白スジ（格子の抜け）があるプリントヘッドの寿命です。新しいプリントヘッドに交換してください。
⑱プリントヘッドを交換しても、状態が改善されないときは、クリーナーブレードの寿命です。新しいクリーナーブレードに交換してください。

7.3 インクタンクの交換方法

インクタンクを取り扱う際は、次のことに注意してください。

⚠注意

●安全のため、インクタンクは子供の手の届かないところに保管してください。
●誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、直ちに医師にご相談ください。

重要

●インクタンクは必ず本機専用のインクタンク（IJ-10025シリーズ）をご使用ください。
●インクタンクを交換するとき以外にインクタンクをとりはずさないでください。誤って取り外したときは、「ヘッドクリーニング」メニューの「タンク　コウカン」を選び、プリントの品質を保持するためにヘッドクリーニングを行ってください。

インクタンクの交換方法

①ダストカバーを閉じます。
②**【オンライン】**キーを押しメッセージディスプレイに“オフライン”、または“ポーズ”を表示させます。
③**【←左または→右方向】**キーを押し、キャリッジをヘッド交換位置に待機させます。表示は下記のように表示されます。

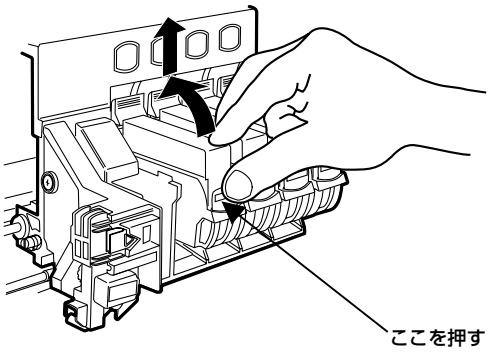
```
オフライン              KCMY
［ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞ ﾉ ｺ
```

［ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞ ﾉ ｺｳｶﾝｶﾞ ｶﾉｳﾃﾞｽ］
④キャリッジがヘッド交換位置で待機していましたら、ダストカバーを開けます。

⚠注意

●インクタンクの開口部には触れないでください。インクで手を汚すことがあります。

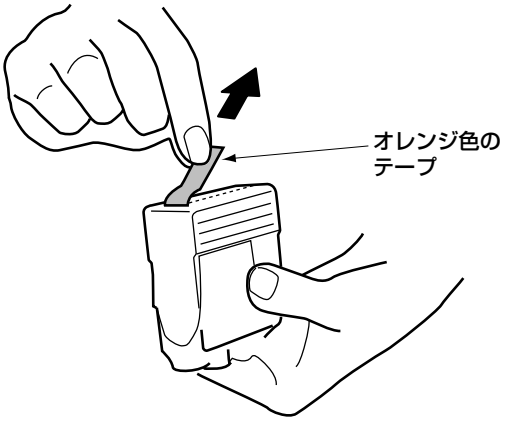
⑤交換するインクタンクの固定フックを（PUSH部分）を押しながら、持ち上げるようにして、インクタンクを取り外します。



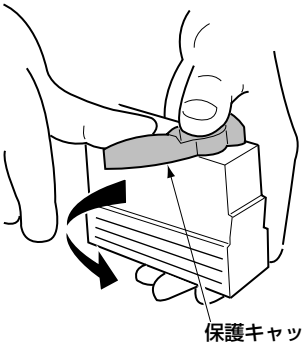
メモ

●使い終わったインクタンクは、インクが出ないようにビニール袋などに入れて、不燃物として捨ててください。

⑥新しいインクタンクの箱からインクタンクを取り出しインクタンクの上部についているオレンジ色のテープを持ち、ミシン目に沿って引っ張り包装フィルムを開封します。



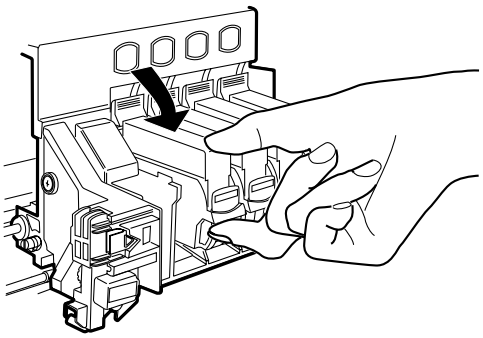
⑦開口部についているオレンジ色の保護キャップのつまみを左回りにゆっくりと回転させて保護キャップを取り外します。



注意

開封したインクタンクは、すぐにプリントヘッドに取り付けてください。そのまま放置すると、開口部が乾燥して、きれいにプリントできなくなることがあります。

⑧インクタンクの開口部を下向きにして、インクタンクとプリントヘッドの色識別シールと同じ色の位置のプリントヘッドに、インクタンクを取り付けます。インクタンクをプリントヘッドの奥まで差し込んだ後、カチンという手応えがあるまで、インクタンクを親指と人差し指で挟み込んでください。



注意

●上図以外の部分を持たないでください。プリントヘッドが曲がって取り付けられるときれいにプリントできないことがあります。
●インクタンクの取り付け位置は、各色ごとに決まっています。インクタンクをプリントヘッドに取り付ける際は、インクタンクとプリントヘッドのシールの色を合わせて取り付けてください。シールの色に合わせずに取り付けると、正しい色でプリントされません。
●インクタンクが正しく取り付けられていないと、プリントヘッドにインクが供給されません。

⑨ダストカバーを静かに閉じます。キャリッジが自動的にキャリッジステーションに戻ります。次に「タンクコウカン」を実施してください。

タンク交換

新しいタンクに交換するとき以外にインクタンクを取り外した場合、「タンクコウカン」を行います。

注意

インクタンクを交換するとき以外はインクタンクを取り外さないようにしてください。

タンクコウカンの操作方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ヘッド゛クリーニング゛　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ヘッド゛クリーニング゛
　スペ゛テ　ノ　ヘッド゛
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
ヘッド゛クリーニング゛
　　タンク　コウカン
```

⑤前記の表示のときに**【入力／実行】**キーを押します。「タンク　コウカン」を行います。

⑥終了後、オンライン状態になります。

7.4 プリントヘッドの交換方法

プリントヘッドを取り扱う際は、次のことに注意してください。

⚠注意

●安全のため、プリントヘッドは子供の手の届かないところに保管してください。
●誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、直ちに医師にご相談ください。

重要

●プリントヘッドは必ず本機専用のプリントヘッド(SH-2シリーズ)をご使用ください。
●プリント品質を保持するために、プリントヘッドを交換したときは、「ジドウ　チョウセイ」と「ジドウバンドホセイ」を実施してください。(「7.5 プリントヘッドの位置の自動調整」、「7.6 自動バンド補正」参照。)

プリントヘッドの交換方法

①ダストカバーを閉じます。
②**【オンライン】**キーを押しメッセージディスプレイに“オフライン”、または“ポーズ”を表示させます。
③**【←左または→右方向】**キーを押し、キャリッジをヘッド交換位置に待機させます。表示は下記のように表示されます。

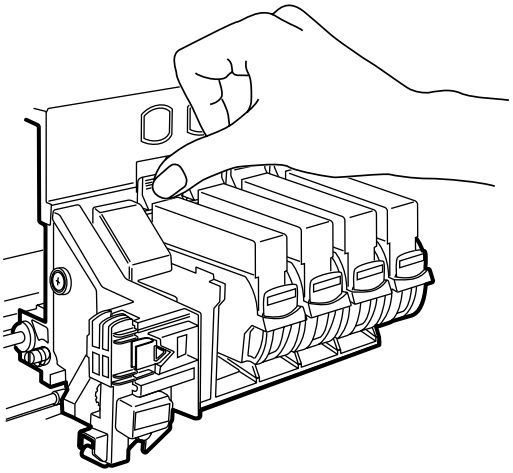
```
オフライン              KCMY
[ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞ ﾉ ｺ
```

[ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞ ﾉ ｺｳｶﾝｶﾞ ｶﾉｳﾃﾞｽ]
④キャリッジがヘッド交換位置で待機していましたら、ダストカバーを開けます。

⚠注意

●プリント後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。熱くなっているため、やけどの原因になることがあります。
●プリントヘッドのヘッド部分には触れないでください。インクで手を汚すことがあります。
●プリントヘッドは消耗品です。ヘッドクリーニングを行ってもノズルチェックパターンにおいて、正しくプリントされないときは、新しいプリントヘッドに交換してください。詳細は、「7.2　インクタンク／プリントヘッドの交換」を参照ください。

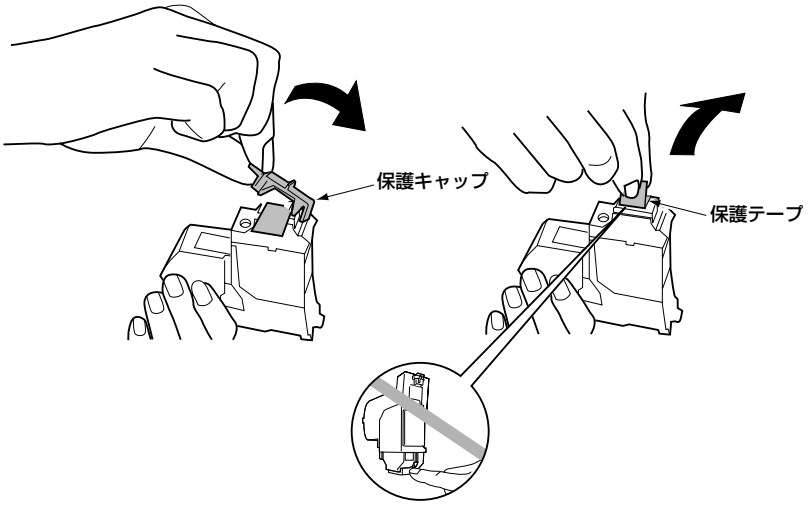
⑤交換するプリントヘッドに取り付けられているインクタンクを取り外し、インクタンクの開口部を傷つけないように横に倒した状態にして、水平なところに一時置きます。
⑥交換するプリントヘッドの解除フックを押し、プリントヘッドを持ち上げるようにして、プリントヘッドを取り外します。



メモ

●使い終わったプリントヘッドは、周囲にインクがつかないようにビニール袋などに入れて、不燃物として捨ててください。

⑦プリントヘッドの箱からプリントヘッドを取り出し、プリントヘッドの包装フィルムを開封し、プリントヘッドを取り出します。このときプリントヘッドの電極部には触れないようにしてください。故障の原因になります。
⑧ヘッド部についているオレンジ色の保護キャップと保護テープをはがします。



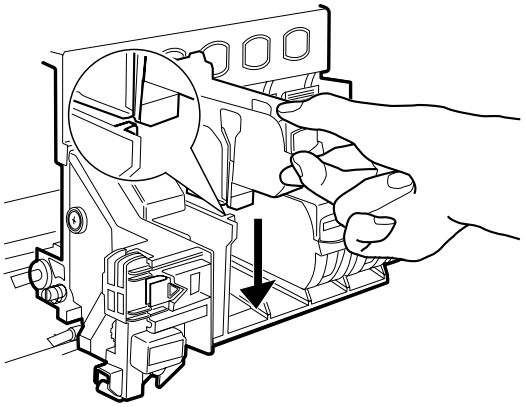
重要

●インクタンクやプリントヘッドを一時的に置くときは、ヘッド部や開口部を下に向けて置かないでください。ヘッド部や開口部を下に向けて置くと、ヘッド部分に傷がついたり開口部にチリやホコリがついたりして、きれいにプリントできなくなることがあります。

●プリントヘッドのヘッド表面や電極部には触れないでください。機械の故障の原因になります。

●いったん外したオレンジ色の保護キャップや保護テープは、プリントヘッドに取り付けないでください。ヘッド部分に傷がつき、きれいにプリントできないことがあります。

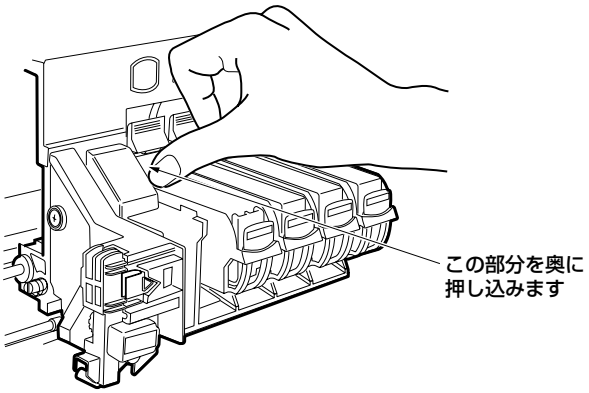
⑨プリントヘッドの色識別シールと同じ色の位置のヘッド取り付け位置に、プリントヘッドの溝をキャリッジの突起にあわせ、プリントヘッドを差し込みます。



注意

プリントヘッドの取り付け位置は、各色毎に決まっています。プリントヘッドをキャリッジに取り付ける際は、プリントヘッドとキャリッジのシールの色を合わせて取り付けてください。シールの色を合わせずに取り付けると、正しい色でプリントされません。

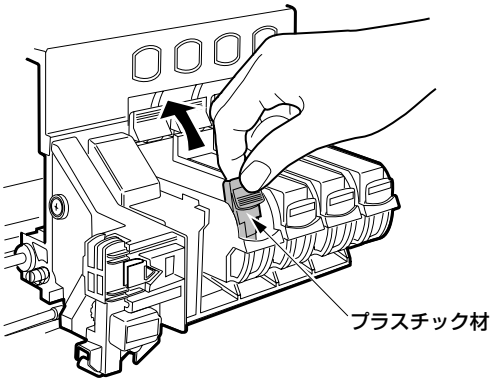
⑩プリントヘッドの下図の位置をカチンという手応えがあるまで指で押し、プリントヘッドをキャリッジに固定します。



注意

●上図以外の部分を押さないようにしてください。
●プリントヘッドが正しく取り付けられていないと、きれいにプリントできないことがあります。

⑪プリントヘッドの内側にあるオレンジ色のプラスチック材を取り外します。プラスチック材のPUSH部分をつまみ、奥に倒すように持ち上げて取り外してください。



メモ

●取り外したプラスチック材は、不燃物として捨ててください。

⑫⑤で外したインクタンクをプリントヘッドに取り付けます。
⑬ダストカバーを静かに閉めます。キャリッジがキャリッジステーションに戻ります。「ジドウチョウセイモード」が「オン」になっている場合は、自動的にプリントヘッドの自動調整が始ります。自動調整を終了したらヘッドの交換は終わりです。
⑭「ジドウチョウセイモード」が「オフ」になっている場合は、プリントヘッドの自動調整を行います。**「7.5　プリントヘッドの自動調整」**参照。自動調整を終了したらヘッドの交換は終わりです。

7.5 プリントヘッドの位置の自動調整

プリントヘッド位置の調整は、自動調整モードがオンになっている場合で、プリントヘッドの取り付け取り外しを行うと、本機がイニシャライズを終了後に自動的にヘッド位置調整パターンをプリントしてプリントヘッド位置を自動的に調整し各ヘッドとの色ずれを防ぎます。
また、電源がオフの状態でプリントヘッドとインクタンクが外され、再度取り付けられた場合や、電源投入時にプリントヘッドがセットされていない状態で、プリントヘッドとインクタンクを取り付けた後にも、上記と同様の調整を行います。
自動調整モードがオフの場合は、この動作は行いません。この場合ヘッドを外した後は必ずこの章で説明する方法に従ってヘッドの位置の自動調整を行ってください。

プリントヘッド自動調整方法

①プリントヘッドの自動調整では、A3 サイズ以上の用紙をセットしてください。
②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プﾟリント　ノ　カンリ　　▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　チョウセイ　ジﾞッコウ　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
チョウセイ　ジﾞッコウ
　ジﾞﾄﾞｳ　チョウセイ
```

⑤**【入力／実行】**キーを押します。「ジドウ　チョウセイ」の横に＊が付きヘッド位置調整パターンをプリントしてプリントヘッド位置を自動的に調整します。
⑥自動調整を終了するとオンライン状態になります。

注意

●新品のプリントヘッドに交換したときや、プリントヘッドを再セットしたときは、必ずプリントヘッドの位置調整を行ってください。この調整を行わないと、プリント時に罫線ズレ等が発生し、描画品質が悪くなります。
●プリントヘッドの位置調整後に、ヘッド高さ調整レバーの位置を変更したときには、再度、「プリントヘッドの位置調整」を行ってください。

7.6 自動バンド補正

画質を最適に保つために、用紙送り量を調整します。
「ジドウバンドホセイ」を実行することにより自動的にプリント時の用紙送り量を調整します。
自動バンド補正は、紙送り調整の設定を「バンドアワセメユウセン」に設定した場合に有効です。

重要

調整用のパターンのプリントが始まったらダストカバーを開けないでください。ダストカバーを開けると調整が中断し、調整されません。

操作方法

①自動バンド補正では、A3 サイズ以上の用紙をセットしてください。
②下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

③下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　チョウセイ　ジ゛ッコウ　　▽
```

④**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
チョウセイ　ジ゛ッコウ
　ジ゛ド゛ウ　チョウセイ
```

⑤下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
チョウセイ　ジ゛ッコウ
 ジ゛ド゛ウ　バ゛ンド゛ホセイ
```

⑥**【入力／実行】**キーを押します。「ジドウ　バンドホセイ」の横に＊が付き調整パターンをプリントして送り量を自動的に調整します。
⑦自動調整を終了するとオンライン状態になります。

⚠注意

次の場合には、必ず「ジドウバンドホセイ」を行ってください。
●新品のプリントヘッドに交換したとき
●プリントヘッドを取り外して、再度セットしたとき
●使用する用紙の種類を変更したとき
●ヘッド高さ調整レバーの位置を変更したとき
この調整を行わないと、プリント画像のムラ等が発生し、描画品質が悪くなります。

第8章　トラブルシューティング

この章では、メッセージディスプレイに表示されるエラーメッセージやワーニングメッセージが表示されたときや、紙詰まり等で本機が正常に動作しない場合、画質に問題がある場合などの対処方法について説明します。
故障かなと思ったときに、必要に応じてお読みください。

8.1 ワーニング、エラーメッセージが表示されたとき

本機が正しく動作しないときや、正常にプリントできないときは、メッセージディスプレイにワーニング、エラー、その他のメッセージの三つの分類のメッセージが表示されます。それぞれのメッセージに対する処理方法にしたがって対処してください。

ワーニングメッセージ

ワーニングメッセージは、正常にプリントできない恐れのある異常が本機に発生したときに、メッセージディスプレイに表示します。
ワーニングメッセージが表示されたら、スクロールメッセージを確認し、対処方法にしたがって操作してください。ワーニングについては、ワーニングメッセージを無視してプリントを続行できるものもありますが、正しくプリントされない場合があるのでご注意ください。

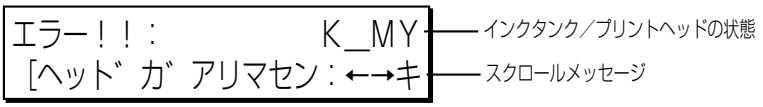
＜シアンのインクが残りわずかになったときのメッセージ例＞

＜受信したデータを回転できなかったときのメッセージ例＞

エラーメッセージ

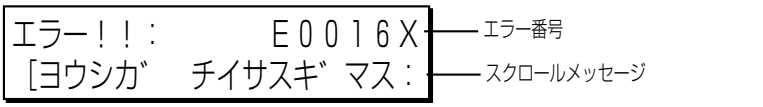
エラーメッセージは、電源を切るなどの処理を必要とする異常が発生したときにときに、メッセージディスプレイに表示します。
エラーが発生すると、本機の動作は自動的に停止し、適切な処置を行うまで通常の動作に戻りません。スクロールメッセージを確認して、対処方法にしたがって操作してください。

＜シアンのプリントヘッドが取り付けられていないときのメッセージ例＞



［ﾍｯﾄﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ：←→ｷﾖｵｼﾃ　ﾍｯﾄﾞﾖ　ﾄﾘﾂｹﾃ　ｸﾀﾞｻｲ］

＜小さすぎる用紙をセットしたときのメッセージ例＞

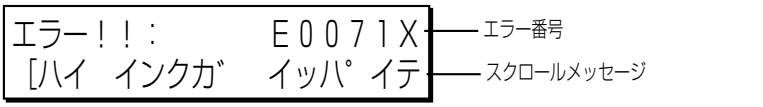


［ﾖｳｼｶﾞ　ﾁｲｻｽｷﾞﾏｽ：ﾖｳｼﾖ　ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ　ｸﾀﾞｻｲ］

その他のメッセージ

ワーニング番号や、エラー番号が表示されなかったり、インクタンクやプリントヘッドの状態表示が変わらなくても、通常の動作を行うことができないときに、メッセージが表示されます。メッセージを確認し、対処方法にしたがって操作してください。

＜廃インクタンクがいっぱいになったときのメッセージ例＞



［ﾊｲ　ｲﾝｸｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ：ﾃﾞﾝｹﾝﾖ　ｷﾘ　ｻｰﾋﾞｽﾍ　ﾚﾝﾗｸ　ｼﾃｸﾀﾞｻｲ］

8.2 メッセージ一覧と対処方法

ワーニングメッセージ一覧と対処方法

記号 または番号	スクロールメッセージ	内容	対処方法
kCMY		インク（左記の場合は、ブラック）が、残りわずかになりました。	新しいインクタンクに交換することをおすすめします。
K-MY		インク（左記の場合はシアン）がなくなりました。	新しいインクタンクに交換してください。
K__MY		プリントヘッド（左記の場合はシアン）が取り付けられていません。	プリントヘッドとインクタンクを取り付けてください。
W0601X	［メモリ　オーバ゛ーフロウ：Ｗ０６０１Ｘ］	本機のメモリがいっぱいになり、受信しているデータの一部が欠けているものをプリントしている可能性があります。	本機にメモリを増設するか、データの容量を確認してください。また、次にプリントするデータを受信すると、本機は自動的にワーニングを解除します。
W0603X	［カイテン　デ゛キマセン：Ｗ０６０３Ｘ］	受信したイメージデータを回転できませんでした。	コンピュータ側でデータの内容を確認し、データを転送し直してください。また、大きなデータや複雑なデータをプリントする場合には、本機のメモリを増設してください。次にプリントするデータを受信すると、自動的にワーニングを解除します。
W061XX	［フセイコマンド゛：Ｗ６１ＸＸ］	サポートしていないコマンドを受信しました。	コンピュータ側でデータの内容およびプロッタドライバの設定を確認してください。また、パラレルインタフェースを使用している場合は、通信モードを切り替えてください。
W062XX	［フセイコマンド゛：Ｗ６２ＸＸ］		
W063XX	［フセイコマンド゛：Ｗ６３ＸＸ］		
W064XX	［フセイコマンド゛：Ｗ６４ＸＸ］		
W065XX	［フセイコマンド゛：Ｗ６５ＸＸ］		
W066XX	［フセイコマンド゛：Ｗ６６ＸＸ］		
W067XX	［フセイコマンド゛：Ｗ６７ＸＸ］		

エラーメッセージ一覧と対処方法

記号 または番号	スクロールメッセージ	内容	対処方法
エラー -CMY		インク（左記の場合はブラック）がなくなりました。	新しいインクタンクに交換することをおすすめします。
エラー -CMY	［インクタンク　ｶﾞ アリマセン：←→キーヲ　オシテ　タンク　ヲ　トリツケテ　クﾀﾞ サイ］	インクタンク（左記の場合はブラック）が取り付けられていません。	インクタンクを取り付けてください。
エラー _CMY	［ヘッﾄﾞ ｶﾞ アリマセン：←→キーヲ　オシテ　ヘッﾄﾞ ヲ　トリツケテ　クﾀﾞ サイ］	プリントヘッド（左記の場合はブラック）が取り付けられていません。	プリントヘッドとインクタンクを取り付けてください。
エラー ?CMY	［コノヘッﾄﾞ ハ　ツカエマセン：←→キーヲ　オシテ　ヘッﾄﾞ ヲ　コウカン　シテクﾀﾞ サイ］	プリントヘッド（左記の場合はブラック）が正しくない位置に取り付けられているか、正しくセットされていません。	プリントヘッドをセットし直してください。その後、同じメッセージが表示される場合は、新しいヘッドに交換してください。
	［ヘッﾄﾞ ｶﾞ イｼﾞｮｳ　テﾞｽ：←→キーヲ　オシテ　ヘットﾞ ヲ　コウカン　シテクﾀﾞ サイ］	プリントヘッド（左記の場合はブラック）に異常があります。	新しいプリントヘッドに交換してください。
E0015x	［ヨウシジｬム：ヨウシヲ　トリノゾｲテ　クﾀﾞ サイ］	紙詰まりが起き、キャリッジが停止しました。	電源を切ってください。 電源が切れていることを確認した後、用紙を取り除いてください。
	［ヨウシジｬム：ヨウシヲ　トリノゾｲテ　クﾀﾞ サイ］	用紙のロードができませんでした。または、プリント中に用紙がなくなりました。	電源を切ってください。 電源が切れていることを確認した後、用紙を取り除いてください。その後、使用できる用紙を確認し、再度用紙をセットしてください。
E0016x	［ヨウシｶﾞ ケンシュツ　ﾃﾞｷマセン：ヨウシヲ　トリノゾｲテ　クﾀﾞ サイ］	セットした用紙を検出できません。	用紙を取り除いてください。その後、使用できる用紙を確認し、再度用紙をセットしてください。
	［ヨウシｶﾞ チイサスｷﾞ マス：ヨウシヲ　トリノゾｲテ　クﾀﾞ サイ］	小さすぎる用紙をセットしています。	
	［ヨウシノ　イチｶﾞ　フセイテﾞス：ヨウシヲ　サイロードﾞ シテ　クﾀﾞ サイ］	用紙をセットしている位置が正しくありません。	正しい位置に用紙をセットしてください。
E0031x	［キャリッジﾞ　エラー：ﾃﾞンケﾞン　ヲ　キッテ　クﾀﾞ サイ］	キャリッジの動作中に異常が発生し、キャリッジが停止しました。	電源を切ってください。 電源が切れていることを確認し、キャリッジをキャリッジステーションまで手で移動した後に、電源を入れます。
E0070x	［カイフク　ステーション　イシﾞｮｳ：ﾃﾞンケン　ヲ　キッテ　クﾀﾞ サイ］	回復部の動作に異常が発生しました。	一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
E0071x	［ハイ　インクタンクカ　イッパﾟイﾃﾞｽ：ﾃﾞンケン　ヲ　キリ、サービﾞｽヘ　レンラクシテクﾀﾞ サイ］	廃インクタンクがいっぱいです。	電源を切ってください。その後、本機をお買い求めの販売店、または担当サービスにご連絡ください。

記号 または番号	スクロールメッセージ	内容	対処方法
E008xx	［カットﾃﾞ キマセン：カッターヲ　カクニンシテ　ヨウシヲ　トリノゾ ｲﾃ　クﾀﾞ ｻｲ］	カッターの寿命、または用紙のシワなどが原因で、用紙をカットできませんでした。	用紙を取り除いてください。カッターの状態を確認し、カッターのカット位置を変えるか、新しいカッターに交換してください。
	［カッタージ゛ャム：ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］	カッターの寿命、または用紙のシワなどが原因で、用紙のカット中にキャリッジが停止しました。	電源を切ってください。電源が切れていることを確認した後、用紙を取り除いてください。その後、カッターの状態を確認し、カッターのカット位置を変えるか、新しいカッターに交換してください。
	［カッターエラー：ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］	キャリッジやカッターの動作中に異常が発生しました。	電源を切ってください。電源が切れていることを確認した後、用紙を取り除いてください。
E011xx	［E／C　EEPROM：ﾃﾞ ﾝｹﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］	本機の内部で行われている処理に異常が発生しました。	電源を切ってください。電源が切れていることを確認した後、用紙を取り除いてください。
E012xx	［ナイブ゛　ツウシン　イジ゛ョウ：ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］		
E015xx	［ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ユニット　イシ゛ョウ：ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］	本機の電源に異常が発生しました。	
E021xx	［チョウセイ　センサー　エラー：ヨウシヲ　トリノゾ ｲﾃ　クﾀ゛ ｻｲ］	自動調整実行中に、調整センサに異常が発生しました。	用紙を取り除いてください。その後、使用できる用紙を確認し、再度用紙をセットしてください。
	［ヨウシガ゛ チイサスギ゛ マス：ヨウシヲ　トリノゾ ｲﾃ　クﾀﾞ ｻｲ］	自動調整を実行するには小さすぎる用紙をセットしています。	
E051xx	［I／C　EEPROM：ﾃﾞ ﾝｹﾞ゛ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］	本機の内部で行われている処理に異常が発生しました。	電源を切ってください。電源が切れていることを確認した後、用紙を取り除いてください。
	［ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀ゛ ｻｲ］		
E052xx	［RS－232Cエラー：セッテイヲ　カクニンシテ　クﾀﾞ ｻｲ］	シリアル（RS-232C）インタフェースの通信に異常が発生しました。	コンピュータと本機のインタフェース設定を確認してください。
E097xx	［I／C　エラー：ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］	ファームウェアの処理に異常が発生しました。	電源を切ってください。電源が切れていることを確認した後、用紙を取り除いてください。
E098xx	［E／C　エラー：ﾃﾞ ﾝｹﾞ ﾝ　ヲ　キッテ　クﾀﾞ ｻｲ］		

その他のメッセージ一覧と対処方法

スクロールメッセージ	内容	対処方法
フィードﾞ　デﾞキマセン．．	これ以上用紙を送ることができない位置まで［↑上または↓下の方向］キーを押して用紙を送ろうとしています。	［↑上または↓下の方向］キーを押して反対方向に用紙を送ってください。
［カットシ　モードﾞ：カットシヲ　セットシテクダﾞサイ］	カット紙がセットされていません。	カット紙をセットしてください。
［カバﾞー　ヲ　シメテクダﾞサイ］	ダストカバーが開いています。	ダストカバーを閉めてください。
デﾞータガﾞ　アリマセン！！ ［メニューニ　モドﾞリマス：ナニカキーヲオシテクダﾞサイ］	リプロットするデータがないのにリプロットを実行しました。	プリントしたいデータを転送してください。また、［↑上または↓下の方向］キー［入力／実行］キー［オンライン］キーのどれかを押すと、メニュー設定画面に戻ります。
［ハイ　インクタンクガﾞ　マモナク　イッパﾟイニ　ナリマス：サービﾞスヘ　レンラクシテクダﾞサイ］	廃インクタンクがﾞ、いっぱいになってきています。	本機をお買い求めの販売店、または担当サービスにご連絡ください。
［ヨウシヲ　トリノゾﾞイテ　クダﾞサイ］	用紙設定と本機にセットした用紙が合っていません。	用紙設定メニューで設定した用紙（ロール紙／カット紙）に合わせて用紙をセットするか、［ロール紙／カット紙］キーでセットしようとしている用紙に設定を切り替えてください。
［ヨウシヲ　マッスグﾞニ　シテクダﾞサイ］	用紙がまっすぐにセットされていません。	用紙をまっすぐにセットし直してください。
［ロールシ　エンドﾞ：ヨウシヲ　トリノソﾞイテ　クダﾞサイ］	ロール紙がなくなりました。	新しいロール紙に交換してください。
［ロールシ　モードﾞ：ロールシヲ　セットシテクダﾞサイ］	ロール紙がセットされていません。	ロール紙をセットしてください。

8.3 紙詰まりしたとき

用紙に折り目やシワがあったりして、用紙がカールしていると、用紙のロード中やプリント中に紙詰まりが起きることがあります。紙が詰まると、キャリッジが停止し、下記のようなメッセージを表示し、エラーランプが点灯します。このメッセージを表示したら次の手順で紙詰まりの処理を行い、詰まった用紙を取り除いてください。

```
エラー！！：        E0015X
［ヨウシ　ｼﾞｬﾑ：ヨウシヲ　ト
```

［ヨウシ　ｼﾞｬﾑ：ヨウシヲ　トリノゾｲﾃ　ｸﾀﾞｻｲ］

⚠注意

●用紙を取り除くとき、用紙上のインクが手や服に付かないように注意してください。

●用紙を取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように注意してください。

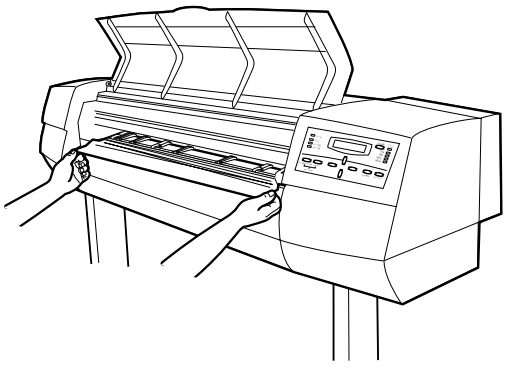
紙詰まりの処理方法

①紙詰まりが起きたら、プロッタの動作が停止していることを確認します。
②プロッタの電源を切ります。

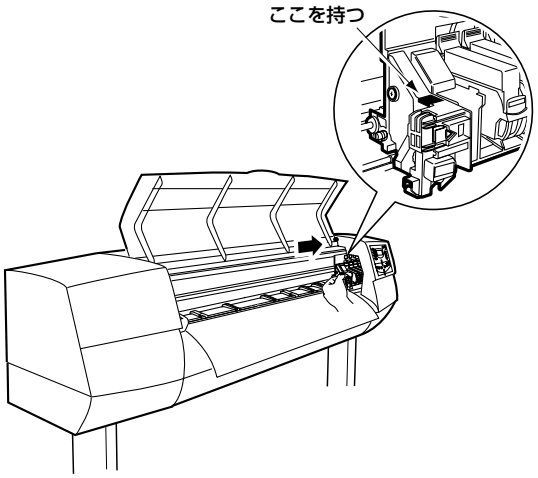
重要

●電源を切ると、プロッタ内に保存されているデータは消去されます。紙詰まりが起き、プリントが中断されたときは、紙詰まり処理を終了した後にもう一度データを転送し直してください。

③ダストカバーを静かに開けます。
④詰まっている用紙をまっすぐにのばして整えます。用紙がキャリッジにぶつかっているときは、プリントヘッドの部分を傷つけないように、一旦用紙をのばして、キャリッジを動かせる状態にします。



⑤キャリッジを手で持って、プロッタ本体前面から見て、右側のキャリッジステーションの奥に突き当たるまで静かに移動させます。このときヘッド部分と用紙があたりヘッド部を傷つけないように移動させてください。キャリッジを移動させる際に用紙がじゃまをして移動できない場合は、まず、用紙を切り取って取り除いてください。

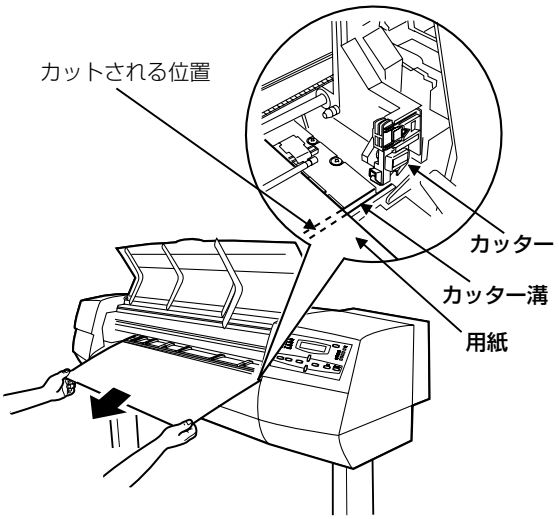


●ここより以降の処置はロール紙とカット紙で異なりますのでそれぞれの用紙にあった処置を行ってください。

ロール紙の場合

⑥用紙セットレバーを下げます。ロール紙を押さえているピンチローラーが上がります。(キャリッジがキャリッジステーションの奥まで移動させないと用紙セットレバーは下がりません。)

⑦ロール紙の左右の端をもって、詰まった部分のシワの部分を取り除くために、ロール紙を手前に静かに引っ張り出します。

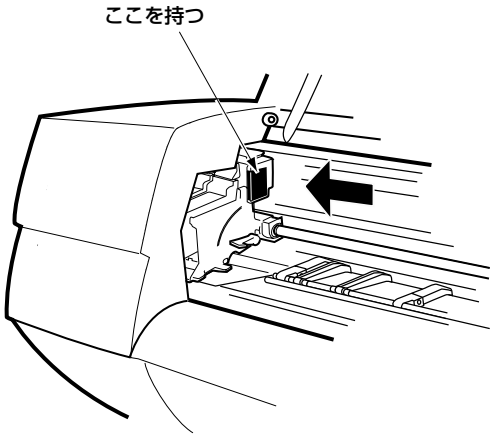


⑧ロール紙に張りを持たせた状態で、ロール紙の右端を縦の紙合わせラインと平行になるようにして、用紙セットレバーを上げ、ロール紙を固定します。

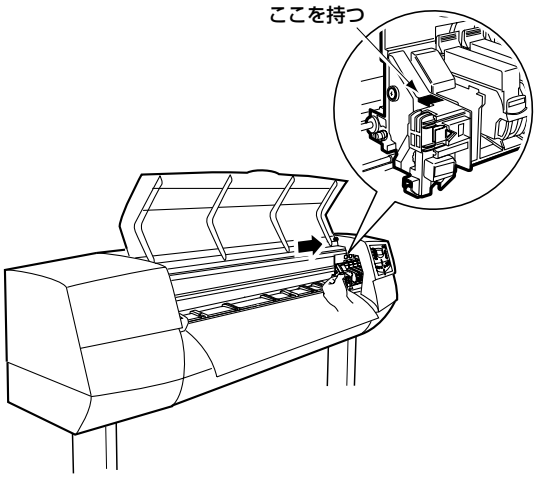
重要

●無理にロール紙を引っ張って紙合わせラインに合わせないでください。ロール紙がまっすぐに送られないことがあります。

⑨キャリッジを手で持って、プロッタ本体前面から見て、左側の奥に突き当たるまで静かに移動させます。左側の奥に突き当たったときにカチンという手応えがあるまでキャリッジを左側奥に突き当てます。このときカッターの刃が出て、用紙をカットできる状態になります。



⑩キャリッジを手で持って、プロッタ本体前面から見て、右側のキャリッジステーションの奥に突き当たるまで静かに移動させ、用紙を切ります。



重要

●キャリッジをキャリッジステーションの奥に当たる手応えがあるまで移動させないと、用紙セットレバーは動きません。無理に用紙セットレバーを動かすとプロッタの故障の原因なります。

⑪用紙セットレバーを下げます。
⑫プロッタ後面よりロール紙の両端を持ちプロッタより引き抜きます。用紙をセットしていない状態にします。
⑬用紙セットレバーを上げます。
⑭ダストカバーを静かに閉めます。
⑮プロッタの電源を入れます。
⑯プロッタの初期化を終了し、メッセージディスプレイに“オフライン”が表示されていることを確認します。紙詰まりの処理が正しく行われるとメッセージディスプレイに“オフライン”が表示します。
⑰用紙に折り目やシワがないことを確認してロール紙をセットしてください。

カット紙の場合

⑥用紙セットレバーを下げます。カット紙を押さえているピンチローラーが上がります。(キャリッジがキャリッジステーションの奥まで移動しないと用紙セットレバーは下がりません。)
⑦詰まったカット紙を取り出します。
⑧用紙セットレバーを上げます。
⑨ダストカバーを静かに閉めます。
⑩プロッタの電源を入れます。用紙をセットしていない状態で電源を入れます。
⑪プロッタの初期化を終了し、メッセージディスプレイに“オフライン”が表示されていることを確認します。紙詰まりの処理が正しく行われるとメッセージディスプレイに“オフライン”が表示します。
⑫用紙に折り目やシワがないことを確認してカット紙をセットしてください。

8.4 プロッタが正常に動作しないとき

本機が正常に動作しないときの原因と対処方法について説明します。
原因と項目を確認し、対処方法にしたがってください。

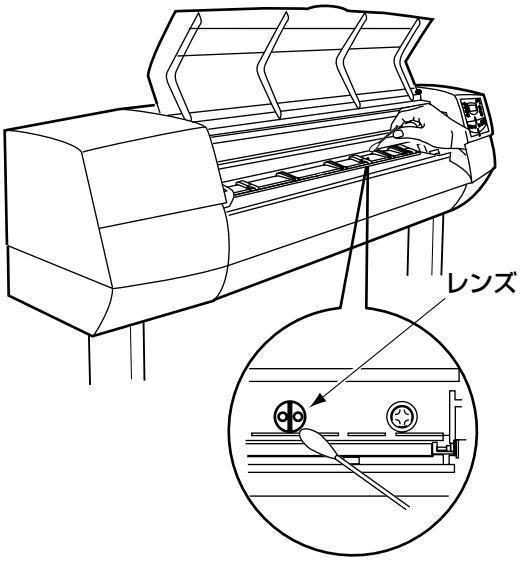
電源を入れても初期動作を始めない

原因	対処方法
電源コードが接続されていない。	電源コードを確実に接続してください。
コンセントに電源がきていない。	適切なコンセントに電源プラグを差し込んでください。
ダストカバーが開いています。	ダストカバーを閉めてください。

用紙をセットしても吸引動作を始めない

原因	対処方法
プラテン上の用紙検出センサのレンズが汚れている	プラテン上の用紙検出センサのレンズについているチリやホコリを取り除き清掃します。

下図のように湿らせた綿棒を使い、プラテン上の用紙検出センサを清掃してください。



コンピュータからデータを送ってもプリントを始めない

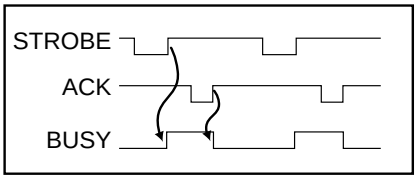
原因	対処方法
オンライン状態になっていない。	［オンライン］キーを押しオンライン状態にしてください。用紙がセットされているか確認し、セットされていないときは用紙をセットしてください。
インタフェースケーブルが接続されていない。または、RS-232Cのインタフェースケーブルが適切でない。	適切なインタフェースケーブルを接続してください。
パラレルルインタフェースの通信モードの設定が合っていない。	パラレルルインタフェースの通信モードを確認して、インタフェースの通信モードを適切なモードに設定する。

パラレルルインタフェースの通信モードの切り替え方法

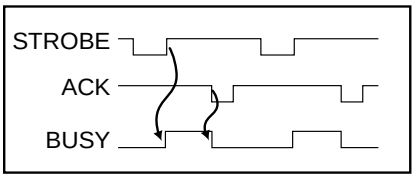
プロッタとの通信がコンパチブルモードのコンピュータを使用する場合、コンピュータへのBUSY信号、ACK信号を出力するタイミングに合わせてプロッタのパラレルルインタフェースの信号モードを設定することができます。通常は、「Stb1-Ack1(Def.)」に設定しておきますが、コンピュータとの通信がうまく行えないときに限り、この設定を変更します。

設定の種類

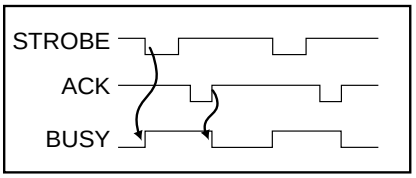
・Stb1-Ack1(Def.)



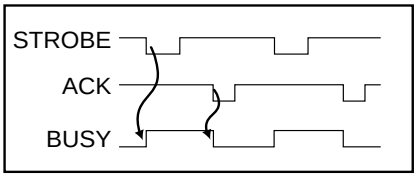
・Stb1-Ack2



・Stb2-Ack1



・Stb2-Ack2



切り替え方法

①プロッタの電源を切ります。
②**【オンライン】**キーと**【入力／実行】**キーを押しながら電源を入れると下記の表示になります。

```
Stb-Ack
Stb1-Ack1 (Def.)
```

③**【←左または→右方向】**キーを押して、「Stb1-Ack2」、「Stb2-Ack1」または「Stb2-Ack2」を選択します。
④選択したモードで良ければ**【入力／実行】**キーを押します。
⑤通信モードが設定され、プロッタは初期動作を終了後、オンライン表示またはオフライン表示になります。

用紙がまっすぐに送られない

原因	対処方法
用紙がまっすぐにセットされていない。	用紙をまっすぐにセットしてください。
用紙の種類や用紙の品質に問題がある。	弊社推奨の用紙を使用してください。
ピンチローラーが汚れている。	ピンチローラーを清掃してください。

プリント後、用紙がカットされない

原因	対処方法
「オートカット　セッテイ」メニューの「カッタードウサ」を「カットライン」または「カットシナイ」に設定している。	「オートカット　セッテイ」メニューの「カッタードウサ」を「オートカット」に設定してください。
カッターがセットされていない。	カッターを取り付けてください。

用紙がきれいにカットされない

原因	対処方法
カッターの刃が摩耗している。	カッターの刃のカット位置を切り替えるか、新しいカッターに交換してください。

8.5 きれいにプリントされないとき

画像に縦／横線のズレや黒スジ／白スジが出たり、インクがかすれたりするなど、きれいにプリントされないときの、原因と対処方法について説明します。原因項目を確認し、対処方法にしたがってください。

インクが出ない、画像がかすれる

原因	対処方法
インクタンク内のインクがなくなっている。	新しいインクタンクと交換してください。
プリントヘッドのヘッド部が目詰まりしている。	ヘッドクリーニングを行ってください。
クリーナーブレードの寿命。	新しいクリーナーブレードと交換してください。
プリントヘッドのヘッド部の寿命。	新しいプリントヘッドと交換してください。

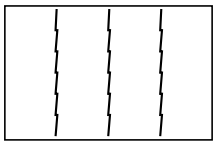
画像がこすれる

原因	対処方法
ヘッド高さ調整レバーの位置が適切な位置に調整されていない。	ヘッド高さ調整レバーの位置を調整してください。 ※ 「ジドウチョウセイ」、「ジドウバンドホセイ」を実施後でも、ヘッド高さ調整レバーの位置を変更したときは、再度、「ジドウチョウセイ」、「ジドウバンドホセイ」を行ってください。

インクがにじむ

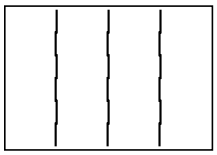
原因	対処方法
インクがにじみやすい用紙を使用している。	弊社推奨用紙を使用してください。 ※ 使用する用紙の種類を変更したときは、必ず「ジドウバンドホセイ」を実施してください。
使用する用紙の種類と「ヨウシ　シュルイ」の設定が合っていない。	使用する用紙に合わせて「ヨウシ　シュルイ」メニューの設定を変えてください。

縦線ズレ１



原因	対処方法
プリントヘッドが正しく取り付けられていない。	プリントヘッドを取り付け直してください。 第７章参照。 ※ プリントヘッドを再度セットしたときは、必ず「ジドウチョウセイ」、「ジドウバンドホセイ」を実施してください。

縦線ズレ２



原因	対処方法
各色のインクののる位置がずれている。	プリントヘッド位置の自動調整を行ってください。

部分的に縦線がズレている

原因	対処方法
用紙が折れていたりシワがある。	用紙の折れやシワなどを直してから、用紙を取り付けてください。
本機の推奨環境で本機を使用していない。	本機の推奨環境下でご使用ください。 本機の推奨環境 温度：15～30℃ 湿度：20～80%
弊社推奨用紙を使用していない。	弊社推奨用紙を使用してください。 ※ 使用する用紙の種類を変更したときは、必ず「ジドウバンドホセイ」を実施してください。

濃度が薄い

原因	対処方法
本機を低温の環境で使用している。	本機の推奨環境下でご使用ください。 本機の推奨環境 温度：15～30℃ 湿度：20～80%
プリントヘッドの寿命です。	新しいプリントヘッドと交換してください。
印字品質を「高速」に設定している。	印字品質を「高速」以外に設定してください。

横方向に白スジが出る

原因	対処方法
インクが出ていない。	「インクが出ない、画像がかすれる」を参照。
用紙の送り量の正確さを重視している。	プリント画像のムラを少なくすることを優先させるために、「カミオクリ　チョウセイ」メニューを「バンドアワセメ　ユウセン」に設定します。
プリント時の用紙の送り量が適正でない。	「ジドウバンドホセイ」を実施して、用紙の送り量の調整を行ってください。

横方向に黒スジが出る

原因	対処方法
用紙の送り量の正確さを重視している。	プリント画像のムラを少なくすることを優先させるために、「カミオクリ　チョウセイ」メニューを「バンドアワセメ　ユウセン」に設定します。
プリント時の用紙の送り量が適正でない。	「ジドウバンドホセイ」を実施して、用紙の送り量の調整を行ってください。

プリント後の用紙の裏面が汚れている

原因	対処方法
プラテンが汚れている。	プラテンを清掃してください。 第9.5 日常の清掃 参照。

用紙送り精度が悪い

原因	対処方法
画質を重視している。	用紙送りの正確さを優先させるために、「カミオクリ　チョウセイ」メニューを「ナガサユウセン」に設定します。

第9章　保守と点検

この章では、本機のヘッドクリーニング、クリーナーブレード、カッター、日常の清掃および消耗品について説明します。

9.1 ヘッドクリーニング

本機は、プリントヘッドのヘッド部のノズルの目詰まりが起きないよう、定期的に自動でヘッドクリーニングを行います。それでも画像がかすれたり、インクの出が悪くなったときは、「ヘッドクリーニング」メニューで任意にヘッドクリーニングを行うことができます。必要に応じてヘッドクリーニングを行ってください。
また、新しいインクタンクに交換したときや、プリントヘッドを交換したときも、本機はプリントの品質を保持するために、自動的にヘッドクリーニングを行います。新しいインクタンクに交換するとき以外にインクタンクを取り外した場合は、「ヘッドクリーニング」メニューの「タンク　コウカン」を選び、プリントの品質を保持するために、ヘッドクリーニングを行ってください。
ヘッドクリーニングを行ってもプリント結果が改善されないときは、プリントヘッドやクリーナーブレードの寿命が考えられますので、プリントヘッドまたは、クリーナーブレードを交換してください。

重要

ヘッドクリーニングは、インクを多く消費します。必要なとき以外はヘッドクリーニングを行わないでください。

注意

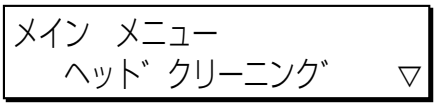
インクタンクを交換するとき以外はインクタンクを取り外さないようにしてください。

ヘッドクリーニング操作方法

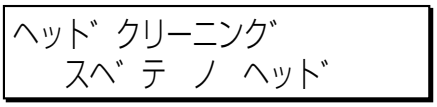
①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

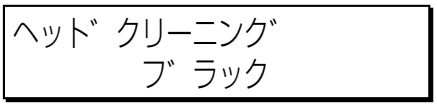
②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。



③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。



④カラー画像をプリントしているときは、前記の表示のときに**【入力／実行】**キーを押し、すべてのヘッドのクリーニングを行います。モノクロ画像をプリントしているときは、上記の表示のときに**【←左または→右方向】**キーを押し下記の表示にして、**【入力／実行】**キーを押し、ブラックヘッドのクリーニングを行います。



⑤これでヘッドのクリーニングは終了です。

注意

一度セットしたインクタンクは、最後まで使い切ってください。使用途中のタンクを外すと、ノズルの目詰まりが起きる場合があります。誤って一度タンクを取り外してしまった場合や、インクが残っているタンクを新しいインクタンクに交換した場合は、「ヘッドクリーニング」メニューの「タンク　コウカン」を実施してください。

タンク交換

新しいタンクに交換するとき以外にインクタンクを取り外した場合、「タンクコウカン」を行います。

注意

インクタンクを交換するとき以外はインクタンクを取り外さないようにしてください。

タンクコウカンの操作方法

①下記の表示になるまで**【オンライン】**キーを押し、メッセージディスプレイにメニュー設定画面を表示させます。

```
メイン　メニュー
　プ゛リント　ノ　カンリ　　▽
```

②下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

```
メイン　メニュー
　ヘッド゛クリーニング゛　　▽
```

③**【↓下方向】**キーを押し下記の画面を表示させます。

```
ヘッド゛クリーニング゛
　スペ゛テ　ノ　ヘッド゛
```

④下記の表示になるまで**【←左または→右方向】**キーを押します。

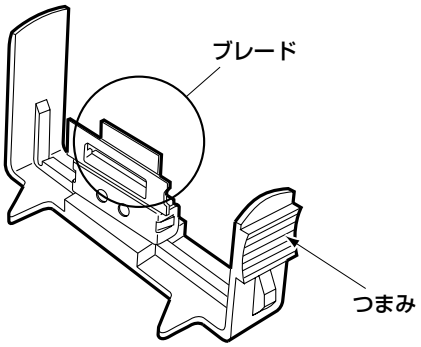
```
ヘッド゛クリーニング゛
　　タンク　コウカン
```

⑤前記の表示のときに**【入力／実行】**キーを押します。タンク　コウカンを行います。

⑥終了後、オンライン状態になります。

9.2 クリーナーブレード

クリーナーブレードは、プリントヘッドのヘッド部についた余分なインクを拭き取ります（ワイピング）。クリーナーブレードにホコリなどが付着し、汚れているとヘッドのワイピングがきちんと行われず、インクの出が悪くなる原因になります。また、プリントヘッドを交換しても、プリントの結果が改善されないときは、クリーナーブレードが汚れていることが考えられます。このようなときは、クリーナーブレードの交換を行ってください。



⚠警告

クリーナーブレードを交換するときは、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

⚠注意

クリーナーブレードのブレードには触れないでください。インクで手を汚すことがあります。

重要

クリーナーブレードのブレードには触れないでください。手の脂がブレードにつき、ヘッドの目詰まりの原因になります。

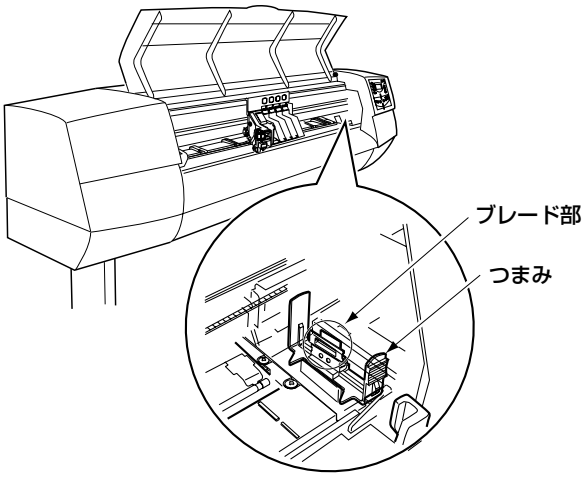
クリーナーブレードの交換方法

①キャリッジをヘッド交換位置に待機させます。表示は下記のように表示されます。交換位置に移動させます。ダストカバーが閉じていることを確認し**【オンライン】**キーを押し、ディスプレイに“オフライン”と表示させ、**【←左または→右方向】**キーを押します。キャリッジがヘッド交換位置に移動します。
②プロッタの電源を切ります。
③電源プラグをコンセントから抜きます。

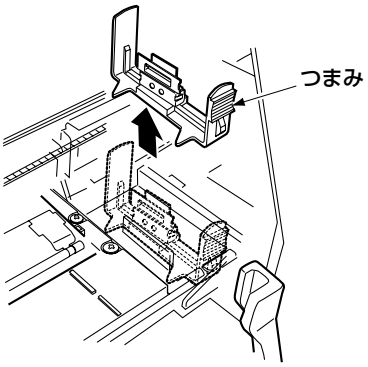
重要

電源を切ると、プロッタ内に保存されているデータは消去されます。プリント中にクリーナーブレードの交換が必要になったときは、交換が終了してから、もう一度データを転送し直してください。

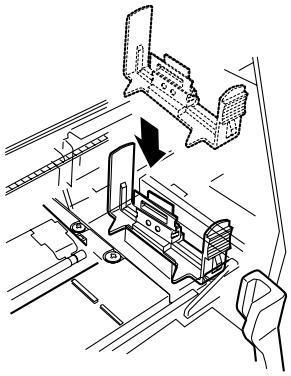
④ダストカバーを静かに開けます。



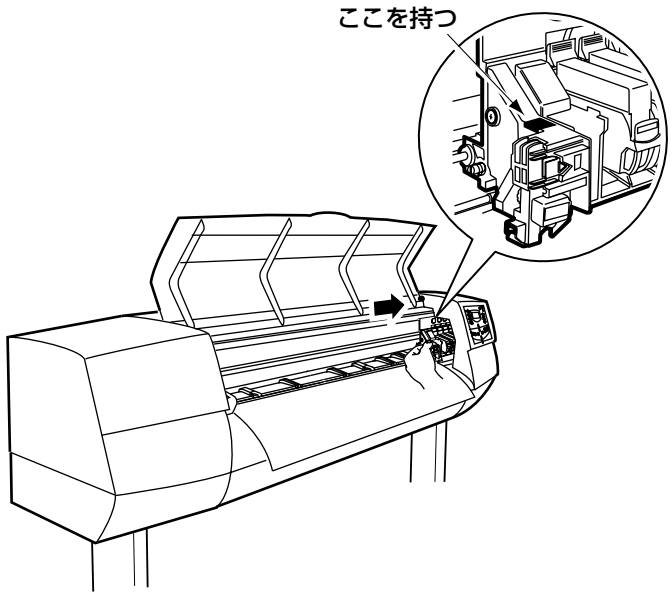
⑤キャリッジステーション内にあるクリーナーブレードを取り外します。クリーナーブレードの手前側の方のつまみを持ち、奥側の方へ押し上げるようにして取り外します。



⑥新しいクリーナーブレードを取り出し、クリーナーブレードのつまみを持ち、クリーナーブレード取り付け位置に取り付けます。このときクリーナーブレードの取り付け位置の孔にクリーナーブレード底部の突起を合わせてパチンと音がするまで差し込んでください。



⑦キャリッジを手で持って、プロッタ本体前面から見て、右側のキャリッジステーションの奥に突き当たるまで静かに移動させます。このときヘッド部分と用紙があたりヘッド部を傷つけないように移動させてください。



⑧ダストカバーを静かに閉めます。
⑨電源プラグをコンセントに確実に差し込みプロッタの電源を入れます。

メモ

使い終わったクリーナーブレードは、インクが手に付かないようにビニール袋などにいれて、不燃物として捨ててください。

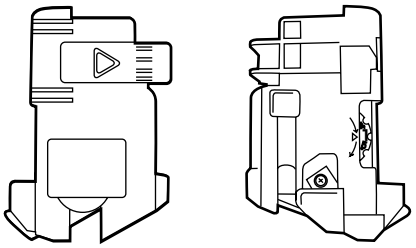
9.3 カッター

カッターは、プリント後にロール紙を自動でカットするときや、ロール紙を任意にカットするときに使われます。カッター動作が正常でなかったり用紙がきれいにカットされないときには、カッターの取り扱いに注意して、カッターを交換したり、カッターの刃の位置を替えてください。

カッター刃の取り扱い上の注意

カット品質は、カッター刃の状態に大きく左右されます。カッターを取り扱うときは、次のことに注意してください。

＜前面＞　　＜後面＞



⚠注意

カッターの刃で指などを切る恐れがありますので、刃の表面には触れないでください。

重要

●カッターの刃の表面を布などで拭いたり、水や液体などをつけたりしないでください。
●カッターを分解したり改造したりしないでください。
●カッターを指でつまんで、用紙や物をカットしないでください。
●カッターは必ず取り付けた状態でご使用ください。取り付けないで使用すると故障の原因となります。

カッターの刃のカット位置の切り替え・交換方法

用紙の切れ具合が悪くなったときはまず、カッターの刃のカット位置の切り替えを行います。カッターのダイヤル目盛りの数字が5になっている場合は、新しいカッターと交換します。

カット位置の切り替え・交換方法

①キャリッジをヘッド交換位置に待機させます。表示は下記のように表示されます。交換位置に移動させます。ダストカバーが閉じていることを確認し**【オンライン】**キーを押し、ディスプレイに“オフライン”と表示させます。

②**【←左または→右方向】**キーを押し、キャリッジをヘッド交換位置に待機させます。表示は下記のように表示されます。

```
オフライン              KCMY
［ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞ ﾉ  ｺ
```

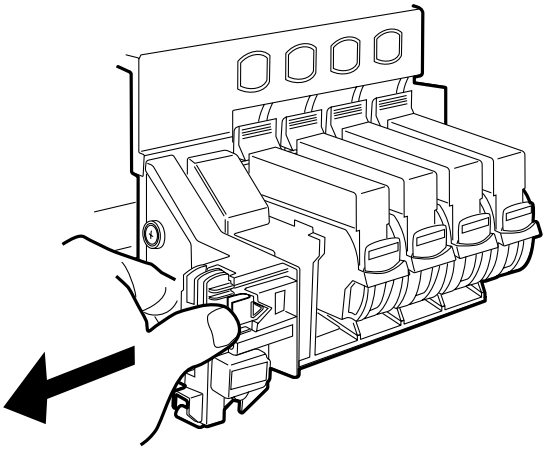
［ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞ ﾉ ｺｳｶﾝｶﾞ ｶﾉｳﾃﾞｽ］

重要

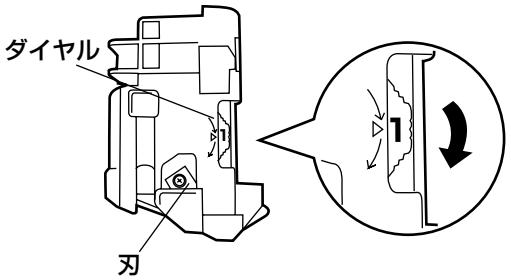
電源が入っている状態でキャリッジを手で動かさないでください。エラー発生や本機の故障の原因になります。

③ダストカバーを静かに開けます。

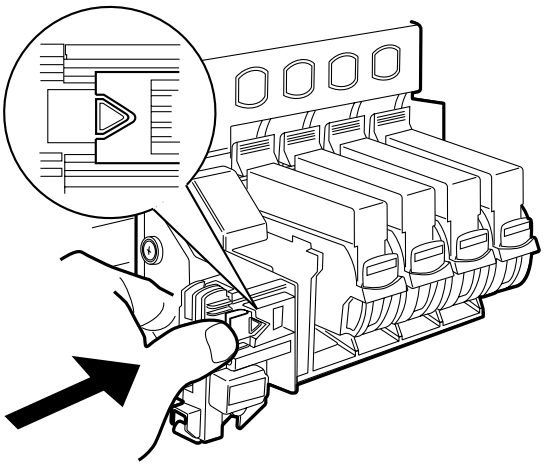
④キャリッジ左側にあるカッターのつまみを持って左方向に引き抜き、カッターを取り出します。



⑤カッター後面にあるダイヤルを図のように矢印の方向に回転させ、ダイヤルの目盛りを一つ上げます。カッターのダイヤルを矢印の方向にカチンという手応えがあるまで回転させます。カッターダイヤルは、はじめは、「1」の目盛りに合わせてあり「5」まで順に切り替えて使用します。この目盛りが「5」の状態で用紙が切れなくなったときは新しいカッターと交換してください。



⑥カッターのつまみを持ち、つまみの三角の印とキャリッジの三角の印を合わせ、突き当たるまで右方向に差し込みます。



⑦ダストカバーを閉めます。キャリッジがキャリッジステーションに戻ります。これでカッターの目盛り切り替え・交換は終了です。

9.4 ヘッド高さの調整

グラフィックやベタ部分の多い図面をプリントすると、使用する用紙の種類によって、用紙が波打ってプラテンから浮き上がり、プリントヘッド部に接触することがあります。これを防ぐために、プリントヘッドの高さを上げて、ヘッド部と用紙との間の距離を伸ばすことができます。また、線画の図面をプリントするとき、よりきれいなプリントを得るために、プリントヘッドの高さを下げて、ヘッド部と用紙との距離を縮めることができます。これらの距離の調整には、ヘッド高さ調整レバーを使用しますが、通常は調整する必要はありません。

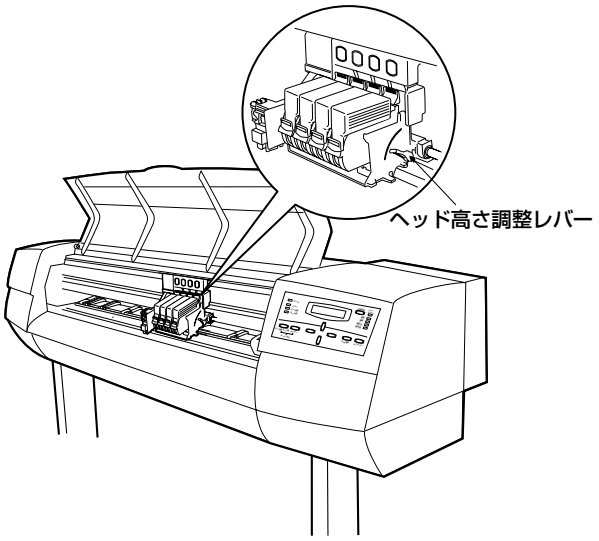
重要

●必要なとき以外は、プリント中にレバーの位置を変更しないでください。画像品質の低下の原因になります。

●プリントの品質を保持するために、ヘッド高さ調整レバーの位置を変更した後は、「ジドウチョウセイ」を選択しヘッド位置の自動調整と、「ジドウバンドホセイ」を選択し用紙送り量の設定を行ってください。

ヘッド高さ調整レバーの使用方法

ヘッド高さ調整レバーは３段階で調整できます。必要に応じて調整してください。



レバーの向きの説明

●下の位置 ..... 通常はこの位置に合わせておきます。線画の図面をプリントするとき、この位置に合わせると、よりきれいにプリントできます。

●中央の位置 ..... 用紙からヘッド部までの距離が少し遠くなります。厚めの用紙を使用するときや線画の中に部分的に塗りつぶしのある図面、高濃度のグラフィックスを出力する場合に、この位置に合わせます。

●上の位置 ..... 用紙からヘッド部までの距離が一番遠くになります。用紙が波打ってヘッド部に接触する場合、この位置にあわせます。

ヘッド高さ調整レバーの調整方法

①キャリッジをヘッド交換位置に待機させます。表示は下記のように表示されます。交換位置に移動させます。ダストカバーが閉じていることを確認し**【オンライン】**キーを押し、ディスプレイに“オフライン”と表示させます。

②**【←左または→右方向】**キーを押し、キャリッジをヘッド交換位置に待機させます。表示は下記のように表示されます。

```
オフライン              KCMY
［ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞﾉ　コ
```

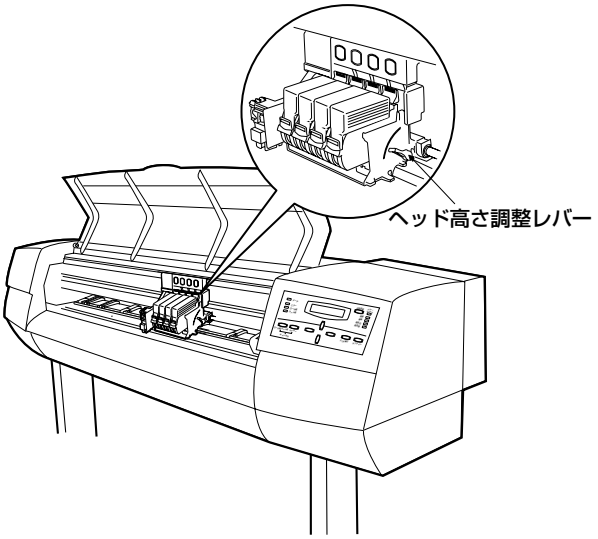
［ﾍｯﾄﾞ／ｶｯﾀｰﾅﾄﾞﾉ　ｺｳｶﾝｶﾞ ｶﾉｳﾃﾞｽ］

重要

電源が入っている状態でキャリッジを手で動かさないでください。エラー発生や本機の故障の原因になります。

③ダストカバーを静かに開けます。

④キャリッジの右側にある高さ調整レバーを動かして、プリントヘッドのヘッド部と用紙の間の距離を調整します。レバーはカチッと手応えのある位置に合わせます。



⑤ダストカバーを閉めます。キャリッジがキャリッジステーションに戻ります。これでプリントヘッドの高さ調整は終了ですが、プリントの品質を保持するために、ヘッド高さ調整レバーの位置を変更した後は、「ジドウチョウセイ」を選択しヘッド位置の自動調整と、「ジドウバンドホセイ」を選択し用紙送り量の調整を行ってください。

9.5 日常の清掃

一月に一度、または必要に応じて、プラテン、ピンチローラーを清掃してください。

⚠警告

●清掃のときは、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や、感電の原因になります。
●機械を分解したり、改造したりしないでください。内部には高温高圧の部分があり、火災や感電の原因になります。
●機械の近くでは、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが機械内部の電機部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
●清掃のとき、中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が機械内部の電機部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

●機械内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水や液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが機械内部に接触すると、火災や、感電の原因になります。
●清掃など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

重要

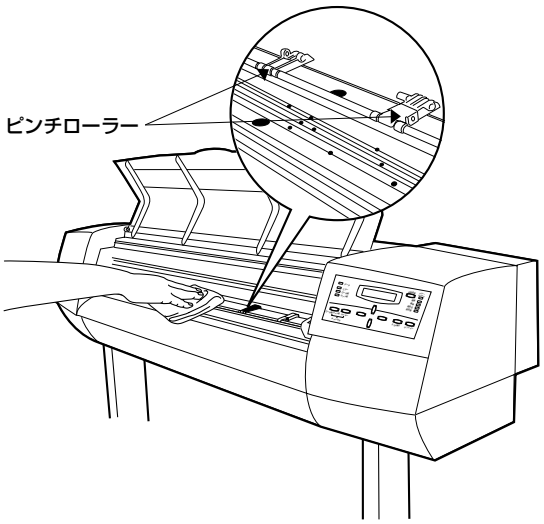
●有機溶剤、スプレー清浄剤などは、使用しないでください。これらのものを使用した場合、本機の表面の色が落ちたり、外装が溶けたりすることがあります。
●プラテン、ピンチローラーの清掃を行う前に、キャリッジがキャリッジステーションにあることを確認してください。

プラテンの清掃

ダストカバーを開けて、水を含ませて良く絞った布で拭いた後、乾拭きしてください。

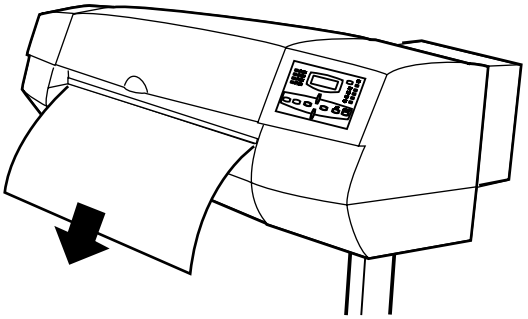
重要

清掃の際には布がピンチローラーに触れないように注意してください。



ピンチローラーの清掃

A1 または A0 サイズのきれいな普通紙を本機にセットし、オフラインにして、**【↑上または↓下方向】**キーを押し用紙を前後送り出しピンチローラーについた汚れを用紙につけます。



スタンドの清掃

スタンドのバスケットが汚れたときは、水を含ませて良くしぼった布で拭いてください。

9.6 消耗品

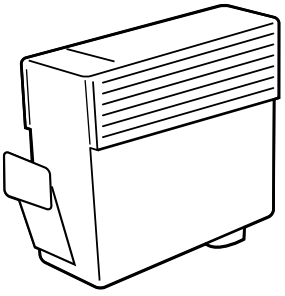
本機には、用紙、およびインクタンク、プリントヘッドなどの消耗品が用意されています。
消耗品がなくなる前に、販売店もしくは弊社担当サービスよりお求めになることをおすすめいたします。

用紙

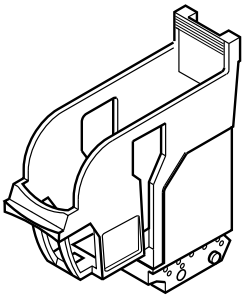
用紙の種類や用紙の品質が画像品質に影響することがあります。用紙の品質は製造メーカによって異なりますので、用紙を購入するときは、なるべく弊社推奨用紙をご購入ください。

インクタンクとプリントヘッド

本機で使用できるインクタンク、およびプリントヘッドは下記の物です。インクがなくなったり、プリントヘッドが消耗したら交換してください。



インクタンク



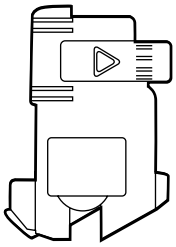
プリントヘッド

	ブラック	シアン	マゼンタ	イエロー
インクタンク	IJ-10025Bk	IJ-10025C	IJ-10025M	IJ-10025Y
プリントヘッド	SH-2Bk	SH-2C	SH-2M	SH-2Y

カッター

用紙の切れ具合が悪くなった場合には、カッター刃の位置を替えます。すべてのカット位置を使い切ったら、新しいカッターに交換するためにカッターをお買い求めください。

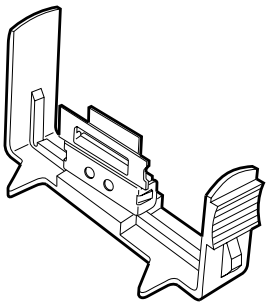
カッターの型名：AB-2C



クリーナーブレード

新しいプリントヘッドに交換してもプリント結果が改善されない場合に、新しいクリーナーブレードに交換します。

クリーナーブレードの型名：AB-2B



付録 A プロッタの仕様

	JC9000	JC9000NET	JC9100	JC9100NET
方式	バブルジェット方式インクジェット・プロッタ			
CPU	32 Bit RISC Processor			
印字モード	カラー／モノクロ			
印字品質	カラー　：高速／標準／高品位 モノクロ：高速／標準／高品位／高密度			
解像度	カラー　：360dpi モノクロ：360dpi／720dpi※　（※：Dotサイズ可変の疑似補間方式）			
最大用紙幅	914.4mm（36インチ）		634mm（24インチ）	
メディア長	210mm～18m			
最小余白 (前×後×横)	カット紙：5×20×5mm（ノーマル）、15×20×5mm（ラージ） ロール紙：5×5×5mm（ノーマル）　、15×5×5mm（ラージ）			
メモリ	8M Byte（最大72M Byte）＋ラスタメモリ8M Byte			
コマンド	ベクタ：HP-GL、HP-GL/2、GP-GL ラスタ：HP-RTL			
インタフェース	シリアル パラレル （自動切り替え）	シリアル パラレル イーサネット （自動切り替え）	シリアル パラレル （自動切り替え）	シリアル パラレル イーサネット （自動切り替え）
使用環境	動作環境　　：　5℃～35℃、10%～90% R.H 最適動作環境：15℃～30℃、20%～80% R.H （但し結露しないこと）			
定格電源	100 VAC、50/60Hz			
消費電力	待機時：30W以下、最大時：110W以下			
外形寸法 約 (W×D×H) mm	1462×700×1204		1182×700×1204	
質量　(約)	45.5kg		40.3kg	

付録 B　オプション

本機には次のオプションがあります。

インタフェースケーブル

本プロッタとコンピュータを接続するケーブルです。

セントロニクス	(DOS/V 機用）型名：	CA4015
RS-232C	(DOS/V 機用）型名：	CB0023C
RS-232C	(NECPC98 用）型名：	CB0045

ロールホルダーセット

ロールシャフトとストッパー（ロールホルダーセット）は本機ご購入時に 1 本付属品として同梱されていますが、異なる用紙種類や、用紙サイズをいくつかご使用になる場合に、あらかじめそれぞれのロール紙にシャフトを差し込んでおくと、ロール紙の交換が容易になり、すぐにプリントを行うことができます。

JC9000 用ロールホルダーセット型名：	AB-2R36
JC9100 用ロールホルダーセット型名：	AB-2R24

増設メモリ

プロッタにメモリを増設すると、大きなデータや複雑なデータを扱ったりコンピュータから送られてきたデータの処理を高速化したりすることができます。本機に取り付けられるメモリは、下記の正規オプション品をお選びください。それ以外のメモリを取り付けますと、本機が正しく動作しない場合があります。詳細は本機をお買い求めの販売店、または担当サービスにお問い合わせください。

増設メモリ型名：BU0015(8MB)
BU0017(32MB)

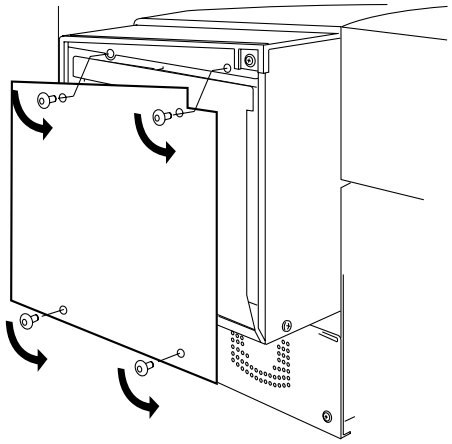
メモリの取り付け方法

①プロッタの動作が停止していることを確認してください。
②プロッタの電源を切ります。
③電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠警告

メモリを取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。

④プロッタ本体後面の4カ所の六角ナットを本機に付属している六角レンチで外して、カバーを取り外します。

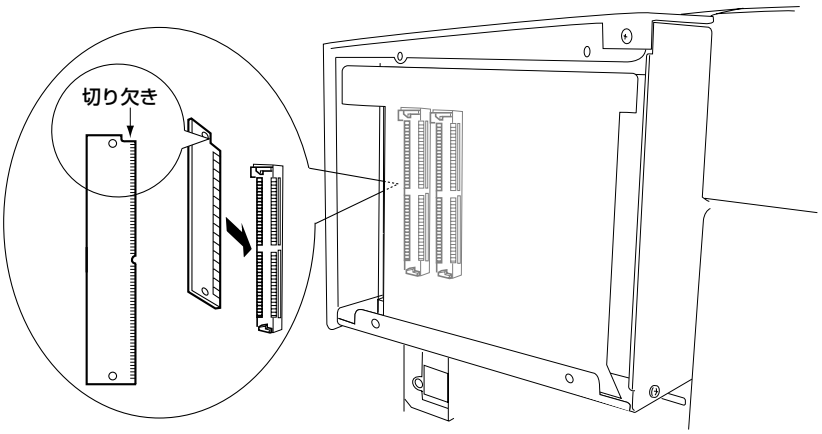


⑤外したカバーや、金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電します。

重要

メモリを取り付ける前に、身体に帯電している静電気を放電してください。身体に帯電している状態でメモリに触れると、静電気放電によって部品を損傷する恐れがあります。

⑥向かって左側にメモリ増設用の二つのスロットがあります。一枚のメモリを増設する場合はいずれかのスロットに、二枚のメモリを増設する場合はそれぞれのスロットにメモリを取り付けます。取り付けるメモリの切り欠きが上側になるようにして、メモリを左に傾けながら差し込みます。



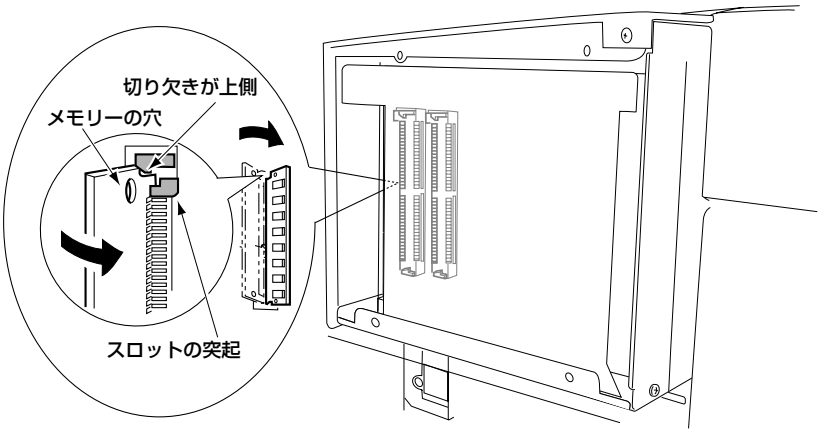
⚠注意

●メモリ増設用スロットは、向かって左側にある２つのスロットです。右上にあるスロットに装着されているメモリを着脱したり、交換したりする行為は行わないでください。誤動作および故障の原因になります。

重要

●本機のメモリの増設に関する制限事項は一切ありません。メモリの装着順序や組み合わせなどを考えることなく自由に増設する事が可能です

⑦差し込んだメモリの穴にスロットの突起が入るように、垂直に立てるようにしてメモリを起こします。メモリを起こすと、カチンという手応えがあります。正しく取り付くと、メモリの穴から突起が見えます。



⑧外したカバーを取り付け、４カ所の六角ナットを本機に付属している六角レンチで止めます。

⑨電源プラグをコンセントに差し込み、プロッタの電源を入れます。

⑩「システムセッテイ」メニューの「インフォメーション」に入り「Memory」を表示させ、増設したメモリが認識されているか確認します。メッセージディスプレイには増設したメモリ容量 +8 ＭＢで表示されます。

付録C　メニューツリー

専用キー

：工場出荷時の初期値

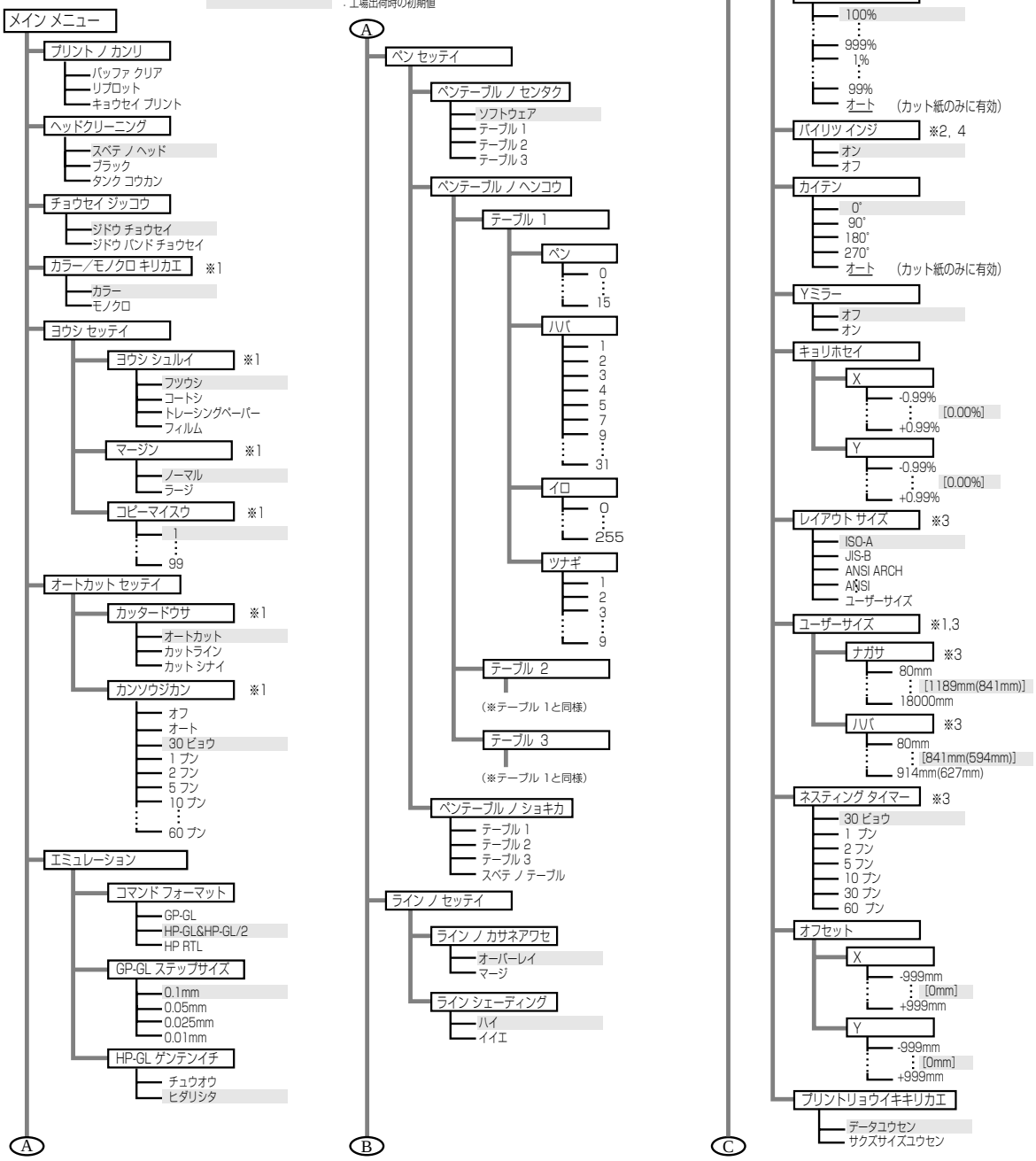
- 【ロール紙／カット紙】キー
  - ロール紙
  - カット紙
- 【カッター】キー
  - ※カット動作を開始します
- 【キャンセル】キー　（ロール紙／カット紙キーとカッターキーを同時押し）
  - ※プロットを中止します
- 【印字品質】キー
  - 高速
  - 標準
  - 高品位
  - 高密度

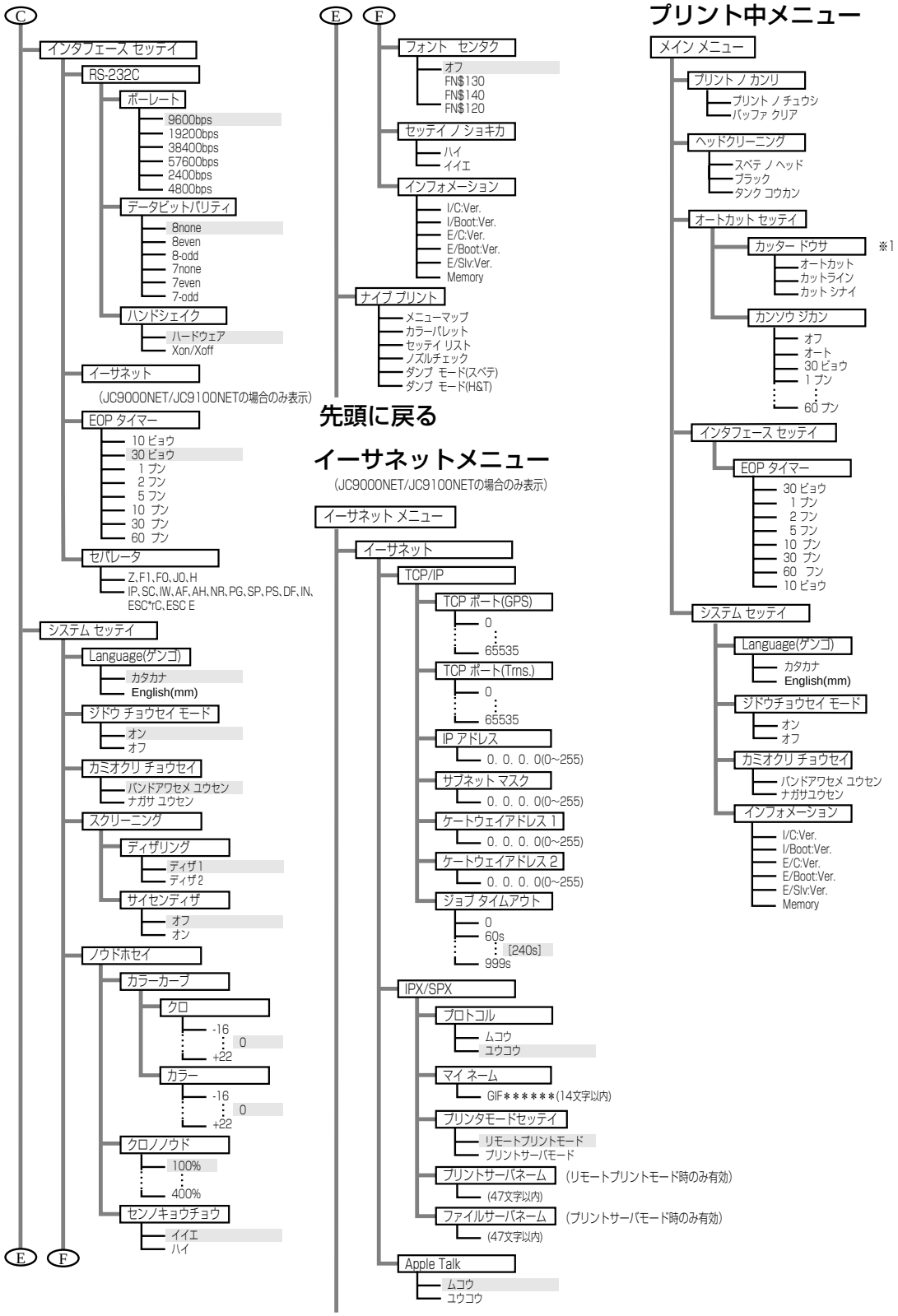
[ ] ：メインメニューまたはメニューを示しています
上下キーを押して項目を選択します。
※1 ：メニューは、ドライバーを通してプリントする場合、ドライバー側の設定が優先されるメニューです。
※2 ：メニューは、プロッタドライバとプロパティでの設定とプロッタ本体での設定の両方を反映してプリントします。
※3 ：メニューは、ロール紙モードのときのみ表示
※4 ：メニューは、カット紙モードのときのみ表示

：設定値を示しています
├ ×××　［右または左矢印キー］を押して設定値を選択します。
├ ×××　［確定キー］を押して選択を確定または実行します。
└ ×××　（下線項目は、カット紙モードのときのみ表示）

操作メニュー

：工場出荷時の初期値




C
インタフェース セッテイ
RS-232C
ボーレート
9600bps
19200bps
38400bps
57600bps
2400bps
4800bps
データビットパリティ
8none
8even
8-odd
7none
7even
7-odd
ハンドシェイク
ハードウェア
Xon/Xoff
イーサネット
(JC9000NET/JC9100NETの場合のみ表示)
EOP タイマー
10 ビョウ
30 ビョウ
1 プン
2 プン
5 プン
10 プン
30 プン
60 プン
セパレータ
Z、F1、F0、J0、H
IP、SC、IW、AF、AH、NR、PG、SP、PS、DF、IN、
ESC*rC、ESC E
システム セッテイ
Language(ゲンゴ)
カタカナ
English(mm)
ジドウ チョウセイ モード
オン
オフ
カミオクリ チョウセイ
バンドアワセメ ユウセン
ナガサ ユウセン
スクリーニング
ディザリング
ディザ1
ディザ2
サイセンディザ
オフ
オン
ノウドホセイ
カラーカーブ
クロ
-16
0
+22
カラー
-16
0
+22
クロノノウド
100%
400%
センメキョウチョウ
イイエ
ハイ
E
F
E
F
フォント センタク
オフ
FN$130
FN$140
FN$120
セッテイ ノ ショキカ
ハイ
イイエ
インフォメーション
I/C:Ver.
I/Boot:Ver.
E/C:Ver.
E/Boot:Ver.
E/Slv:Ver.
Memory
ナイブ プリント
メニューマップ
カラーパレット
セッテイ リスト
ノズルチェック
ダンプ モード(スペテ)
ダンプ モード(H&T)
先頭に戻る
イーサネットメニュー
(JC9000NET/JC9100NETの場合のみ表示)
イーサネット メニュー
イーサネット
TCP/IP
TCP ポート(GPS)
0
65535
TCP ポート(Trns.)
0
65535
IP アドレス
0. 0. 0. 0(0~255)
サブネット マスク
0. 0. 0. 0(0~255)
ケートウェイアドレス 1
0. 0. 0. 0(0~255)
ケートウェイアドレス 2
0. 0. 0. 0(0~255)
ジョブ タイムアウト
0
60s
[240s]
999s
IPX/SPX
プロトコル
ムコウ
ユウコウ
マイ ネーム
GIF******(14文字以内)
プリンタモードセッテイ
リモートプリントモード
プリントサーバモード
プリントサーバネーム
(リモートプリントモード時のみ有効)
(47文字以内)
ファイルサーバネーム
(プリントサーバモード時のみ有効)
(47文字以内)
Apple Talk
ムコウ
ユウコウ
プリント中メニュー
メイン メニュー
プリント ノ カンリ
プリント ノ チュウシ
バッファ クリア
ヘッドクリーニング
スベテ ノ ヘッド
ブラック
タンク コウカン
オートカット セッテイ
カッター ドウサ
※1
オートカット
カットライン
カット シナイ
カンソウ ジカン
オフ
オート
30 ビョウ
1 プン
60 プン
インタフェース セッテイ
EOP タイマー
30 ビョウ
1 プン
2 プン
5 プン
10 プン
30 プン
60 プン
10 ビョウ
システム セッテイ
Language(ゲンゴ)
カタカナ
English(mm)
ジドウチョウセイ モード
オン
オフ
カミオクリ チョウセイ
バンドアワセメ ユウセン
ナガサユウセン
インフォメーション
I/C:Ver.
I/Boot:Ver.
E/C:Ver.
E/Boot:Ver.
E/Slv:Ver.
Memory

索引

A

ANSI 5-35
ANSI　ARCH 5-35
AppleTalk 3-30

E

English(mm) 6-1
EOP タイマー 4-11
EOP タイマー設定 3-12

F

FTP コマンド 3-15

G

GP-GL 3-7
GP-GL 使用時のステップサイズの設定 3-8
GPS 3-15

H

HP RTL 3-7
HP-GL 3-7
HP-GL/2 3-7

I

IPX 3-24
IP アドレス 3-17
ISO-A 5-35

J

JIS- B 5-35

L

LPR コマンド 3-15

M

MAX-MIN 中央 5-26
MAX-MIN 左下 5-26

N

NetWare 本体名の設定 3-25
NetWare 用プロトコルの設定 3-24

P

put 3-15

R

RS-232C の設定方法 3-5

S

SPX 3-24

T

TCP/IP 3-15
TCP/IP ジョブタイムアウト時間の設定 3-23
TCP ポート番号（GPS 用）の設定方法 3-15
TCP ポート番号（トランスペアレント用）の設定方法 3-16
TCP ポート番号の設定 3-15

W

Windows 3-4
Windows ドライバ 1-6, 3-4

X

X 軸のオフセットの設定 5-38
X 軸の距離補正の設定 5-34

Y

Y 軸のオフセットの設定 5-38
Y 軸の距離補正の設定 5-34
Y ミラー設定 5-32

ア

アース線 1-10

イ

イーサネットインタフェースの接続方法 3-14
一般メニュー設定 5-1
インクカートリッジ 2-1
インクタンク 1-6, 2-13, 7-1
インクタンク／プリントヘッドの状態 2-12
インクタンクとプリントヘッド 9-15
インクタンクとプリントヘッドの交換 7-1
インクタンクとプリントヘッドの種類 7-1
インクタンクの交換方法 7-8
インクタンクの取り付け方法 2-19
インクタンク／プリントヘッドの交換 7-4
印字品質 4-1
印字品質キー 2-5
印字品質の設定方法 4-2
インターネットアドレスの設定 3-17
インタフェースケーブル ..... 付録 -2
インフォメーション表示 6-17

エ

エミュレーション設定 3-7
エラーメッセージ 8-1, 8-2
エラーランプ 2-4, 8-7

オ

オートカット 5-5
オートレイアウト 5-35, 5-37
オートレイアウト原点設定 5-26
オートレイアウト設定 5-19
オーバーレイ 5-16
オプション ..... 付録 -2
オフセット設定 5-38
オフライン状態 2-11
オンラインキー 2-5, 2-10
オンライン状態 2-11

カ

開口部 2-19
開梱と設置 1-1
カイテン設定 5-30
重ね合わせの設定 5-16
カタカナ 6-1
カッター 9-1, 9-7, 9-16
カッターキー 2-5
カッター動作設定 5-5
カッターのダイヤル 9-9
カット 4-12
カット位置の切り替え・交換方法 9-8
カット紙 2-4, 2-31
カットシナイ 5-5
カット紙のサイズ 2-34
カット紙のセット方法 2-28
カット紙モード 2-31
カット紙ランプ 2-31
カットライン 5-5
紙送り調整の設定 6-3
紙詰まりしたとき 8-7
カラー 4-2
カラー／モノクロ 2-4, 4-1
カラー／モノクロ　キリカエ 4-2
カラー／モノクロ　キリカエの設定方法 4-3
カラーカーブの設定 6-8
カラーパレットのプリント 6-19
乾燥時間設定 5-6

キ

キャリッジ 2-7, 2-19
キャリッジステーション 2-9
キャリッジ部 2-2
キャンセル 4-8
キャンセルキー 2-6
強制カット 4-12
強制プリント 4-11
距離補正設定 5-34

ク

クリーナーブレード 1-6, 9-1, 9-4, 9-16
クリーナーブレードの交換方法 9-4
クロノノウドの設定 6-10

ケ

ゲートウェイアドレス 1 の設定方法 3-20
ゲートウェイアドレス 2 の設定方法 3-21
ゲートウェイアドレスの設定 3-20
原点位置の設定 3-10

コ

コート紙 2-32
高速 2-5, 4-1
高速ランプ 4-2
高品位 2-5, 4-1
高品位ランプ 4-2
高密度 2-5, 4-1
高密度ランプ 4-2
後面部 2-2
コピー枚数の設定 5-3
コンセント 2-7

サ

サイセンディザの設定 6-6
座標原点 3-10
サブネットマスクの設定 3-18

シ

ジアゾ複写 2-32
シェーディング設定 5-18
システムメニュー設定 6-1
湿式複写 2-32
自動調整モード 2-22
ジドウチョウセイモード 7-15
自動調整モードの設定 2-22, 6-2
自動バンド補正 7-17
初期値一覧 6-16
ジョブタイムアウト時間 3-23
シリアルインタフェースケーブル 3-3
シリアルポート 3-5
シリアルポートとの接続 3-5

ス

スクリーニングの設定 6-4
スケール設定 5-27
スタンド取り付け時 2-3
スタンドの組立方法 1-7
ステップサイズの設定 3-8
ストッパ 2-25, 1-4

セ

設置と保護部品の取り外し 1-7
設置場所の注意 1-1
設定値の初期化 6-15
セッテイリストのプリント 6-20
接続ケーブルについて 3-1
接続について 3-1
セパレータの設定 3-13
センノキョウチョウの設定 6-12

ソ

操作準備 2-1
操作パネル部 2-4
増設メモリ ..... 付録 -2
ソケットインタフェース 3-15
ソフトウェア 5-9

タ

ダストカバー 1-7
タンクコウカンの操作方法 7-11
ダンプモード 6-22

チ

中央 3-10

ツ

つなぎ 5-11

テ

データビット　パリティ 3-5
データランプ 2-4
テイケイ　ハイチ 5-19, 5-35
テイケイ　ハイチ（ラージ） 5-19
ディザ 1 6-4
ディザ 2 6-4
ディザリングの設定 6-4
電源コードの取り付け 1-10
電源スイッチ 2-7
電源の切りかた 2-9
電源の投入 2-7
電源プラグ 2-7
電源を入れる 2-7

ト

トラブルシューティング 8-1
トランスペアレント 3-16
トレーシングペーパー 2-32

ナ

ナガサユウセン 6-3

ニ

入力／実行キー 2-5

ネ

ネスティング 5-19, 5-35, 5-37
ネスティングタイマー 4-11
ネスティングタイマー設定 5-37

ノ

ノーマル 2-35, 5-1
濃度補正の設定 6-8
ノズルチェックのプリント 6-21

ハ

倍率印字設定 5-29
バッファ　クリア 4-9
パラレル 3-4
パラレルインタフェースケーブル 3-2
パラレルポートとの接続 3-4
バンドアワセメユウセン 6-3
ハンドシェーク 3-5

ヒ

左下 3-10
表示言語設定 6-1
標準 2-5, 4-1
標準ランプ 4-2
ピンチローラー 2-24, 2-29
ピンチローラーの清掃 9-14

フ

ファームウェアのバージョン 6-17
ファイルサーバ名の設定 3-28
フォント選択の設定 6-14
普通紙 2-32
プラテンの清掃 9-14
フランジ 2-26
プリンタモードの設定 3-26
プリント可能領域 2-35
プリントサーバ名の設定 3-27
プリントサーバモード 3-26, 3-28
プリント状態 2-11
プリントする 4-4
プリント中 4-6
プリント中のメニュー設定 4-6
プリントデータ 3-12
プリントの中止 4-8
プリントヘッド 1-4, 2-9, 2-13, 7-1
プリントヘッド位置の調整について 2-22
プリントヘッドとインクタンクの取り付け 2-13
プリントヘッドの位置の自動調整 7-16
プリントヘッドの交換方法 7-12
プリントモードの設定 4-1
プリント領域切り替えの設定 5-39
プロッタの座標原点 3-9, 3-11
プロッタの座標原点（GP-GL） 3-9
プロッタの座標原点（HP-GL） 3-11
プロッタの状態 2-10
プロッタの動作状態 2-12

ヘ

ヘッド位置調整パターン 2-22
ヘッドクリーニング 9-1
ヘッド交換位置 2-8, 2-16, 2-19
ヘッド高さの調整 9-10
ペン色 5-10
ペン設定について 5-8
ペンテーブルの設定値の初期化 5-13
ペンテーブルの設定値の変更 5-10
ペンテーブルの選択 5-9
ペン幅 5-10
ペン番号 5-10

ホ

ポーズ状態 2-11
ボーレイト設定 3-5
方向キー 2-5
保守と点検 9-1
ポリエステルフィルム 2-32
本体各部の名称 2-1
本体前面部 2-1

マ

マージ 5-16
マージン 2-35
マージン設定 5-1

メ

メッセージ一覧と対処方法 8-3
メッセージディスプレイ 2-4
メニュー設定について 4-7
メニューツリー ..... 付録 -6
メニューマップのプリント 6-18
メモリの取り付け方法 ..... 付録 -3
メモリ容量 6-17

モ

モノクロ 4-2

ユ

ユーザーサイズ 5-35
ユーザーサイズ設定 5-36

ヨ

用紙 9-15
ヨウシサイズ 5-26
用紙の種類の設定方法 2-32
用紙種類の設定方法 2-33
ヨウシセーブ 5-19
用紙セットレバー 2-27
用紙のサイズとプリント可能領域 2-34
用紙のセット方法 2-23
用紙のモード 2-31
用紙のモードの切り替え方法 2-31
用紙モードの切り替え方法 2-31

ラ

ラージ 2-35, 5-1

リ

リプロット 4-10
リモートプリントモード 3-26, 3-27

レ

レイアウトサイズ設定 5-35

ロ

ロール紙 2-4, 2-23, 2-31
ロール紙／カット紙 2-31
ロール紙／カット紙キー 2-5
ロール紙シャフト 2-26
ロール紙のサイズ 2-34
ロール紙モード 2-31
ロールシャフト 1-4
ロール紙ランプ 2-31
ロールホルダーセット ..... 付録 -2

ワ

ワーニングメッセージ 8-1
ワイピング 9-4

グラフテック製品お問い合わせ窓口

グラフテック製品に関して、ご相談、ご用命を承ります

この商品の操作に関するお問い合わせは、下記のインフォメーションセンターにご連絡ください。

●フリーダイヤル：0120-626-294

フリーダイヤル受付時間は、土、日、祝日を除く9時～12時、13時～17時です。
(ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください)

お客様に迅速に、的確に行き届いた対応ができるように、営業所を配置しています。カタログのご請求や製品についてのご相談、ご用命は、当社製品販売代理店、または最寄りの営業所へお問い合わせください。

◀◀営業所▶▶

地　　域	担当営業所・電話番号	
北海道全域	情報第一営業部 北海道営業所　☎(011)741-7889	
青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島	情報第一営業部 東北営業所　☎(022)287-3811	
新潟、群馬、栃木、埼玉、茨城 東京、千葉、神奈川、山梨	情報第一営業部 （CAD系） 首都圏営業所　☎(03)5487-3551	情報第三営業部 （サイン&印刷系） 東日本営業所　☎(03)5487-3611
長野、静岡、愛知、三重、岐阜 富山、石川、福井	情報第二営業部 中部営業所　☎(052)776-0821	
大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、兵庫	情報第二営業部 （CAD系） 関西営業所　☎(06)6821-8821	情報第三営業部 （サイン&印刷系） 西日本営業所　☎(06)6821-8821
岡山、鳥取、広島、山口、島根 愛媛、香川、高知、徳島	情報第二営業部 西部営業所　☎(082)261-2931	
福岡、佐賀、大分、熊本、長崎 鹿児島、宮崎、沖縄	情報第二営業部 九州営業所　☎(092)474-2441	

サプライ品および製品修理に関して、ご相談、ご用命を承ります

ご採用いただいた製品を常に最良の状態でお使いいただき、そして万一の故障修理がお客様の近くで迅速にサービスできるように、サービス拠点を配置しています。サービス、純正サプライ品についてのご相談、ご用命は、当社製品販売代理店、または最寄りのサービス拠点へお問い合わせください。

◀◀サービス拠点▶▶

地　　域	担当サービス拠点・電話番号			備　　考
北海道全域	クラフテックSS(株) 北日本支社	札幌SC	☎(011)741-0580	
青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島		仙台SC	☎(022)287-2971	
群馬、栃木、埼玉	クラフテックSS(株) 関東支社	熊谷SC	☎(048)525-2340	
茨城		つくばSC	☎(0298)55-5919	
東京、千葉		首都圏SC	☎(03)5487-3540	
神奈川、山梨		神奈川SC	☎(045)852-2971	サプライ品のご注文は、 首都圏SCにて承っております
新潟　(転送サービス、名古屋SCへ転送)	クラフテックSS(株) 中部支社	新潟SC	☎(025)247-7337	
長野　(転送サービス、名古屋SCへ転送)		長野SC	☎(0263)40-7636	サプライ品のご注文は、 名古屋SCにて承っております
静岡　(転送サービス、名古屋SCへ転送)		静岡SC	☎(054)274-0322	
愛知、三重、岐阜		名古屋SC	☎(052)774-7931	
富山、石川、福井		北陸SC	☎(076)239-9326	
大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山、兵庫	クラフテックSS(株) 大阪支社	大阪SC	☎(06)6337-8160	
岡山、鳥取　(転送サービス、広島SCへ転送)	クラフテックSS(株) 西日本支社	岡山SC	☎(08695)5-9866	サプライ品のご注文は、 広島SCにて承っております
広島、山口、島根		広島SC	☎(082)567-6561	
愛媛、香川、高知、徳島		高松SC	☎(087)865-9571	
福岡、佐賀、大分、熊本、長崎		福岡SC	☎(092)474-0039	
鹿児島、宮崎		鹿児島SC	☎(099)229-5156	サプライ品のご注文は、 福岡SCにて承っております
沖縄		沖縄SC	☎(098)875-4325	

グラフテック製品に関する最新情報や、サポート情報は、こちらのURLからご覧いただけます。

http://www.graphtec.co.jp/

● 本書の記載事項はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

JC9000シリーズ　取扱説明書　　**2001年01月23日発行**
(JC9000-UM-102)　　**第1版　第1刷　000**

発　行　　横浜市戸塚区品濃町503-10
グラフテック株式会社　販売助成部

グラフテック株式会社

＜ 情報第一営業部 ＞

北海道営業所 ☎(011)741－7889(代)
〒060-0098 札幌市東区北8条東3－2－10宮村ビル

東 北 営 業 所 ☎(022)287－3811(代)
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8−1斎喜センタービル

首 都 圏 営 業 所（CAD系）
首都圏・茨城・北関東・新潟地区 ☎(03)5487－3551(代)
〒141-8707 東京都品川区西品川3－19－6

＜ 情報第二営業部 ＞

中 部 営 業 所
中部・静岡・長野・北陸地区 ☎(052)776－0821(代)
〒465-0022 名古屋市名東区藤森西町913

関 西 営 業 所（CAD系）
☎(06)6821－8821(代)
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3－17－15

西 部 営 業 所
中国・四国地区 ☎(082)261－2931(代)
〒732-0052 広島市東区光町1−10−19日本生命光町ビル

九 州 営 業 所
九州・沖縄地区 ☎(092)474－2441(代)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1−11−5アサコ博多ビル

＜ 情報第三営業部 ＞

東 日 本 営 業 所（サイン&印刷系）
首都圏・茨城・北関東・新潟地区 ☎(03)5487－3611(代)
〒141-8707 東京都品川区西品川3－19－6

西 日 本 営 業 所（サイン&印刷系）
近 畿 地 区 ☎(06)6821－8821(代)
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3－17－15

本 社 ☎(045)825－6200(代)
〒244-8503 横浜市戸塚区品濃町503－10